

今日から始める平和学習

平和学習をしたいのに
何から始めていいか
悩んでいるあなたに
贈る入門書

広島平和教育研究所



今日から始める平和学習



広島平和教育研究所

◎はじめに

広島平和教育研究所は、2011年度広島県内の小中学校の児童生徒を対象に平和意識調査を行いました。この調査で、前回（1996年）の調査と比較して、被爆県ヒロシマの児童生徒の原爆に関する知識が低下していることや、日本の過去の戦争や現在の核兵器をめぐる状況および核廃絶に関する知識が浅くなっていることなどが明らかになりました。

一方で、「日本がかかわった過去の戦争についてもっと知りたい」、「世界が戦争をなくすことについてもっと勉強したい」、核兵器をなくすために「自分も何かできることがある」、「将来、平和な社会をつくるために役立つことをしたい」と子どもたちの多くが答えており、平和を望み、平和な社会をつくっていくために何かしたいと考えていることがうかがえます。これをよりどころとして、平和学習を充実していくことが求められます。

原爆に関する知識が低下している背景として、被爆者の高齢化や教職員の世代交代などで、家族や教職員から原爆の体験や話を聞く機会が減少していることが考えられます。この課題を解決していくためには、被爆者から子や孫の世代へ被爆体験を継承していくこと、先輩の教職員から後輩の教職員へ平和学習の実践を継承していくことが必要です。

平和学習は、原爆や過去の戦争だけでなく、現代の戦争や課題にも目を向け、子どもたちが主体的に「命・人権・平和」について考え、平和を形成する資質能力を培っていくことが求められます。

本書は、理論編、実践編、資料編の3部で構成され、戦争を知らない世代を主たる対象に、教科・総合などの授業で活用できるように編集しました。

理論編では、平和とは何か、平和学習の課題、平和学習の目標と方法などについて述べました。実践編では、教科・総合・特別活動などでどのような実践が望ましいのか、テーマごとにすぐに実践できる展開例を紹介しています。

資料編では、平和学習を充実していくために参考となる資料や書籍などを、できるだけ多く集めてみました。

平和学習とは何だろう、平和学習に関心はあるけれど、何をすればいいかわからない、そんな疑問に答えるのが本書です。

本書を活用して、**さあ、今日から始めよう平和学習を！！**

－ もくじ －

はじめに	1
【理論編】	
1. いま、日本・世界は平和！？	4
2. 平和ってなあに！？	4
3. 平和学習のめざすもの	
(1) 平和学習の目的	5
(2) 平和学習を進めるために	5
① いきいき平和学習の工夫	
② 子どもの生活につながるように	
③ 戦争・被爆体験の継承と追体験	
④ 平和を築く力を育てよう	
⑤ 系統立てて進めていこう	
(3) 平和学習を成立させるために	6
① 平和学習を成立させるための土台づくり	
② 自ら資料収集を	
【実践編】	
4. やってみよう平和学習	
(1) 平和ってなんだろう	
○へいわとせんそう	8
(2) 社会科教科書でどう教えるか	
① 近隣諸国との友好の歴史～朝鮮通信使～	10
② 日本の戦争の歴史	
○日清戦争～15年戦争～アジア太平洋戦争（あらまし）	14
ア 韓国併合	16
イ 戦争と子どもたちの暮らし	18
③ 戦時下の暮らし～学童疎開～	19
(3) 深めよう戦争と原爆の学習	
① 原爆について考えてみよう	23
② 軍都広島と戦争	26
③ 戦争の加害と被害	32
(4) 地域の戦争を見つめよう	
① 地域の戦争について調べてみよう	34
② 空襲について調べてみよう	37
③ 原爆について調べてみよう	39
④ 大久野島について調べてみよう	41
⑤ 強制連行について調べてみよう	47

(5) 現代の課題に迫ってみよう	
① 第五福竜丸と原水爆禁止運動	50
② 日米安全保障条約と米軍基地	55
③ 平和憲法と自衛隊	61
④ 核兵器禁止条約	64
⑤ 東日本大震災と原発事故	70
(6) 総合学習としての平和学習（ヒロシマについて調べよう）	73
(7) 特別活動の中で（平和集会をしよう）	75
【平和的感性を育む歌】	77
(8) 修学旅行で平和学習を	79
【資料編】	
5. 参加してみよう	81
① ヒロシマ体験平和学習（広平研）	
② 戦争・被爆体験を聞こう	
③ 戦争追体験の旅に参加してみよう	
④ 戦没者原爆死没者追悼式&「平和のつどい」	
⑤ 原水爆禁止世界大会	82
6. くわしく知ろう	
(1) 資料館に行ってみよう	82
(2) 平和博物館リスト&平和に関するホームページ	82
(3) 平和に関する図書・視聴覚教材リスト	
○「平和に関する図書」	84
○「平和に関する視聴覚教材」	89
○「平和教材としての楽曲」	92
(1) 直接的平和教材	92
(2) 芸術的一般教材	94
◎行ってみたい戦跡・記念碑・資料館	97
◎いってみようヒロシマ（イラストマップ）	101
おわりに	103

1. いま、日本・世界は平和！？

いま、日本や世界は平和なのでしょうか？

現在、世界各地では戦争（紛争）やテロが起こり、多くの市民が犠牲となっています。

1991年、ソビエト連邦の崩壊により、米ソ（現ロシア）の冷戦構造が終焉し、平和な社会が訪れるのではないかと期待されました。しかし、その期待とは逆に世界各地で紛争や内戦が激化しました。

2001年9月11日、国際的なテロ組織によりアメリカで「同時多発テロ」が引き起こされ、その報復としてアメリカはアフガニスタンに侵攻し、「対テロ戦争」を始めました。さらに、イラクが大量破壊兵器をテロ組織に流しているとしてイラクに侵攻しました。

アフガニスタンやイラクでは、現在も一部外国軍が駐留し、不安定な状況が続いています。

いま、中東では、パレスチナ紛争、シリアの内戦、「イスラーム国（IS）」の存在（現在は壊滅的状態）など不安定な状況が続いています。また、テロは中東だけでなく、ヨーロッパや東南アジアなどにも拡がりを見せています。

紛争やテロの多くが貧困地域で起こっていますが、貧困だけが原因や背景ではありません。国家統治をめぐる不満や対立、民族間・宗教間の対立、資源の争奪などが複雑に絡む場合もあります。

テロは、イスラーム急進派が主導するものが多いですが、アメリカを中心とする国際社会の中東政策やヨーロッパ諸国の移民の処遇への不満が背景としてあります。

アメリカは自国の世界戦略に基づき、軍事負担を同盟国に課し、アメリカ主導の軍事・経済政策を推し進めてきました。これに対し日本は、アジア地域の紛争に際し、アメリカとの共同の軍事行動がとれるよう体制づくりを進めてきました。2015年に安全保障関連法が成立し、集団的自衛権の行使を可能にしたことはその典型です。それに伴い、基地が固定化され、安保・基地が強化されています。しかし、この日米の安保体制及び「専守防衛」（相手から武力攻撃を受けたときに初めて防衛力を行使する）の枠を超える自衛隊の規模（※1世界7位の軍事力：2017年米・軍事力評価組織発表）は、近隣諸国に脅威を与え、東アジアにおける不安定要因にもなっています。

核兵器の廃絶をめぐるっては、2017年7月に国連で核兵器禁止条約が採択され、条約実現を働きかけてきた国際NGOのICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）がノーベル平和賞を受賞しました。

いまだ世界には約14,000発の核兵器が存在し、核兵器の拡散や核兵器使用のリスクが高まっています。

ICANの運動は、「核兵器がひとたび使われれば、人々に深刻な被害をもたらすため、核兵器は廃絶されなければならない」として始まりました。しかし、日本は唯一の戦争被爆国でありながら、アメリカの「核の傘」に依存し、条約に署名せず、核兵器禁止条約には消極的です。核兵器の廃絶に向けて、日本政府はイニシアティブをとるべきではないでしょうか。

日本政府は今、近隣諸国の脅威を煽りながら、自衛隊を強化し、軍事行動をとりやすくするために、憲法「改正」をしようとしています。アメリカと共に軍事行動をとれば、新たな敵をつくることになるし、テロ報復の危険性も出てきます。

戦後70年以上の間、日本は憲法第9条を守ってきたからこそ、アメリカの戦争に付き合わず、海外で戦争をすることもありませんでした。戦争をしなかったことで経済の繁栄ももたらすこともできたのです。

日本や世界の情勢に関心をもち、平和について考えていきたいものです。

※1『知らないではすまされない自衛隊の本当の実力』（池上彰著 SB新書 2018年）

2. 平和ってなあに！？

「へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ。おともだちとなかよし。かぞくが、げんき。えがおであそぶ。ねこがわらう。おなかがいっぱい。やぎののんびりあるいている。けんかをしてもすぐなかなお。…」これは沖縄県の小学校1年生安里有生（あさとゆうき）くんの書いた詩（※2）の一節です。「平和」という言葉を聞いてイメージすることは様々です。「平和」とはなんでしょう。

「平和」とは戦争がないことだけでなく、命を危うくされたり心を傷つけられたりすることなく、全ての人が、自分のもつ力を十分に発揮できることです。言い換えれば、「平和」とは人が人として当たり前の生活を笑顔で安心して送ることができるということです。

「平和」を実現するためには戦争を引き起こす状況を身近な所から解決することが必要です。つまり「平和」とは「戦争がないこと（状態）」だけでなく、戦争を引き起こす原因や背景の問題解決も含めて捉えることが必要です。

日本の平和教育は、15年戦争史学習や原爆教育を中心として、戦争や原爆をとりあげ、戦争や原爆に対する認識を培い、反戦・反核をめざすことに重点がおかれてきました。すなわち、日本の場合は、ヒロシマ・ナガサキの心（核廃絶）と戦争放棄を誓った日本国憲法の理念を基調として、反戦・反核平和教育が展開されてきました。そのため、「平和」とは「戦争がないこと」という概念が根強くあります。しかし、戦争（紛争）は突然起こるものではありません。戦

争（紛争）が起こるには原因や背景があるのです。たとえば、人権抑圧や経済格差、飢餓・貧困など、人々の不満や怒り・利害関係をきっかけとして戦争が起こることもあるのです。したがって、戦争（紛争）の原因や背景の問題をしっかりと考え解決していかないと、平和は実現できません。

※2 『へいわってすてきだね』（安里有生 詩 長谷川義史 画 ブロンズ新社 2014 年）

3. 平和学習のめざすもの

(1) 平和学習の目的

平和学習の目的は、日本国憲法の理想と教育基本法の目的を実現することです。先の戦争の惨禍の反省から日本国憲法の前文には、「日本国民は、恒久の平和を念願し、…平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した。われらは、…平和のうちに生存する権利を有することを確認する。」とあります。それは、武力によらず外交による世界的な視点に立っての平和実現をめざしているのです。

また、教育基本法（1947 年）では、「真理と平和を希求する人間の育成を期する」（前文）ことを明記し、平和実現のための主体を形成することを教育の目的としています。

この目的を達成するために平和学習の中で次の3つの目標を考えています。

- 原爆や戦争（紛争）のもつ非人間性、残虐性を知らせ、戦争を許さない感情を育てるとともに、平和の大切さや生命の尊さを理解する。（感性的な認識）
- 戦争を引き起こす原因を追求し、その背景となる経済格差や人権抑圧、飢餓・貧困などについて理解したり、探求したりする。（知的な認識）
- 戦争を防ぎ、平和を守り築くために何ができるか考え、発信したり行動したりする。そして、平和を創るために世界的な視野で行動できる主体を育てる。（実践的な認識）

私たちは、「戦争は最大の人権侵害である。」という視点から、これまで積み上げられてきた正しい歴史認識に基づいた平和学習を基調にし、現代の戦争（紛争）の原因や背景となる人権抑圧や経済格差、飢餓・貧困などの問題をふまえて、世界的視野に立った平和教育をすすめていかなければなりません。

(2) 平和学習を進めるために

① いきいき平和学習の工夫

平和学習において歴史的な事実や今日的な課題について、まず「知る」こと、そしてそこから「感じたこと」を、さらに「学び」「考え」「深めて」いくことにより、様々な視点からの科学的な目・鋭い感性を育てていくことが大切です。そして、自分の内に湧き上がってきた思いや学びを、次の段階として「発信」し、「表現」し、「行動」という一連のつながりを持った平和教育が期待されます。

とりくみにあたっては、子どもたちと教材との出会いが大切です。「えっ」という驚きや「なぜ？」という疑問をもち、「知りたい」「学びたい」と意欲的、主体的に動ける手段や方法を持ち多様で豊かな意見を交わすことができる教材を、教職員自身が主体的に発掘していきたいものです。

深く心を動かされた学びは、子どもたちを自然と、「伝え、行動する」側へと動かしていきます。平和教育では、自分が主体となって学んだ、伝えたいという経験や、伝えることができたという達成感を味わうことがとても大切です。

② 子どもの生活につながるように

みなさんの住んでいる地域には忠魂碑や慰霊碑・戦没者の墓石等がありませんか？子どもたちの祖父や祖母、曾祖父や曾祖母あるいは親戚の中には戦時中の体験者や戦没者が必ずおられるはずです。私たちの現在の生活は過去の様々な出来事の上に成り立っています。自分たちと同世代の子どもたちが、集団疎開や学徒動員、戦争・空襲などでどんな体験をしたのか当時の生活に想いを馳せることが大切です。今、自分が住んでいる所で昔どんな出来事があったのか、自分に関わる人たちが過去にどんな体験をしたのか、子どもたちは興味をもつことでしょう。

「ぼくがラーメンたべているとき…」(※3)で始まるお話では、となりのみっちゃん、そのとなりのたいちゃんは…と話は広がり、となりの国そのまたとなりの国へと話はどんどん広がっていきます。そしてそのまたとなりの国では男の子が倒れています。その子の上に吹く風は、今窓から入ってきたものと同じ風なのです。ぼくがラーメンを食べている同じ時間に世界のどこかで同世代の子どもたちが戦争で倒れているかもしれないというお話です。世界的な視野で平和というものを考えさせられる絵本です。

世界はつながっています。世界のどこかで起こっていることはわれわれの生活と無縁ではないのです。現代にお

いて1つの国だけの平和が続くということはありません。(どこかの国や人々の犠牲の上に成り立っている「平和」もあるのです。)

時間的な隔たり、空間的な隔たりを超えて、子どもたちに、今の自分の命や生活につながっている問題として、「当事者意識」をもたせることが特に重要です。そして、教職員自身がどれだけ「当事者意識」をもって子どもたちと学びをつくっていくかということに掛かっているともいえます。

※3 『ぼくがラーメンを食べているとき』(長谷川義史 作・絵 教育画劇 2007年)

③ 戦争・被爆体験の継承と追体験

戦争・被爆体験を聞くということは、お話を通して当時の様子をイメージし、戦争の悲惨さや命の大切さを追体験する行為です。実体験に基づくお話ほど私たちの心に響くものはありません。さらに、戦争遺跡を訪れ、フィールドワークなどすれば当時の体験をさらに深化することができます。私たち教職員は体験に学び伝えていく責務があります。しかし、戦後70年以上を経て、戦争・被爆体験者は高齢化し、直接体験を聞く機会はどんどん無くなりつつあります。また、戦争遺跡も消えつつあります。そうしたなかで地域の方の体験者の聞き取りや継承、戦跡を掘り起こし教材化することは喫緊の課題です。

④ 平和を築く力を育てよう

1998年のインドとパキスタンが相次いで核実験を強行したことをきっかけに被爆地ヒロシマ・ナガサキの声を世界に伝えようと「高校生平和大使」を国連に派遣することになりました。毎年、全国から選ばれた高校生約20名が核廃絶をめざすために署名活動を行い、その署名を持ってスイス・ジュネーブの国連欧州本部に届けています。高校生平和大使の合言葉は「ビリョクだけどもリョクじゃない。」です。(※4)2018年にはノーベル平和賞の候補にもなりました。

平和を築く力はすぐに育つものではありません。小学校低学年においては、命の大切さや戦争はいやだという思いを感性的にしっかりとらえさせていくことが大切です。また普段の生活の中で、平和を創っていくことにつながるもの、平和を壊すことにつながっていくものを感じ、発見していく力を培い、身の回りのいじめや差別をなくすことも平和を築く行動化の一つです。

さらに平和学習を積み上げることによって、平和を希求する、より豊かな感性や戦争が起きる仕組みや背景に対する科学的認識が育ち、平和を築くために自分に何ができるか考え、行動する力へとつながっていくのです。

※4 『はばたく高校生平和大使』(長崎新聞社 2014年)

⑤ 系統立てて進めていこう

平和教育は全教科・領域ですすめていくことが望ましいと考えられます。8.6前後に平和集会・平和学習をするだけでなく、国語の文学教材で命や平和の心情を育てたり、社会の歴史学習で過去の事実学び、歴史認識を育てたり、社会見学や修学旅行で平和テーマに総合学習を組んだり、ショートホームルームで時事問題について話し合ったりするなどすべての教育活動で実践することが可能です。

そして、学校内で①組織的、②計画的、③系統的、④日常的、⑤継続的にすすめていくのが望ましいです。学校の教育計画や校務分掌に位置付けることで、すべての教職員が継続的にとりくめるようになります。また、児童生徒の実態に応じて年間を見通したカリキュラムを作成しましょう。低学年のうちには命の大切さや戦争の悲惨さについて感性的にとらえることから始め、成長に伴い、戦争の構造について知り、自分に何ができるか考え、平和な世界を創るために行動する主体としての育成が望まれます。同じ教材でも子どもたちの成長に応じて学ぶ内容は変わります。子どもたちの実態に合わせてくり返しとりくんでいきましょう。

※広島平和教育研究所HP:「平和教育基準カリキュラム」参照

(3) 平和学習を成立させるために

① 平和学習を成立させるための土台づくり

平和教育を推進するために大切なことは学校の教育計画や校務分掌に位置付けることです。しかし、それ以上に大切なことは人権を大切に作る環境をつくることです。「戦争は最大の人権侵害である」といわれます。まずは学級内、学校内の集団作りをすすめていきましょう。お互いの個性を認め合い、言いたいことが言い合え、お互いの意見を聞き合え、一人ひとりの意見が尊重される集団こそが平和学習をすすめる土台となります。

また、平和教育は教職員の生き様が大きく反映されています。それゆえ、教職員自身が平和を希求する主体でありたいものです。ただし、一方的にその思いを子どもたちに押しつけるのではなく、学習を通して子どもたちが変容し、自分の考えをもてるようになることが大切です。

② 自ら資料収集を

平和教育をすすめていくうえで自主的な研修や教材発掘が不可欠です。本やネットの情報だけでなく、平和関係の資料館や戦跡に行って学ぶことや、さまざまな団体組織の学習会やフィールドワークに参加するなど主体的に動いて学ぶことが大切です。ネットの情報は便利ですが不確かなものもあります。正確な情報や事実に基づき教材化をすすめていきましょう。

元長崎市長の本島等さんは著作の中(※5)で「戦争への反省、加害者としての認識があつてはじめて、私たちの核兵器廃絶の訴えに世界の人が耳を傾けてくれる」と述べています。被害の教材化だけでは不十分です。広島が原爆の被爆地であると同時に、重要な陸軍部隊が置かれるなど、明治以降アジア侵略の重要拠点であり、日本のアジア侵略をすすめてきた歴史があります。戦争において被害と加害は表裏一体です。加害の事実の教材化もすすめていきたいものです。

ヒロシマの心を伝えるのは私たち広島の教職員の使命であるとの自覚をもち、平和教育にとりくんでいきましょう。

※5 『長崎市長への七三〇〇通の手紙』(本島等著 径書房 1989年)



韓国人原爆犠牲者慰霊碑

(約2万人の朝鮮半島出身者が原爆の犠牲となりました)

4. やってみよう平和学習

(1) 平和ってなんだろう

へいわとせんそう

1. ねらい

シンプルな絵と言葉で、「平和な世界」と「戦争のある世界」を対比した絵本を見て、「平和」のイメージをとらえさせ、「平和」とは何かを考える。

2. 対象 小学校低・中学年

3. 教科・領域／単元 道徳（国際親善）・学活

4. 指導時間 1時間

5. 準備物 絵本『へいわとせんそう』（文：たにかわしゅんたろう／ブロンズ新社）の中から、「へいわのボク」と「せんそうのボク」／「へいわのワタシ」と「せんそうのワタシ」／「へいわのチチ」と「せんそうのチチ」／「てきのかお」と「みかたのかお」／「みかたのあさ」と「てきのあさ」／「みかたのあかちゃん」と「てきのあかちゃん」のページを拡大コピーしておく。

6. 学習の展開

学習活動	留意点
<p>(1) 「へいわのボク」と「せんそうのボク」の拡大コピーを黒板に掲示し、何がちがうか発表する。 ○へいわ…明るく、にこやか。笑顔がある。 ●せんそう…暗く、気持ちが沈んでいる。悲しそう。</p> <p>(2) 「へいわのワタシ」と「せんそうのワタシ」の拡大コピーを黒板に掲示し、何がちがうか発表する。 ○へいわ…本や文房具に囲まれて勉強ができる。 ●せんそう…本や文房具もなく、勉強ができない。不安そう。</p> <p>(3) 「へいわのチチ」と「せんそうのチチ」の拡大コピーを黒板に掲示し、何がちがうか発表する。 ○へいわ…お父さんが遊んでくれる。楽しそう。 ●せんそう…父が戦争に行くと、遊んでもらえない。 やさしい父が武器を持って戦争に行っている。</p> <p>(4) 「へいわ」のイメージと「せんそう」のイメージをノートにまとめて発表する。 ●せんそう…家族はバラバラになり、安心して勉強することも遊ぶこともできない。 ○へいわ…家族がそろってみんなが安心して生活できる。</p> <p>(5) 順番に「てきのかお」と「みかたのかお」、「みかたのあさ」と「てきのあさ」、「みかたのあかちゃん」と「てきのあかちゃん」の拡大コピーを黒板に掲示し、それぞれ気づいたことを発表する。 ・てきもみかたも同じ顔をしている、同じ人間。 ・てきが見る朝もみかたが見る朝も同じ自然。 ・てきの赤ちゃんもみかたの赤ちゃんも同じ人間同士。 →なぜ、同じ顔、同じ朝（自然）なのか考えてみよう。</p> <p>(6) まとめ ・普段の学校生活で、一人ひとりが穏やかに安心して生活できているだろうか。また、どうしたら一人ひとりが安心して生活できるようになるか考えて実行していこう。</p>	<p>○顔の表情や状況のちがいに気を付けて見るようにする。</p> <p>○同じ人や日常の生活が、平和と戦争でどのように変わっていくか気付かせる。</p> <p>○グループ（班）でまとめて発表させてもよい。 ○出た意見を、「へいわ」と「せんそう」に分けて簡単にまとめる。</p> <p>○平和の時代は、みんな穏やかな生活を送っているが、戦争が敵と味方をつくり、人も生活も変えられてしまうこと。 ○平和であれば、敵も味方もなく、同じ自然環境の中で、同じ人間同士穏やかな生活を送ることができること。</p>

※発展学習：「へいわのくも」と「せんそうのくも」のページの「せんそうのくも」は原子雲であり、戦争がエスカレートすると、無差別大量殺戮兵器の核兵器が使用される可能性があることに気づかせることができる。

7. 資料

① 「へいわのボク」と「せんそうのボク」

へいわのボク



せんそうのボク



② 「へいわのワタシ」と「せんそうのワタシ」

へいわのワタシ



せんそうのワタシ



③ 「へいわのチチ」と「せんそうのチチ」

へいわのチチ

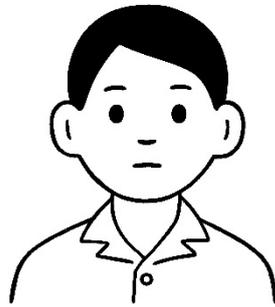


せんそうのチチ

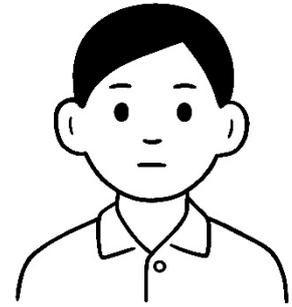


④ 「てきのかお」と「みかたのかお」

てきのかお

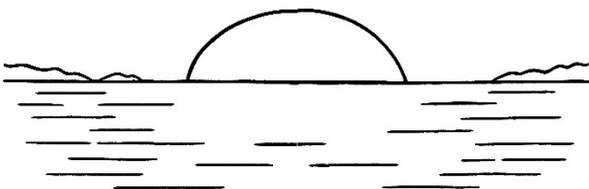


みかたのかお



⑤ 「みかたのあさ」と「てきのあさ」

みかたのあさ



てきのあさ

⑥ 「みかたのあかちゃん」と「てきのあかちゃん」

みかたのあかちゃん



てきのあかちゃん



(2) 社会科教科書でどう教えるか

①近隣諸国との友好の歴史 ～朝鮮通信使～

瀬戸内をゆく朝鮮通信使

1. ねらい

17～19 世紀における日朝間の平和を維持するための努力や、文化交流をとおして相互理解を深めたことを理解し、平和友好が人類普遍の価値であることを学ぶ。

2. 対象 小学校6年～中学校

3. 教科・領域／単元 歴史的分野（江戸時代の外交）／総合的な学習

4. 指導時間 1～2時間

5. 準備物 写真／地図／資料

6. 学習の展開

学習活動	留意点
<p>(1)2017年10月、「朝鮮通信使に関する記録」がユネスコの記憶遺産に登録されたことを知っているか。なぜ、記憶遺産に登録されたのか考えていこう。</p> <p>☆木額「日東第一形勝」の写真（東書中学校歴史教科書 P.119）を提示し、何と書いてあるか、どこにあるか。</p> <p>(2)資料で朝鮮通信使の概要（全体像）をつかむ。</p> <p>① 江戸幕府は、豊臣秀吉の朝鮮侵略で断絶した朝鮮との国交回復をどのように進めたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対馬藩の交渉努力 ・日本側の状況の変化（秀吉から家康へ） <p>② 朝鮮側はどのように対応したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・条件付和平に応じる。→「探賊使」の派遣 ・「回答兼刷還使」の派遣→国交回復へ <p>③ 幕府は、なぜ国交回復を急いだか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊臣政権の引き起こした戦争状態に終止符を打ち、徳川幕藩体制を確立するために全力を注ぐことができる。 <p>④ 通信使は、いつどのようにしてやってきたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的、回数、人数、メンバー、船団の編成 ・コース、寄港地、日程（往復で8～10か月） ・対馬藩の役割（先導役）、各藩の動員 ・江戸での交歓（国書の交換など） <p>(3)福山藩ではどのような準備やもてなし、交流が行われたか。</p> <p>ア 朝鮮通信使の鞆の浦への寄港と福山藩の接待</p> <p>イ 対潮楼、「日東第一形勝」について</p> <p>ウ 使節団との交流</p> <p>エ 福山藩の受け入れ準備と農民・漁民の負担</p> <p>(4)朝鮮通信使の学習をとおして、学んだことや感じたことを出し合う（時間を見ながら、班で1人ぐらい感想を発表させる）。</p>	<p>○鞆の浦の対潮楼にある「日東第一形勝」の木額の写真を提示する（登録されたのは原本）。</p> <p>○朝鮮通信使の高官が書いたものである。</p> <p>○資料で朝鮮通信使の概要を説明する。①，②，③については、指導者が概略を説明する。</p> <p>○「探賊使」は、日本の国状を探索し、再侵略の意図の有無を探る目的であった。</p> <p>○「回答兼刷還使」は、家康の国書（親書）に対する「回答」、朝鮮侵略で日本に拉致された人々を連れて帰る「刷還」であったこと。</p> <p>○目的は、朝鮮国王と徳川将軍が国書（親書）を交わし、友好関係を確認するためであったこと。</p> <p>○コースは、地図で確認する。</p> <p>○広島県では蒲刈と鞆の浦、岡山県では牛窓に寄港したこと。</p> <p>○料理については、蒲刈で出されたものが参考になる（『安芸蒲刈御馳走一番』）。</p> <p>○接待するうえで一番困ることは何だろうと問いかけてみる（言葉）。</p> <p>○庶民との交流（岡山藩）については、牛窓で伝わる「唐子踊り」があること。</p>

<p>(5)まとめ</p> <p>○使節の派遣を通じて、日朝両国が対等な関係で、お互いに相手の立場を理解し、武力を使わず、話し合いの努力により、約200年間にわたり平和を維持してきたこと。</p> <p>○平和友好は人類普遍の価値であり、現代でも通じることであること。</p>	<p>○「誠信の交わりが大切」と説いた、対馬藩の儒学者・雨森芳州の言葉を紹介しながらまとめてもよい。</p> <p>○ユネスコは、朝鮮通信使が平和友好の象徴であることから記憶遺産に登録した。</p>
--	---

※発達段階に応じて、学習活動や内容は工夫したい。

7. 発展学習例

○時間が許せば、グループごとにテーマを決め、調べ学習や発表を行ったり、社会見学（フィールドワーク）を行ってもよい（総合的な学習、学校行事）。

8. 資料

〈資料1〉朝鮮通信使の寄港と福山藩の接待

日本と朝鮮の国交が回復して、最初に朝鮮通信使が日本を訪れたのは、1607年のことでした。最後に訪れた1811年まで、約200年の間に12回訪れました（最後の12回目は対馬止まり）。将軍が替わるたびに訪れ、また、朝鮮の国王が替わると、日本から将軍の使節が釜山まで出かけました。

朝鮮通信使は外交使節ですが、文化使節団でもありました。使節団の中には、正使や副使のほか、学者、文人、書家、医師など全体では約500人にもなりました。対馬藩の船が釜山まで出迎えに行き、約1000隻にもものぼる大船団が、対馬、杵岐、瀬戸内海（赤間関〈現在の下関〉、上関、蒲刈、鞆津、牛窓、兵庫〈現在の神戸〉に寄港）を海路大坂に向かいました。そこから、川御座船に乗り換えて淀川を遡り、淀（京都府伏見区）を経由して、陸路江戸まで行きました。江戸までの往復の旅は、8か月以上もかかりました。

鞆津（鞆の浦）では、福山藩が受け入れ・接待を行いました。1636（寛永13）年から、正使・副使・従事官は福禅寺に宿泊することになりました。福山藩主4代・水野勝種は、1688～1704年に福禅寺の本堂と観音堂を建て、さらに本堂に隣接する所に通信使の客殿をつくり、それ以後、三使の客殿（のち対潮楼と名付けられる）となりました。対潮楼は、通信使一行の三使（正使・副使・従事官）らが泊り、もてなしを受け、接待の学者（儒学者）たちも交流したところです。つまり今でいう迎賓館です。通信使は、1607年から1764年まで11回、鞆に寄港しました。そのうち4回、この対潮楼に宿泊しました。

〈資料2〉使節団との交流

通信使の一行の三使らは対潮楼でもてなしを受け、接待の学者（儒学者）らと詩や書の交流をして、詩や書を残しました。書では、1748（延享5）年7月10日、第10次朝鮮通信使の正使・洪啓禧が江戸からの帰路、鞆ノ津の福禅寺に宿泊した時に、対潮楼と命名し、その息子で随員の洪景海（22歳）は、「対潮楼」という書を書き残しました。福山藩主の阿部正福はこの書を木額にして福禅寺に贈りました。

1711（正徳元）年、第8次朝鮮通信使の上官8人が福禅寺楼閣から、向いの仙酔島や弁天島をながめながら、「対馬より江戸まで、ここほど美しい景色のよいところはない」とみんなで言い合い、従事官の李邦彦が「日東第一形勝」という書を書き残しました。1810（文化7）年、福山藩は、書が年月を経て破損することを恐れ、「日東第一形勝」の木額を作成し、現在、対潮楼の客殿に掲げられています。

●第10次朝鮮通信使副使・竹裏が詠んだ詩（題「寺楼」）

東南形勝地（東南 形勝の地）
 第一此高樓（第一なるは 此の高樓）
 浩々天無限（浩浩として 天阻む無く）
 飄々岸欲浮（飄飄として 岸浮かばんと欲す）
 長風吹素月（長風 素月を吹き）
 孤燭繫歸舟（孤燭 歸舟を繋ぐ）
 半夜清虚界（半夜 清虚の界）
 新秋又火流（新秋 又た 火流る）

【現代語訳】

東南なる日本で第一の景勝地といえばこの楼閣。ひろびろと遮るもののない天にそそりたち、岸辺は水にゆらゆらと浮かんでいるように見える。まっ白な月に遠くから風が吹きよせ、岸につなぎとめられた舟には灯が一つともっている。夜半天空の中になると、火の星が西に流れて、秋が訪れた。火の星はさそり座の中にある、夏の夜空を代表する星である。 ※楼閣とは対潮楼のこと。

『善隣友好 朝鮮通信使 一鞆の浦 新たなる発見』福山市鞆の浦歴史民俗資料館 2013年

〈資料3〉福山藩の朝鮮通信使の受け入れ準備

朝鮮通信使の約 500 人、宗対馬藩の約 500 人、福山藩諸役人や、「福山町方より料理人、給仕人」など約 1000 人、合計 2000 人の食事の準備はたいへんでした。まず、食事の材料調査からはじめて、「きじやつるなどを村々より出すよう」と命じました。ところが、「先年の朝鮮通信使の来日の時、猪・鹿を生け捕りにするのに、村々で相談しましたが、村にはいないし、知恵者もなく、困っています」と報告しています。

朝鮮では 13 世紀に元（モンゴル）に支配された時代以後、動物の肉食文化は非常に発展していましたが、日本では肉食は普及していなかったため、「きじ・つる・にわとり・いのしし・しか・ぶた」を用意するのはたいへんでした。

「あゆ・ふな・川魚など」は村々より毎日持参し、「活魚を田島・白石島・真鍋島」など瀬戸内の藩内の島々より運び込みました。そして、三使の泊まっている福禅寺まで、港から毛せん（赤いジュータン）・うすべり・むしろなどを敷きならべました。むしろの数だけで、3500 枚も敷いていたのです。

〈資料4〉町人や農漁民の負担・労苦

天和 2（1682）年には、夜に入港しました。「百隻にもなる多くの船が灯火をかかげて港口（港の入口）をこうこうと照らし、夜を視ること昼の如しでした」。路上には 5 歩ごとに竿に大提灯をかかげました。つまり、鞆ノ津の道すじに 6600 個の堤灯をかかげたのです。ろうそくは 4 万本を用意し、暗闇の世界を真昼の世界に一変させたというわけです。

一行は鞆ノ津の寺院や商家、藩の御茶屋に、合計 2000 人が分宿しました。鞆の津は北前船などの交易の地でしたし、荷船を相手とする「船宿」とよばれる問屋は 20 畳・30 畳の大座敷を持っていました。また、この狭い地域に 28 か寺もの寺院があり、この寺院や商家を宿舎としたのです。通信使や対馬藩の人たちは身分、役目ごとに分宿していますが、その宿泊所を仰せつけられた人が、港に停泊している船まで出迎え、案内したのです。通信使の通詞（通訳）は上官つきですし、対馬藩の通詞は正使つき、副使つき、買物方に分担し配置していましたが、少人数でした。その時点で商家の人たちは日常会話には困ったようです。福山市鞆の浦歴史民俗資料館で展示紹介している町方文書では、食物を中心に朝鮮語と日本語の対訳控えがあります。対訳というより、発音対意（※1）というべきでしょう。

「一. 多葉粉をえんつという、一. 餅をひんという、一. 酒をちうという…」などと記しています。

ともかく、朝鮮通信使をむかえるにあたっては、村々（※2）が連名で、「人夫を出したり、いろいろと役目を仰せつけられるのは、お断りします」との願書を藩に出したり、鞆の津内で、「魚類を請け負う者を町内で募集しましたが、希望者は一人もいません」という状況でした。それは、百姓や漁師・町人の負担の大きかったことを物語っています。

※1 漢字の音読みからくる発音

※2 吉津村、奈良津村など 8 か村

（資料 3、4 は、『江戸時代・人づくり風土記〜34 広島』〈農村漁村文化協会〉の「朝鮮通信使と鞆の浦」から引用）

○朝鮮通信使年表

回	西暦（年）	使節名	人員（人）	備考
1	1607	回答兼刷還使	467	約 1300 人刷還
2	1617	回答兼刷還使	428	京都伏見で応接 321 人刷還
3	1624	回答兼刷還使	300	146 人刷還
4	1636	通信使	475	日光山遊覧
5	1643	通信使	462	日光山参詣
6	1655	通信使	488	日光山参詣
7	1682	通信使	475	
8	1711	通信使	500	
9	1719	通信使	479	
10	1748	通信使	475	
11	1764	通信使	472	
12	1811	通信使	336	対馬で応接

（参考書籍のアなどをもとに作成。人数は資料によって若干違います。）

○朝鮮通信使のルート



（鞆の浦歴史民俗資料館「企画展 海からの善隣友好使節・朝鮮通信使」パンフレットより）

9. 参考

○資料館

- ・福山市鞆の浦歴史民俗資料館（福山市鞆町後地 536）
TEL. 084-982-1121 <http://tomo-shiryokan@city.fukuyama.hiroshima.jp>
 - ・福禅寺対潮楼（福山市鞆町鞆2） TEL. 084-982-2705
 - ・朝鮮通信使・安芸蒲刈御馳走一番館（呉市下蒲刈町下島 2277-3） TEL. 0823-65-2900
- ※事前に資料館や対潮楼を訪れ、朝鮮通信使関連の資料などを見ておくとよい。

○参考図書（朝鮮通信使を知るために）

- ア 『日韓共通歴史教材 朝鮮通信使』（日韓共通歴史教材制作チーム編，明石書店，2005年）
…広島と韓国大邱の小中高の教師が共同執筆。写真や地図，資料が多く，大変わかりやすい。
- イ 『ユネスコ世界記憶遺産と朝鮮通信使』（共編者：仲尾宏・町田一仁，明石書店，2018年）
- ウ 『善隣友好 朝鮮通信使 一鞆の浦 新たなる発見一』（福山市鞆の浦歴史民俗資料館 2013年）
- エ 『朝鮮通信使と福山藩港・鞆の津』（福山市鞆の浦歴史民俗資料館，1990年）
- オ 『江戸時代・人づくり風土記～34広島』（牧野昇他監修，加藤秀俊他編纂，農村漁村文化協会，1991年）
- カ 『江戸・日本への善隣使節 朝鮮通信使』（仲尾宏編，NHK出版，2001年）
- キ 『江戸時代の朝鮮通信使』（李進熙著 講談社学術文庫 1992年）
- ク 『図説朝鮮通信使の旅』（編著者：辛基秀・仲尾宏 明石書店 2000年）
- ケ 『朝鮮通信使と蒲刈』（下蒲刈町 1977年）
- コ 『安芸蒲刈・御馳走一番』（下蒲刈町 1989年）
- サ 『牛窓と朝鮮通信使』（牛窓町 1988年）
- シ 『唐子踊り』（牛窓町 1991年）



— 対潮楼 —



— 対潮楼からの眺望 —



— 朝鮮通信使行列（対潮楼内模型） —

(1) 社会科教科書でどう教えるか

②日本の戦争の歴史

日清戦争～15年戦争～アジア太平洋戦争（あらまし）

天皇を中心とした国家に

1871年の廃藩置県により日本は中央集権の国家へと変わりました。明治政府は徳川幕府に代わる権威として天皇を国民に意識づけさせようとしてきました。1889年に制定された大日本帝国憲法では「天皇ハ神聖ニシテ侵スベカラズ」として、天皇の絶対的権威を国民に浸透させました。

そして欧米諸国に負けないよう殖産興業・富国強兵の政策をすすめました。また、脱亜入欧のスローガンのもとアジアを蔑視し、軍事・教育・税制などでさまざまな改革を実行していきます。

1873年、徴兵制度がしかれ20歳になった男子は徴兵検査を受け兵役に就きました。兵役は国民の義務とされ軍隊の最高指揮権は天皇にあり、上官の命令は天皇の命令であるとされました。日本の軍隊は、「軍人勅諭」の中で「天皇の軍隊＝皇軍」とされ、天皇に忠節を尽くすことが軍人にとって最も大切なことであるとなりかえし教えこまれました。

1880年代には政府は教育内容の統一をはかり、「修身」という教科で忠義や孝行などを教えました。体操も重視され、隊列運動が小学校に取り入れられ、号令による動作・行進などが重視されました。1890年には明治天皇の名で教育勅語を制定し、学校での教育・儀式等を通して「ひとたび国に戦争などが起きたときは、天皇のため国のため命をなげだす」ことを徹底して教えこみました。

領土(植民地)を広げる

1869年、蝦夷地を北海道と改め、1875年、樺太千島交換条約を結んで、千島列島は日本領、樺太(サハリン)はロシア領と決めました。また、1872年、琉球王国を琉球藩にあらため、1879年には武力によって沖縄県を設置し、琉球王国を滅ぼしました。

1876年、日本は当時清(中国)の属国であった朝鮮に圧力を加えて、日朝修好条規という不平等条約を結ばせました。さらに朝鮮での利権を狙う日本は1894年、朝鮮南部で起こった農民蜂起をきっかけに出兵し、清の軍隊と戦うことになりました。これが**日清戦争**です。1895年、戦争に敗れた清は朝鮮の独立を認め、遼東半島と台湾・澎湖諸島を日本領とし、2億テールの賠償金を日本に支払うことを認めました。台湾の人々は日本の支配に反対する行動に立ちあがりましたが、日本は7万6000人の軍隊を送りこんで台湾を制圧しました。

日清戦争後、朝鮮ではロシアの影響力が強くなり、それに対抗するためイギリスと日本は1902年、日英同盟を結びました。そのため日本とロシアの対立が深まっていきました。1904年、日本はロシアに宣戦布告し、**日露戦争**を始めました。しかし、戦死者・戦病死者は8万4000人にのぼり、兵士の動員も戦費も限界に達しました。1905年アメリカの仲立ちで日本とロシアはポーツマス条約を結びました。この条約で日本は朝鮮半島の優越権をロシアに認めさせ、遼東半島の旅順・大連を中国から租借する権利と、長春から南の鉄道を得ることができました。

さらに、日本は韓国(朝鮮)の外交権を奪って、保護国としました。1910年、日本は**韓国を併合**して植民地とし、朝鮮総督府という役所を置きました。朝鮮総督には日本の陸海軍の大將を天皇が任命しました。朝鮮総督府は朝鮮での教育の目的を教育勅語にもとづく「天皇の臣民」づくりとして、全土に4年制の普通学校を作りました。

1914年、ヨーロッパで**第一次世界大戦**が始まりました。この戦争では、戦車・飛行機・潜水艦・毒ガスなどの新兵器が使われました。日本は日英同盟を理由にドイツに宣戦布告し、山東半島の青島を占領し、さらに「21カ条の要求」中国政府に迫りました。1919年、中国での領土返還を求める運動は高まり(**五・四運動**)、ワシントン会議の後、山東半島は中国に返還されました。

当時、日本の国家予算に占める軍事費の割合は50%に達していました。1921年からアメリカの呼びかけでワシントン会議が開かれ、各国は海軍力を縮小する条約に調印しました。

1919年、京城(ソウル)から朝鮮独立を宣言する運動が広がりました(**三・一独立運動**)。朝鮮総督府はこの運動を武力で弾圧しました。

1929年、アメリカの株価の大暴落をきっかけに不景気が世界中に広がりました(**世界恐慌**)。日本でも工場の倒産などで250万人が職を失いました。労働争議・小作争議が頻発し、冷害による農産物の凶作によって欠食児童も増加しました。

日中戦争へ

1928年、日本は中国東北部(満州)の利権を守るため中国の実力者・張作霖の乗った列車を爆破しました。さらに1931年、柳条湖付近で南満州鉄道の線路を爆破し、それを中国軍のせいにして、次々と戦闘を広げていきました(**満州**)

事変)。日本軍は満州全域を占領し、満州国を建国させました。

1933年、国際連盟は中国からの訴えを受け、日本に満州から撤退すべきだと勧告しました。これを不服とした日本は国際連盟を脱退し、国際社会で孤立することとなりました。

このころ、「満州開拓」のため日本から多くの人々が満州に渡りました。開拓とは名ばかりの実質は中国の人々からの土地の搾取でした。しかし、多くの人々が希望をもって大陸に渡って行きました。

1936年、二・二六事件の後、軍部は政治への発言力を強め、軍事費が国家予算の半分以上を占めるまでになりました。日本はナチス政権下のドイツと日独防共協定を結び、ソ連との対立が表面化しました。

また、1937年7月、北京郊外の盧溝橋で日中両軍が衝突し、これをきっかけに中国との全面的な戦争を始めました(日中戦争)。日本軍は上海から国民政府の首都である南京に進撃し、12月、南京を占領しました。その際、多数の捕虜・市民を殺害しました(南京事件)。

日本国内においては、治安維持法(1925年)によって軍国主義の動きに抵抗する人々を取り締まり、1938年には国家総動員法を成立させて、多くの物資や人員を戦争のために優先して使えるようにしました。さらに、1940年にはすべての政党が解散し、戦争に協力するための大政翼賛会がつくられました。

同年、日本はドイツ・イタリアと軍事同盟を結びました(三国同盟)。日中戦争は長引き、石油など戦争に必要な資源を得るために東南アジアへの進出をめざしました。このことは、東南アジアに植民地をもつアメリカ・イギリスとの対立を深めました。

1939年、ポーランドに侵攻したドイツにイギリス・フランスが宣戦布告し、第二次世界大戦が始まりました。軍事同盟を結んだ日本・ドイツ・イタリア(枢軸国9カ国)と米・英・中国・ソ連など(連合国51カ国)全世界を巻き込む戦争となりました。

アジア太平洋戦争へ

1941年、アメリカは日本に対する石油の輸出を禁止し、中国・インドシナからの撤退を要求しました。これを拒否した日本は米・英に宣戦布告し、12月8日、日本陸軍はマレー半島に上陸、1時間後日本海軍はハワイ真珠湾を攻撃しました。こうして戦争はアジア・太平洋地域に拡大していきました(アジア太平洋戦争)。英領マレーの中国系住民が中国軍を支援しているとして日本軍は多くの中国系住民を虐殺しました。また、真珠湾攻撃によってアメリカ海軍の若い兵士2000人が亡くなったため、「リメンバー・パールハーバー」とアメリカの対日参戦を促すこととなりました。

日本軍は東南アジア全域を占領し、石油や鉄鉱石など重要な資源を獲得しました。また、多くの住民や捕虜を労働者(ロームシャ)として集め、鉄道建設や建設現場の肉体労働にかり立てました。朝鮮・台湾からは軍人・軍属として多数の人々を徴用し、日本国内においても多数の朝鮮人や中国人を炭鉱や工場などで重労働に従事させました。

日本は、東南アジアの国々を植民地支配から解放して、「大東亜共栄圏」(※1)をつくるというスローガンをかかげていましたが、むしろこの地域での支配を強めたため、各地で抗日・独立運動が起こりました。

日本国民は苦しい生活を強いられ、戦争遂行に協力しないと「非国民」と非難されました。学校では「鬼畜米英」など敵を憎むことや、国(天皇)のために命を捧げることの大切さを徹底して教えました。そして、マスコミはすべて軍の統制下におかれ、戦争遂行に都合の悪い情報は国民に伝えられませんでした。

太平洋の島々では、圧倒的な戦力による米軍の攻撃により日本軍は多くの戦死者を出しました。中国戦線も含めて230万人といわれています。そのうち餓死や病死した兵士は140万人とみられています。日本軍は捕虜となることを禁じていたため、兵士の多くが「玉砕」「自決」しました。また、物資が乏しくなった戦争末期には戦闘機や潜水艇などによる「特攻」作戦が進められました。そして犠牲者はその死をたたえられ、靖国神社に英霊として祀られたのです。

太平洋の島々を占領した米軍はそこから爆撃機による日本本土の空襲を始めました。1944年11月からの全国120都市への無差別攻撃によって東京大空襲の10万人を含め全国で約20万人の市民が犠牲となりました。

1945年3月には米軍が沖縄本島を攻撃しました(沖縄戦)。沖縄を本土防衛の「捨て石」とした軍部は沖縄住民を巻き込んで徹底抗戦しました。その結果、沖縄住民の4人に1人の約15万人が亡くなりました。

1945年8月6日、米軍の爆撃機が広島市にウラン型原子爆弾を投下し、9日には長崎市にもプルトニウム型原子爆弾を投下しました。凄まじい熱線・爆風・放射線によりその年の末までに、広島では約14万人、長崎では約7万人の市民が亡くなりました。

7月末にアメリカ・イギリス・中国は日本に対して無条件降伏を求めましたが(ポツダム宣言)、国体護持(※2)にこだわる日本は受け入れませんでした。しかし、8月8日にソ連侵攻が始まるとポツダム宣言を受諾しました。こうして8月15日、日本は無条件降伏し、9月2日、連合国に対して降伏文書に調印しました。

※1 大東亜共栄圏…欧米諸国の植民地支配をうちやぶり、日本が中心となってアジア人のためのアジアを建設すること。

※2 国体護持…天皇の地位を保障すること。

(2) 社会科教科書でどう教えるか

② 日本の戦争の歴史ーア

韓国併合

1. ねらい

韓国併合前後に日本がとった政策やそれに対する抵抗運動を調べ、朝鮮の人々の思いを知ることができる。

2. 対象 小学校6年生

3. 教科・領域／単元 社会科歴史

4. 指導時間 1時間

5. 準備物 安重根と伊藤博文・柳寛順の写真パネル／朝鮮半島の地図／三・一独立宣言

6. 学習の展開

学習活動	留意点
(1)安重根(アンジュングン)の韓国切手と伊藤博文の千円札から、暗殺事件と翌年韓国併合を進めたことを知る。 ・なぜ安重根は切手になったのか考える。	・1909年、ハルビン駅にて安重根は前韓国統監伊藤博文を銃殺した。翌1910年、韓国を併合し、1945年まで朝鮮総督府による植民地支配が続いた。
(2)韓国併合前後に日本がとった政策について調べる。 ・朝鮮全土で土地調査をすすめ土地を失う人もいた。 ・仕事を求めて、日本や満州に移り住んだ人がいた。 ・学校で、日本語や修身・日本の歴史の授業を行った。	・後に創氏改名や宮城遥拝などを強制し、皇民化政策をすすめた。 ・朝鮮に住む日本人が増えるとともに、日本にすむ朝鮮人は1935年には100万人、1940年には200万人を超えた。
(3)日本の植民地支配を受けた朝鮮の人々について調べる。 ・1919年、日本の植民地支配に反対し、「独立マンセー」と叫ぶ多くの人々が朝鮮全土で立ちあがった。 ・朝鮮総督府は武力で運動を弾圧した。 ・学生リーダーの柳寛順(ユガンスン)は投獄され亡くなった。	・日本人の中にも柳宗悦や石川啄木など植民地支配に批判的な人もいたことを知らせる。当時、国策を批判することは勇気のいることであった。
(4)朝鮮の人々の思いを考える。	・戦後、日本政府の植民地支配に対する清算が十分なされていないことが、現代の日韓の関係につながっていることに気付かせる。

8. 資料



安重根の切手



伊藤博文の千円札

9. 参考図書

- ・「日本は朝鮮になにをしたの いま伝えたい／朝鮮侵略」(編集「いま伝えたい朝鮮侵略」編集委員会／発行映画「侵略」上映委員会 1990年)
- ・『柳寛順(ユ・グァンスン)の青い空』(早乙女勝元著 草の根出版会 1995年)
- ・『半分のふるさと 私が日本にいたときのこと』(イ・サンクム作 福音館書店 1993年)
- ・『わが心の安重根』(斉藤泰彦著 五月書房 1994年)

(2) 社会科教科書でどう教えるか

② 日本の戦争の歴史ーイ

戦争と子どもたちの暮らし（学校のはたした役割）

1. ねらい

戦争が日中戦争から太平洋戦争へ拡大する中で子どもたちの暮らしや学校生活の様子から学校が戦争遂行のためにはたした役割に気付く。

2. 対象 小学校6年生

3. 教科・領域／単元 社会科歴史

4. 指導時間 1時間

5. 準備物 学校生活や当時の暮らしの写真パネル／学徒動員の映像／教育勅語の拡大図／当時の教科書の復刻版

6. 学習の展開

学習活動	留意点
(1)写真パネル（または教科書の写真）を見て、戦時中の子どもたちの暮らしについて話し合う。 ・女学生が工場で働いている。 ・大学生も動員されて戦場に行った。 ・子どもたちは戦争ごっこをして遊んでいる。 ・校庭で野菜をつくっている。 ・集団疎開をした。 ・文具と食べるものがなかった。	・国を挙げて戦争に協力する体制がつくられ、協力しないものは「非国民」と非難された。 ○勤労働員・学徒動員の写真・映像などから、学習の場を奪われ、工場や戦地に送られたことに気付かせる。
(2)当時の学校生活・教育について調べる。 ・尋常小学校は国民学校になった。 ・奉安殿前で最敬礼した。 ・儀式で教育勅語を読むのを聞いた。 ・戦争祈願の神社参拝をした。 ・学校長が戦争を鼓舞する話をした。 ・木銃を持って軍事教練、なぎなた訓練をした。 ・運動会が軍事教練の場となった。 ・図工で戦闘機や軍艦・戦車の絵を描いた。 ・出征する兵士を旗で見送った。	○国語や音楽、体育、修身の教科書などから軍事色の強い教育内容となったことに気付かせる。 ・教育勅語の中で「一旦緩急あれば義勇公に奉し」と国と天皇のため命を投げ出すのが国民のつとめであることを徹底して教えた。 ・儀式によって国家への帰属意識を育成した。 ○学校は戦争遂行のための重要な役割を担ったことに気付かせる。
(3)当時の子どもたちの気持ちを考える。 ・戦争に勝つためには仕方ない。 ・学校に行きたかった。 ・自分のなりたい仕事に就きたかった。	○人々の暮らしよりも、戦争を続けることが最優先されていたこと、子どもたちの将来の夢までも戦争の影響を受けていたことに気付かせる。

7. 発展学習例

○地域の戦争体験者から直接話を聞く

聞き取り活動をする場合は、事前に話の内容を聞かせていただき、指導のねらいや伝えて欲しい内容などを十分に打ち合わせておく。

8. 参考図書

- ・『昭和19年の世界地図と現在の世界地図』（塔文社 2004年）
- ・「戦争と平和の実物資料（写真パネル）」平和教育実践選書（石渡延男著 桐書房 1995年）
～「奉安殿と子どもたち」「学徒出陣」「勤労働員」「学童疎開」
- ・復刻版「教育勅語図解読本」平和教育実践選書（石渡延男著 桐書房 1995年）
- ・復刻版「児童用尋常小学修身書 文部省」（ノーベル書房 1984年）
- ・『資料が語る戦時下の暮らし』（羽島知之編著 麻布プロデュース 2004年）
- ・『子どもたちの太平洋戦争』（岡田黎子著作・発行 2009年）

(1) 社会科教科書でどう教えるか

③ 戦時下の暮らし

学童疎開

1. ねらい

戦争中の学童疎開の様子をつかみ、学童疎開が与えた影響について子どもの思いや願いを考えることができる。

2. 対象 第6学年

3. 教科・領域／単元 「アジア・太平洋に広がる戦争」(大単元) 戦争と人々の暮らし(小単元)

4. 指導時間 2時間程度

5. 準備物 年表／高田郡の人口変化／学童集団疎開入郡一覧表／疎開に関する写真・絵本

6. 学習の展開

学習活動	留意点
(1)前時の学習を想起する。	・教科書や資料集の年表やノートなどから前時を振り返らせる。本時は、太平洋戦争末期のころの人々の暮らしについての学習であることをつかませる。
(2)1944年から1945年ごろの高田郡の人口の変化を表・グラフ(資料1)から読み取る。	・表の見方についておさえる。(何の表か。単位。最初と最後の数字を比べる。変化の様子を確かめる。)
(3)なぜ、人口が増えたのかを予想し、自分の考えをもち、その要因の一つが「疎開」というものであることを知る。	・予想したことをノートに書かせる。 ・疎開の意味や当時どのような疎開が行われたのかを簡単に説明する。 ・疎開の目的は、次期戦闘要員の確保、空襲下における「足手まとい」の排除であったことをおさえる。
(4)学童集団疎開入郡一覧表(資料2)から地名や学校名を見つけ、自分が住んでいる地域との関わりに気づく。	・表の見方をおさえ、自分が知っている地名や学校名を見つけさせる。 ・広島県の地図を見ながら、広島市と呉市から疎開児童がやってきたことをおさえる。軍都広島・呉との関連も押さえる。
(5)当時疎開児童が生活した建物が今も残っていることを確認し、学童疎開について当時の資料などから理解する。	・地域にある安楽寺、真蔵坊、西勝寺の写真を見せる。 ・疎開の写真(教科書・資料集)や絵本などから学童集団疎開について理解させる。 ・当時の子どもの手記や証言を紹介する(資料3)。
(6)父や母を原爆や戦争で失った子どもは怎么样了か想像してみよう(資料3)。	・父や母を失った子どもは原爆孤児(戦争孤児)になったことに気づかせる。
(7)今日の学習を通して考えたことや調べたいことをノートに書く。	・戦争についての自分の考えやわかったことや知りたいこと、調べたいことなども書かせる。
(8)今日の学習のまとめをし、次時につなげる。	

7. 関連

① 地域の学童疎開について調べるために

広島県の学童集団疎開先は主に県北である。三次市や庄原市などの学校では、教材化しているところもあるし、県北や北広島町に疎開された方が訪問された事実もあり、新聞記事にもなっている。また、疎開時の資料は、郷土史に残っている。また、疎開先がお寺の場合、現存しているお寺も多く、そこに行って聞いてみるとよい。その当時の資料がそのまま残っていたり、写真を撮られていたりすることがある。受け入れた側の証言も含め、そこを手がが

りに教材化していくことができる。また、疎開した学校の場合、原爆や空襲で資料等が残っていない場合があるが、呉市のように校長会として資料を作成していることもあり、直接学校へ当時の資料や学童疎開について聞き取りをすることもできる。

② 対馬丸沈没事件について

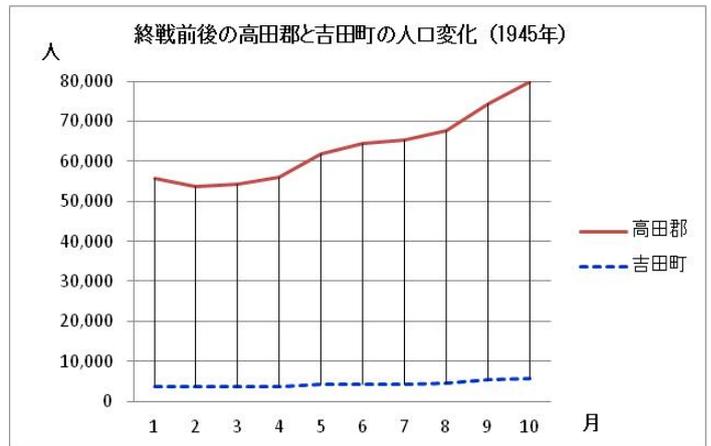
1944（昭和 19）年、戦況が悪化する中、子ども・婦女子・老人は沖縄県外に疎開するよう指示が出されました。学童疎開の子どもたちを乗せた対馬丸は、8月21日に那覇港を出港しましたが、22日夜、アメリカ潜水艦の魚雷攻撃を受けて沈没させられました。乗船していた疎開者は1,661名（船員や兵隊を入れると全部で1,788名）。その約半分は学童疎開の子どもたちでした。亡くなった人は全部で1,418名、そのうち学童は775名でした。

※対馬丸記念館 (<http://tsushimamaru.or.jp/> キッズページ http://tsushimamaru.or.jp/?page_id=87)

8. 児童用資料

〈資料1〉学童疎開の歴史と高田郡と吉田町の人口の変化

戦争が熾烈となり、都市の空襲が激化するに伴い、地方への疎開が始まりました。大都市からの縁故疎開をはじめ、広島、呉方面からも続々疎開が始まり、それが1945年になると著しくなってきた。出征軍人、徴用などで農村人口は減って、平年だいたい高田郡で54,000人台、吉田町（旧）で3,500人台を上下していたものが、5月には60,000台、4,000人台になり、終戦後9月ごろから急増し、10月には高田郡で79,805人、吉田町で5,608人と未曾有の人口となった。そのため、吉田町では疎開者のために、町内の部屋の強制割り当ても行われていた。



○終戦前後における高田郡と吉田町の人口の動き

年	1945									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
高田郡	55850	53681	54264	56158	61952	64464	65319	67553	74387	79805
吉田町	3773	3695	3766	3684	4189	4303	4355	4644	5380	5608

〈資料2〉学童集団疎開入郡一覧表

受入学校	宿舎	疎開学校	人員	到着月日	受入学校	宿舎	疎開学校	人員	到着月日
吉田	徳栄寺	呉 清水	3 9	4 / 6	船佐東	専教寺	牛田	3 4	5 / 12
丹比	長楽寺	"	2 1	4 / 6	同	西蓮坊	"	1 2	5 / 12
同	教善寺	"	女 2 1	4 / 6	船佐北	蓮照寺	"	2 2	5 / 12
可愛	円浄寺	"	男 4 3	4 / 6	栗屋	善立寺	"	5 2	5 / 12
郷野	善立寺	呉 山田	4 0	4 / 9	甲立	正念寺	呉 延崎	3 0	4 / 10
刈田	専念寺	"	3 3	4 / 9	深瀬	教徳寺	"	2 2	4 / 10
根野	善教寺	"	4 6	4 / 9	小田	長楽寺	呉荒神町	3 4	4 / 7
横田	新蔵坊	三篠	3 1	5 / 12	向原	国民校	"	4 3	4 / 7
本	農業会館	"	男 2 2 女 1 0	5 / 12	有保	法成寺	"	4 7	4 / 7
北	安楽寺	"	3 8	5 / 12	井原	善泉寺	"	3 7	4 / 7
生桑	西勝寺	"	男 3 0 女 1 6	5 / 12	志屋	正林寺	呉 岩方	4 1	4 / 11
川根	浄泉坊	"	3 5	5 / 12	市川	順教寺	"	2 3	4 / 11
来原	正明寺	"	4 3	5 / 12	秋越	妙国寺	"	2 2	4 / 11
船佐	満福寺	牛田	3 6	5 / 12	三田西	西福寺	"	2 5	4 / 11
同	西蓮坊	"	4 6	5 / 12	三田東	順覚寺	"	2 5	4 / 11

※なお、このうち根野村へ疎開した上山田校女兒は6月末、根野校が下根飛行場設営部隊の本部となったため、刈田北、郷野両校へ再疎開し、根野校児童も同村覚善寺外数か所へ学級疎開した。

※2004年3月1日、高田郡の全6町（甲田・高宮・美土里・向原・八千代・吉田各町）が合併して、新しく発足した安芸高田市に移行したため、高田郡はなくなりました。

〈資料3〉ちわ子の疎開

1945年5月12日、いよいよ疎開する日です。朝ご飯が済んで、ちわ子は、「お母さん」と言って抱きつき、泣きました。それから荷物やお弁当を持って学校に集合すると、みんなも集まって泣いていました。

ちわ子たちは、芸備線の学童疎開列車で広島市内の他の学校とともに出発することになっていました。ホームは見送りのお父さん、お母さんでいっぱいでした。

改札口のところでお母さんは、「泣いちゃいけない。」と、ちわ子に言いました。ちわ子は少しの間は泣きませんでした。が、汽車に乗ったら泣き出してしまいました。すると、先生は、「泣いたらはずかしいですよ。」と言いました。いよいよ汽車が動き出し、「行ってまいります。」とお母さんに言うと、お母さんは、目に涙をいっぱいためて、「行ってらっしゃい。」と言ってくれました。ちわ子も泣きながら手を振りました。

列車に揺られながら、1日かかりでやっと高田郡北村（現安芸高田市）安楽寺につきました。その夜、消灯の合図とともに広島にいるお父さん、お母さんのほうに向いてあいさつをするのでした。

次の朝、ちわ子は、「起床」というかけ声で目を覚ましました。床のかたづけをして、掃除を、小川で顔を洗い、気をつけの姿勢で皇居のほうへ礼をしました。次に広島のお父さん、お母さんにあいさつをして、1日が始まりです。

朝ごはんの時、「勝つまでは、不平を言いません。」とみんなで言った後、食事をしました。それが済んだ後、北国民学校へ登校するのです。

7月17日、みんなで掃除をしていると、お父さんやお母さんたちが広島から会いに来てくれました。ちわ子のお母さんも来ていました。ちわ子は、「お母ちゃん」と泣きながら走って抱きついていきました。ちわ子が、「このまま、ずっといてくれるの。」と聞くと、お母さんはだまってうつむくだけでした。お昼ごはんを一緒に食べ、一晩だけ一緒に寝たとき、ちわ子はうれしくてたまりませんでした。でも次の日、お母さんは、他のお父さん、お母さんといっしょに帰っていきました。

親と離れての生活、さみしさはつるばかりです。夜中にすすり泣く友だちの声を聞くと、ちわ子も思わず涙があふれてなりません。

そのさみしさをさらにつのらせたのが、ノミやシラミの大発生です。お風呂になかなか入れないため、髪や身体のあるところにノミやシラミがすみついて、かゆくてかゆくてたまりません。「かゆい。かゆい。」「もうがまんできないよ。」「広島に帰りたい。」「帰ってお母ちゃんに会いたい。」と一人さみしくつぶやきながら泣きあかしました。

8月6日は、真っ青に澄み切ったいい天気朝でした。ちわ子やみんなが境内に整列して、安楽寺の門を出たとたん、ピカッという光とドドーンという地響きを感じました。まもなく南の方からきこ雲があらわれ、学校に着く頃はものすごく大きくなっていました。

その日広島は大変なことになっていたのです。本当のことを聞いたちわ子は、「お父さん、お母さんはどうなったんだろう。」と心配で眠れませんでした。「お母さんは、いつむかえに来てくれるのだろう。」「このまま会えなくなるのかな。」と不安な毎日を過ごしました。

広島に起こった大変なことというのは原爆が落とされ、何万人の人たちが一瞬のうちに、焼け死んでしまったことなのでした。

疎開した子どもたちは、被ばくからは逃れられました。けれども父や母を失うという悲しいできごとを知らされるのです。

（広教組可部地区支部時代に当時美土里支区が聞き取りをもとに作成した読み物資料より）

9. 参考資料

○「学童疎開の歴史」

「疎開」という言葉が使用されるのは、1943年10月からである。また、疎開は、はじめ縁故疎開が中心であったが、1944年6月頃より集団疎開が実施される。

1942年4月18日 東京都をはじめ、全国に空襲（死者50人、負傷者400人）

1944年

- 3月10日 東京都教育局『学童疎開勸奨』の方針を出す。
縁故疎開を学年末に計画している家庭が多いことから、3学期終了を15日～20日に切り上げるよう求めている。春休みにかけて142,000人が縁故疎開した。
- 3月22日 84通常国会で初めて学童疎開問題が論議される。
※この時点で疎開とは縁故疎開を勸奨している。集団疎開が政府レベルで構想され始めたのは1944年3月中旬から下旬にかけてであろう。
- 4月 学童疎開が組織的なものになる。

6月15日 米軍サイパン島上陸

6月19日 マリアナ沖海戦日本軍壊滅

- 6月30日 『学童疎開促進要綱』閣議決定
縁故疎開を一層強力に勸奨すること。そのうえにたって、「縁故疎開ニ依難キ帝都学童」について「勸奨ニ依ル集団疎開ヲ実施」しようとした。

7月 7日 サイパン島守備郡全滅 7月18日 大本営発表

- 7月 8日 学童の集団疎開実施要領発表
7月18日 細目にわたり公表
8月 4日 東京の学童疎開始まる。→大都市の学童疎開始まる。
8月22日 対馬丸沈没事件

1945年

- 3月10日 東京大空襲
4月～5月 広島市、呉市の学童疎開始まる。およそ10,000人高田郡（当時）などへの疎開始まる。

7月 1日 呉大空襲

8月 6日 広島へ原爆投下

- 8月 9日 長崎への原爆投下
8月15日 敗戦
9月 集団疎開の全学童帰校命令が出される。

10. 参考図書

- ・広島平和記念資料館企画展冊子「きのこ雲の下にこどもたちがいた」（1997年）
- ・「学童集団疎開誌」（呉市学校校長会編）
- ・「福島の歴史 したたかに生き抜いた先輩たちの記録」（福島町資料作成委員会刊 2003年）
- ・「広島県学童疎開要綱」（1944年）
- ・『集団疎開の絵本 お母ちゃんお母ちゃんむかえにきて』（奥田継夫 作 小峰書店 1985年）
- ・『世界にも学童疎開があった』（奥田継夫著 日本機関紙出版センター 1990年）
- ・研究紀要第24号「学童集団疎開史研究」（大阪市教育センター 1989年）

(3) 深めよう戦争と原爆の学習
① 原爆について考えてみよう

原爆について考えてみよう

1. ねらい 原爆投下のねらいについて考えることができる。
2. 対象 小学校高学年
3. 教科・領域／単元 社会科／総合的な学習の時間
4. 指導時間 4時間
5. 準備物 資料が映せるような機器
6. 学習の展開

	学習活動	留意点
第一次	<p>(1)原爆投下について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆の特徴 ・広島と長崎の被害 <p>(2)原爆について調べることをグループで分担して調べる計画を立てる。</p>	<p>○広島平和記念資料館 HP より特徴を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原爆の被害の特徴を知る。 ・広島・長崎の被害状況
第二次 (二時間)	<p>(3)グループで分担して調べる。</p> <p>① 各国の原爆開発について</p> <p>② アメリカの原爆開発について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカはどのようにして原爆を開発したのか（ドイツとの戦いのため）。 <p>③ 原爆の種類について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウラン型原爆（広島） ・プルトニウム型原爆（長崎） <p>④ 日本への投下について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反対した科学者もいたのか。 ・投下目的は何か。 ・投下目標はどこか。 	<p>HP：広島平和記念資料館 http://hpmmuseum.jp/ HP：広島平和教育研究所資料 「原爆はなぜ投下されたか―問一答」 (http://www.hipe.jp/)</p> <p>○ドイツ・イギリス・日本・アメリカが原爆開発したことを調べさせる。</p> <p>○アメリカはドイツに対抗するために原爆を開発し、投下目標を日本に変更した理由を調べさせる。</p> <p>○なぜ2種類を開発したのか調べさせ、プルトニウム型原爆の実験日とポツダム会談との関係を調べさせる。</p> <p>○原爆を開発した科学者の中には、市民の上に原爆投下することに反対した人もいたことを調べさせる。</p> <p>○日本への投下目的を調べさせる。</p> <p>○原爆投下目標は 1945 年 4 月から検討されたことを調べさせる。</p>
	<p>⑤ 原爆投下までのアメリカの動き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本各地の空襲と原爆投下目標地点の空襲との兼ね合いを調べさせる。 <p>⑥ 原爆投下とプレスコードについて</p> <p>(4)調べたこともとに、グループごとに伝えたいことを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例・・・新聞などにまとめる。 	<p>○原爆投下目標の都市は空襲を避けたことを調べさせる。</p> <p>○原爆投下後、GHQ はプレスコードを発令し、原爆についての情報を統制したことを知らせる。</p>
第三次	<p>(5)調べたことを発表する。</p> <p>(6)原爆投下目的は何かみんなで考える。</p>	<p>○自分たちなりの投下目的について考えさせる。</p>

7. 参考資料

○原爆開発と投下する国について

- ・原爆作成の情報は共有化されており、ドイツ・イギリス・日本・アメリカが原爆開発する。
- ・ドイツに使用した場合、もし爆弾が不発に終わり回収された場合、ドイツであればその技術を原爆開発に逆利用されるが、日本の場合は利用される恐れがないとの判断したため日本へ使用した。
- ・プルトニウム型原爆は、ウラン型原爆と違い、爆発実験をしなければならなかった。そのためプルトニウム型原爆は1945年7月16日、アメリカニューメキシコで爆発実験を行い成功した。この実験成功はポツダム会談中のトルーマン大統領に知らせた。

○投下目的について

「早期終戦説」「人体実験説」「対ソ戦略説」「国家予算説」の4点がある。

①「早期終戦説」

「早期終戦説」とは、原爆投下によって日本が降伏したため、原爆が終戦を早めたという説である。

アメリカ国民の多くは、アメリカ政府の「原爆は50万人ないし100万人の米国人の命を救った」を支持している。トルーマン大統領は1945年8月10日に、「何千人もの若いアメリカへの命を救った。」と述べた。原爆投下したのは「軍事基地のある広島」「命を落とした一般市民は少数」の情報から8月末のアメリカの世論調査では、85%が原爆投下を支持した。しかし、その後、世界各国の記者が原爆について記事を書き、「一般市民が暮らす大都市への投下」がわかると、アメリカは、原爆の惨状を人々に知らせないように、原爆関係のことについて一切の情報を報道管制（プレスコード）した。1947年政府高官が「戦闘が続いたら、アメリカ軍だけでも、100万人以上の戦死者・戦傷者がでた」と発表した。また、1955年のトルーマンの回想録では「50万人」死傷者の人数が出た。

しかし、この意見に対し、アメリカ国内から原爆投下しなくても早期終戦になっていたと反対意見もある。アメリカは、沖縄戦以後、九州上陸、九十九里浜上陸作戦を立てていたが、アメリカ軍の将軍の数名は原爆投下がなくても日本は降伏したと発表している。また、ある提督は「日本はずっと前にロシア（ソ連）を通して和平を求めてきていた。」と日本はソ連と和平工作をしていたことを取り上げ、日本にも降伏の意思があったことを発表している。ソ連は1945年4月5日に日ソ中立条約の期限延長拒否通知をしたが、破棄通告は1年前という約束のため、日本はソ連の対日参戦はないと考えていた。

②「人体実験説」

「人体実験説」とは、原爆がどのように人体に影響するか実験するために投下したという説である。

アメリカは1945年5月28日より、原爆の効果・威力を正確に知るため、原爆投下対象都市に通常爆撃を行うことを禁じた。また、ABCC（原爆調査委員会）の調査で、被爆者の治療はせず、健診結果はすべて公表されずアメリカが持ち帰った。陸軍船舶練習部の軍医が治療したカルテなどもアメリカが持ち帰った（10フィート運動で返却されるまでカルテは返却されなかった。）。この2点から人体実験説の考えもある。

③「対ソ戦略説」

「対ソ戦略説」とは、第二次世界大戦後の冷戦状況を見越し、核兵器を持ちソ連より有利に立とうとした考え。

アメリカはルーズベルト大統領が1945年4月に死亡し、トルーマン副大統領が大統領になった。アメリカ・イギリス・ソ連は1945年2月のヤルタ会談で、ソ連の日本参戦はドイツ降伏の4か月以内とし、1945年5月8日ドイツが降伏したため、ソビエトの日本参戦は8月8日以内になった。トルーマン（アメリカ）、チャーチル（イギリス）、スターリン（ソ連）の首脳は、日本降伏への話と戦後処理ですぐにでも会談をしなければならなかった。チャーチルは、すぐにでも首脳会談を開くようトルーマンに要請したが、トルーマンはアメリカの予算審議の時期で7月までアメリカを離れられないと会談を断った。しかし、スターリンからの要請に、7月15日と返答した。ポツダム会談（三者会談）は1945年7月17日から8月2日まで開いた。これは7月16日のプルトニウム型原爆実験のために先延ばしにしたと考えることができる。トルーマンは、先延ばしにしたもう一つの理由を「誰にも言っていないもう一つの理由がある。それは原爆だ。」と側近に行っている。ポツダム会談で、ソ連の対日参戦が8月15日であり、それまでに2発の原爆を投下してソ連を牽制したのではないかと考えることができる。

④「国家予算説」

「国家予算説」とは、莫大な国家予算（18億ドル）をつぎこんでいるため、議会や国民の追求を恐れるため原爆投下に踏み切ったという説である。

国務長官が「使った予算の結果を見せないで、どう議事を納得させられるのか。」と発言している。

原爆開発は、一部の人が知らず（副大統領であったトルーマンも、ルーズベルトが死亡し、大統領になってから知った。）、原爆の被害を見せることで、つぎ込んだ国家予算の説明がつくと考えた。原爆開発費用は 2011 年現在での費用に換算すると、230 億ドルになる。

○投下目標について

投下目標は、1945 年 4 月に目標検討委員会の初回会議で 17 地域からすでに破壊された地域を除外。5 月の第 2 回会議で、5 都市（京都、広島、横浜、小倉、新潟）を上げる。広島は入っているが、長崎は入っていない。7 月 21 日、京都の代わりに長崎。長崎は、当日は第二目標で、小倉の町並みが目視できないため変更された。

○原爆の被害の特徴（広島平和記念資料館 HP）

- ・熱線、爆風、放射線、高熱火災などが通常の爆弾と違い、無差別大量殺人の爆弾であることを知らせる。
- ・広島・長崎の被害状況について知らせる。

○プレスコード（報道管制）について

- ・GHQ は、1945 年 9 月 21 日から原爆についての報道管制をしいた。これにより、連合国軍の占領下の日本において、原爆のことは写真や文書など全てが報道されなくなった。

8. 参考

〈Web サイト〉

- ・HP：広島平和記念資料館 (<http://hpmmuseum.jp/>)
- ・HP：広島平和教育研究所「原爆はなぜ投下されたか一問一答」(<http://www.hipe.jp/>)

〈参考図書〉

- ・『原爆はなぜ投下されたか一問一答』（広島平和教育研究所編 広島県教育用品株式会社 2008 年）
- ・『世界を不幸にする原爆カード〜ヒロシマ・ナガサキが歴史を変えた』（金子敦郎著 明石書店 2007 年）

(2) 深めよう戦争と原爆の学習

② 軍都広島と戦争

軍都広島と戦争

- ねらい 戦争が日中戦争から太平洋戦争へ拡大し、軍都広島がその大きな役割を果たしたことをとらえることができる。
- 対象 小学校6年生
- 教科領域 社会科歴史「戦争への道」
- 指導時間 1時間
- 準備物 写真パネル／広島市の地図／アジアの地図／日米開戦の新聞記事
- 学習の展開

学習活動	留意点
<p>(1) 当時の広島市の地図から気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none">・軍隊の施設が多い。 第五師団陸軍歩兵第十一連隊 西練兵場 東練兵場 陸軍兵器支廠 陸軍被服支廠 陸軍糧秣支廠 陸軍船舶練習部 軍港宇品港・広島城を中心に広い面積を占めている。・広島駅と宇品港が鉄道でつながっている。	<ul style="list-style-type: none">・当時の広島市の地図を見て<u>軍用地</u>が広い面積を占めていることや軍事施設・補給施設が多いことに気付かせ、広島が陸軍の重要な拠点であり、戦争でうるおい、軍事都市として発展したことを知る。・歩兵第十一連隊は地元広島出身の兵士を中心に組織されていた。・1984年の日清戦争開戦までに山陽本線を東京から広島まで開通させ、広島駅から宇品港までの鉄道を整備した。
<p>(2) 当時の新聞記事から日本がイギリス・アメリカなどの国々と新たに戦争を始めたことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none">・1941年12月8日、イギリス領マレー、アメリカ・ハワイ真珠湾を攻撃した。・歩兵第十一連隊の碑・殉難華僑追悼碑の写真から歩兵第十一連隊の虐殺行為を知る。	<ul style="list-style-type: none">・当時の地図で戦線の拡大の様子をつかませる。・当時交戦中だった中国への支援を絶つため、マレー半島では多くの中国系住民をゲリラとみなして虐殺をした。イロンロン村では一晩で1474人の村人を虐殺したという。・戦争は人間を人間でなくしてしまう事例である。
<p>(3) なぜ日中戦争から太平洋戦争へと戦争を拡大していったのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none">・アメリカやイギリスの支援を受け、中国の抵抗が続いていた。・東南アジアに資源やエネルギーを求めた。・当時東南アジアはアメリカ・イギリス・フランス・オランダの植民地だった。・日本はドイツ・イタリアと軍事同盟を結んだ。ドイツはイギリス・フランスと戦争をしていた。	<ul style="list-style-type: none">・日本軍は「各民族の植民地からの解放と独立」をスローガンにしていたが、本当のねらいは東南アジアの豊富な天然資源（石油など）と中国への補給路を断つことであった。・軍部は連合軍を相手に無謀な戦いをつき進めていくことになる。
<p>(4) 軍都広島の果たした役割を考える。</p>	<ul style="list-style-type: none">・多くの兵士・兵器・食糧・物資が宇品港から中国戦線、南方戦線へと送り出されていった（広島は、軍隊と、侵略戦争の拡大の中で発展し、戦争に加担した）。※資料1・多くの日本兵とアジアの民衆が犠牲となった。

7. 発展学習例

○軍都廣島の戦跡をたどるフィールドワークをしよう

- ・陸軍歩兵第十一連隊跡（RCC 南側）
- ・大本営跡（広島城内）
- ・中国軍管区司令部地下防空作戦室跡（広島城内）
- ・比治山陸軍墓地
- ・陸軍兵器支廠跡（廣大医学部内）
- ・陸軍被服支廠跡
- ・陸軍糧秣支廠跡（広島市郷土資料館）
- ・陸軍船舶練習部跡（マツダ工場内）
- ・軍港宇品港跡
- ・似島陸軍検疫所跡（似島学園，少年自然の家，似島小・中学校）

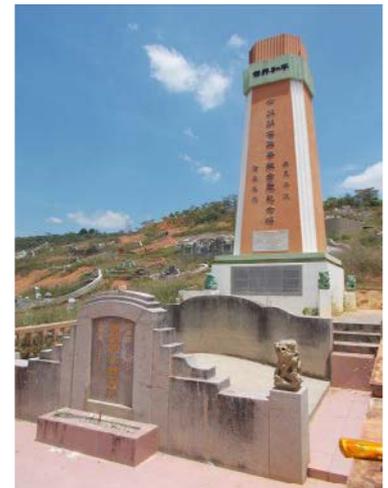
マレーシア ネグリセンピラン州イロンロン村（ティティ）にある殉難華僑追悼碑（下の写真）

イロンロン村では1474人が犠牲となり，毎年，追悼式が行われている。

8. 資料

〈資料1〉広島市の賃金の変動（広島県統計書より）単位：円

職種		1893年	1894年	1895年	1896年	1897年
農作年雇	(年給)男	18,000	18,000	19,200	20,000	36,000
	女	4,800	4,800	4,800	8,500	18,000
農作日雇	(日給)男	180	250	260	300	350
	女	65	80	100	200	250
大工	(日給)	200	450	400	500	500
船大工	(日給)	220	450	650	500	600
日雇人夫	(日給)	100	200	200	350	400
鋳物職	(日給)	220	400	350	400	600



〈資料2〉

○第五師団は4つの連隊からなる中国地方西部の郷土部隊

- ・陸軍歩兵第十一連隊（広島編成）
- ・陸軍歩兵第十二連隊（浜田編成）
- ・陸軍歩兵第四一連隊（福山編成）
- ・陸軍歩兵第四二連隊（山口編成）



陸軍歩兵第十一連隊の碑（広島城外）

〈資料3〉

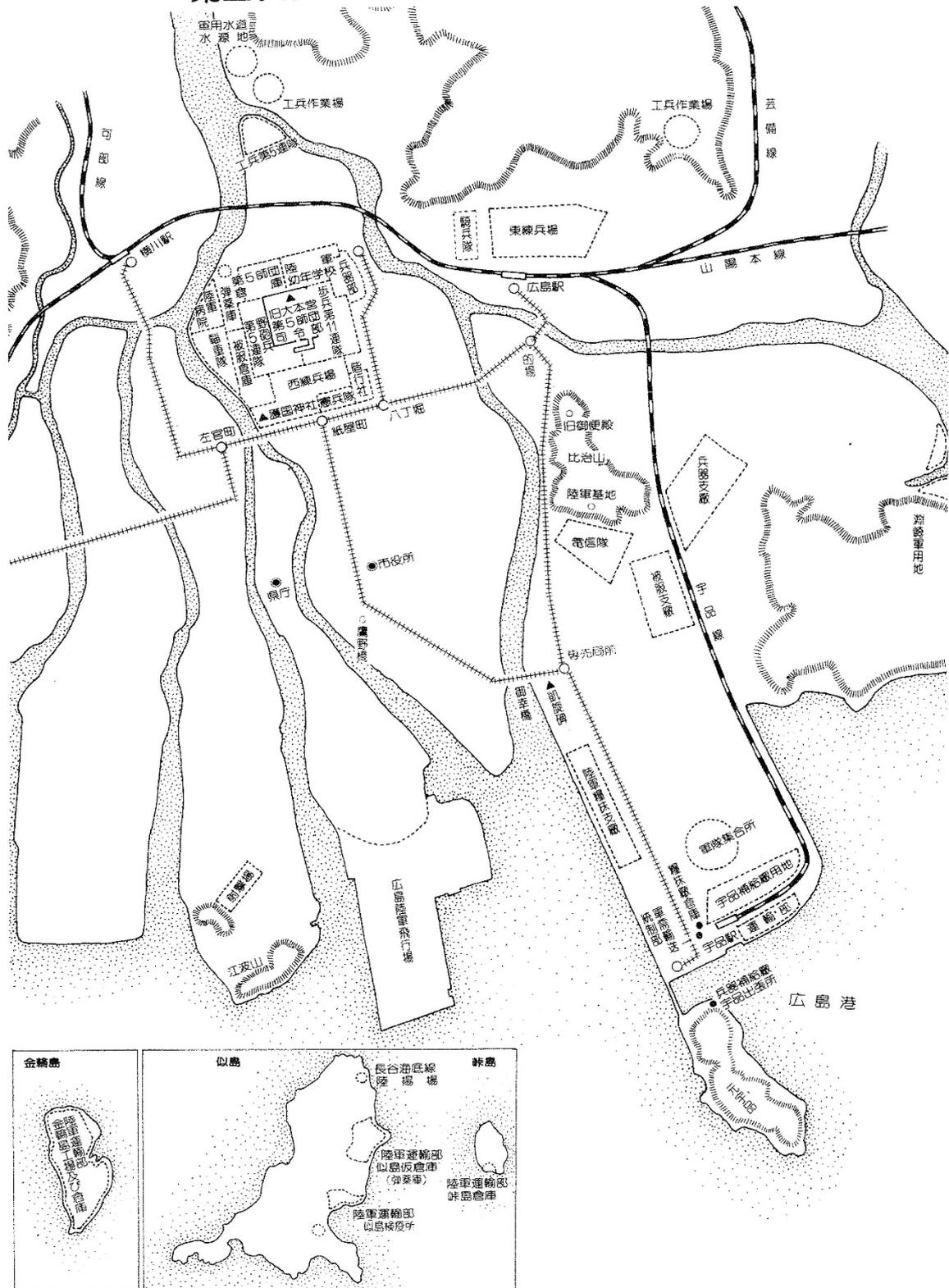
○陸軍歩兵第十一連隊の碑文は1994年に改刻され、

昭和十六年十二月八日，太平洋戦争勃発，マレー作戦に参加し，のち南太平洋諸島を転戦中，同二十年八月十五日終戦となる。（中略）この間（中略）各々克く健闘した。 歩十一会

と書かれている。しかし，ここに記されていない歴史がある。1942年シンガポール占領後，日本軍はマレー半島各地で，ゲリラではない一般住民を多数虐殺したのである。陸軍歩兵第十一連隊(第七中隊)がマレーシア・ネグリセンピラン州で華僑虐殺を行ったことについては，公式記録である「陣中日誌」に記載され，虐殺があった場所・日付と「陣中日誌」に記載された十一連隊の行動とほぼ一致することが確認されている。マレー半島各地で数十～数百人規模の虐殺が行われ，廃村になった村もある。マレー半島各地に30余の犠牲者の追悼碑や墓が残され，追悼式が行われている。

○軍都広島（陸軍歩兵第十一連隊を中心とした地図）

第二次世界大戦時広島市軍用施設配置図



(副読本ひろしま「十五年戦争と広島 試案」広島平和教育研究所作成)

9. 参考

〈参考資料1〉 小学校6年社会科指導計画

中単元「アジア・太平洋に広がる戦争」（6年社会・日本のあゆみ）

※本単元は教科書（日本文教出版）では8時間扱いであるが、11時間程度で扱いたい。

小単元		学習のねらい	時間数	視覚に訴える資料
	導入	手塚治虫の戦争体験を手がかりに、当時の日本の様子に関心をもち、学習課題をつかむとともに、学習計画をたてることができる。	1	手塚治虫「ぼくの描いた戦争・紙の砦」（KK ベストセラーズ）／「戦争漫画傑作選」（祥伝社）／DVD「ぼくは孫悟空」（パイオニアLCD）など
戦争への道	柳条湖事件（満州事変）と「満州国」	1930年当時の様子から、日本が戦争への道を歩んでいった経緯と理由をとらえることができる。	1	講談社DVDブック「昭和ニッポン1926～1945」（講談社）など
	日中戦争	日中戦争が起こった理由や経緯と、多くの中国人に被害を与えたことをとらえることができる。	1	絵本「たみちゃんの長い夜」（広島平和教育研究所）
	太平洋戦争（本時）	戦争が日中戦争から太平洋戦争へ拡大し、軍都広島が大きな役割を果たしたことをとらえることができる。	1	DVD NHK スペシャル「ドキュメント太平洋戦争」／太平洋戦争開戦当時の新聞／当時の広島市・アジアの地図など
	戦線の拡大と強制連行強制労働	占領地においてアジア・太平洋地域の人々に大きな被害を与えたことをとらえることができる。	1	絵本「パーパをかえして」（広島平和教育研究所）／DVD「鬼太郎が見た玉砕～水木しげるの戦争～」（ポニーキャニオン）
戦争と人々の暮らし	戦時中の暮らし	資料や戦争体験者の話から、戦争中の国民の変化や、戦争が国民の生活に大きな影響を与えたことを理解することができる。	1	「復刻版戦争実物資料・平和への伝言」（あけび書房）など（絶版だがネット通販などで購入できる）
	戦争をささえたもの	資料や戦争体験者の話から、戦争遂行のための教育や国家総動員体制を理解することができる。	1	「復刻戦争と平和の実物資料」（桐書房）／「ほんとうの近現代史シリーズ」（モノ企画）など（絶版）
	激しい空襲	アメリカ軍の空襲によって国内の人々も大きな被害にあったことを理解することができる。	1	DVD「火垂るの墓」（ワーナーホームビデオ）／「この世界の片隅で」（バンダイ）／絵本「うしろの正面だあれ」（金の星社）など
	沖縄戦	沖縄戦では兵士だけでなく多くの住民が犠牲になったことを理解することができる。	1	岩波 DVD ブック「オキナワ」（岩波書店）／「さとうきび畑の唄」（ビクターエンタテインメント）など
	原爆投下	広島・長崎の原爆投下による被害の実相をとらえ、投下目的について考えることができる。	1	DVD「はだしのゲン」（ジェネオンエンタテインメント）／岩波 DVD ブック「ヒロシマ・ナガサキ」（岩波書店）など
	敗戦	原爆投下やソ連の参戦を調べることから、日本が降伏した経緯を理解するとともに、戦争をふり返り、自分の考えをもつことができる。	1	岩波 DVD ブック「平和ミュージアム」（岩波書店）など

〈参考資料2〉軍都広島 of 歴史

明治初期、明治政府は日本国内の治安維持のために国内に鎮台(ちんたい) ※1 を4か所設け、1871年に鎮西(ちんせい)鎮台(熊本)の第一分営が広島に置かれました。1873年、第一分営は第五鎮台となり、国内の乱にたびたび出動しました。1875年、広島に広島県出身の兵士を中心とした陸軍歩兵第十一連隊を置きました。1886年に第五鎮台は対外的な戦争に備え、軍備を強化して第五師団と改称され、広島城内外に軍事施設が次々と作られました。

1889年、宇品港(広島港)が築港され、大型船が利用できる軍港としての機能を持ちました。そして、同年鉄道東海道線・山陽線が岡山まで延伸されました。

1894年6月10日、山陽鉄道が広島まで開通し、陸軍の第一(東京)・第二(仙台)・第三(名古屋)・第四(大阪)・第五(広島)各師団が1本の鉄道で結ばれることとなり、全国の兵士が短期間で広島に集結することが可能となりました。同年8月1日、日本は清国に宣戦布告し、兵士の大量輸送を目的に8月4日～20日の短期間で広島駅から宇品港までの軍用鉄道宇品線を仮設しました。9月15日には明治天皇が広島に来て、広島城内に大本営が置かれました。さらに臨時帝国議会も広島城内で開かれ、文字通り広島は日本の臨時の首都のようになり、日清戦争の拠点となりました。

その後、陸軍糧秣支廠、陸軍兵器支廠、陸軍被服支廠などの軍需物資格納拠点が開設され、広島は陸軍の兵站基地として確固たる地位を築いていきました。広島 of 街は、軍隊の集積地、補給基地となることにより軍都として発展していったのです。

海外に派兵した兵士が疫病にかかり帰還することを防ぐため、1895年宇品港の沖にある似島に臨時陸軍検疫所を設置しました。検疫所は大きな成果をあげるとともに、原爆投下後は約1万人以上の被爆者が避難する場となりました。

なお、兵士が出征する際、宇品港周辺には小・中学生までもが立ち並び、「日の丸」の小旗を振り、大歓声を挙げて見送りました。勇んで兵士を送り出すこの見送り風景はその後、全国の出征モデルとなりました。

1931年の柳条湖事件(満州事変)から1945年の敗戦に至る15年間にわたる戦争でも広島は軍都として大きな役割を果たし、宇品港から全国の兵士が次々に戦線へ送り出されました。陸軍は日清戦争前に6個師団7万～12万人だったのが、日中戦争時には24個師団28万～48万人の大部隊となりました。

1941年12月8日、太平洋戦争開戦時には真珠湾攻撃より1時間早くマレー半島に陸軍歩兵第十一連隊が所属する第五師団が上陸し、シンガポールに向けて進撃を行ないました。その後、陸軍歩兵第十一連隊はマレーシアのネグリセンビラン州 ※2 やマラッカ州で多くの中国系住民を虐殺しました。

1944年8月、江田島の幸の浦を拠点としてつくられた陸軍海上挺進戦隊では、陸軍船舶練習部第十教育隊が船舶特攻隊の隊員の教育・練習を行いました。鯛尾(安芸郡坂町)には特攻船舶(◎:マルレ)の製造・改造を目的とした基地がありました。練習を積んだ船舶特攻隊はフィリピンや台湾に出撃していきました。原爆投下時、陸軍海上挺進戦隊には約2,000人の少年特攻幹部候補生がいたといわれ、その若者たちが、原爆投下後、広島市・似島の救援や救護にあたりました。

明治政府は西欧列強に強い危機感を抱き、1870年に海軍をつくりました。そして、1886年の海軍条例により日本全国に5つの海軍区を定め、各区の軍港に鎮守府 ※3 を置くこととしました。海軍の拠点として横須賀(第一海軍区)・呉(第二海軍区)・佐世保(第三海軍区)・舞鶴(第四海軍区)の4か所に鎮守府を置きました。呉海軍鎮守府は1890年に開庁し、その管轄下に海軍工廠が置かれました。呉海軍工廠では造船・造機・造兵・製鋼・艦装・検査・実験部などの部署に分かれ最新の技術が導入され、戦艦・空母・潜水艦・航空機などの開発や製造が進められ、「東洋一の兵器工場」と言われるほどでした。

一方、海軍将校を養成するための機関である海軍兵学校が1878年東京から江田島に移転しました。

第一次世界大戦で毒ガスによって多くの犠牲者を出したことから、1925年ジュネーブ会議において毒ガスの戦争使用を禁止した「毒ガス等の禁止に関する議定書」が作成されました。しかし、日本は調印したものの批准はしませんでした。日本軍は極秘に毒ガス兵器開発を進め、1928年、大久野島に陸軍第二造兵廠忠海兵器製造所を造りました。翌年から「イペリット」「ルイサイト」「くしゃみ性ガス」などの毒ガスが製造され、中国戦線で使用 ※4 されました。戦時中にはこの島は地図から消されていました。

※1 鎮台…国内の治安維持のために設けた日本陸軍の部隊。

※2 ネグリセンビラン州の事実については、日本陸軍の歩兵第十一連隊第七中隊の陣中日誌によって確認された。

※3 鎮守府…日本海軍の拠点として艦隊の後方を統括する機関。

※4 日本陸軍の毒ガス戦部隊の戦闘詳報によって確認された。

〈参考図書〉

- ・『広島の前・戦後史に見る平和教育思想』（空辰男著 広島平和教育研究所 2001年）
- ・『加害基地宇品 新しい平和学習』（空辰男著 汐文社 1994年）
- ・「呉・江田島・広島戦争遺跡ガイドマップ」（奥本剛著 光文社 2009年）
- ・『呉の戦災』（呉戦災展実行委員会編 1995年）
- ・『地図から消された島』（武田映子著 ドメス出版 1987年）
- ・『隠されてきた「ヒロシマ」』（辰巳知司著 日本評論社 1993年）
- ・『軍都広島』（清水章宏著 一粒の麦社 2011年）



大本宮跡（広島城内）



陸軍歩兵第十一連隊門柱（広島城外）



陸軍被服支廠跡

(3) 深めよう戦争と原爆の学習

③ 戦争の加害と被害

アジア・太平洋に広がる戦争の中で～日本とアジアの国々

1. ねらい

15年戦争（1931年満州事変から1945年敗戦までを指す）における日本の被害の実相、加害の実相を知り、戦争は最大の人権侵害であり、悲しみ苦しみを生み出さないことを認識し、戦争への怒りをもたせるとともに、平和を築いていく力を育てる。

2. 対象 小学校6年生

3. 教科・領域／単元 社会科・歴史分野／「アジア・太平洋に広がる戦争」～まとめ

4. 指導時間 1時間

5. 準備物 アジアの地図／15年戦争時の写真／証言／各国の戦争による死者数

6. 学習の展開

学習活動	留意点
<p>(1)15年戦争時の各国の写真を見て、どこの国での出来事か考え、確認していく。</p> <p>(2)各国の戦争による死亡者の数を知り、写真と結びつけながら、15年戦争の日本の加害と被害の実相をとらえていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各国の戦争による死者数 ・各国の戦争時の写真 ・証言（日本・朝鮮・中国・シンガポール） <p>(3)「戦争」について考えたことを交流する。</p>	<p>○日本、朝鮮、台湾、中国、東南アジアの国々の15年戦争時の写真をアジアの地図に貼っていくことで、15年戦争を地理的・時間的流れで振り返らせるようにしていく。</p> <p>○戦争による各国の死者数を書いたカードを地図に貼っていき、15年戦争の犠牲の大きさをつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本 約310万人 ・朝鮮 約20万人以上 ・台湾 約3万人 ・中国 約1000万人 ・東南アジア 約890万人 （ベトナム、フィリピン、インドネシア、マレーシア、シンガポール、インドなど） <p>※15年戦争時の各国の戦争による死者数には諸説があり、確定的なものではない。上記の数字は教科書（東京書籍・日本文教出版）の記述による。</p> <p><日本の加害> ※数字は8.の資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮侵略、皇民化政策 ①・②・④（朝鮮、ジャワ、マレー半島）、 ・中国への無差別爆撃②（上海、重慶）、略奪②（中国等） ・飢餓に苦しむ子ども①（ベトナム）、 ・強制連行②（中国、朝鮮） ・強制労働①・②（日本で、台湾で、ビルマで）、 ・血債の塔③・④（シンガポール） <p><日本の被害></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一空襲⑦（東京）、沖縄戦⑥（沖縄）、原爆⑤（広島長崎） <p><日本の加害と被害></p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵士⑥・⑧―戦死、戦病死、餓死 <p>○戦争の中で日本がしたこと、されたことを、視覚的に明確にとらえられるようにするために、地図に貼った写真を日本の加害と被害で色分けをして囲む。</p> <p>○各国の人々の証言を読み、どこにおいても戦争は悲惨で残酷なことを引き起こしたことをとらえさせる。</p>

<p>(4)学習を振り返り，未来への展望をもつ。</p>	<p>○様々な考えを自由に出させながら，各国の写真や死者数から，加害・被害の枠を超えて，「戦争」そのものの残酷性，犯罪性，非人間性にせまれるようにしていく。</p> <p>○これからめざしていきたい世界，平和を築くために自分に何ができるか，という視点でふり返りを書かせ，交流させる。</p>
------------------------------	---

7. 発展学習例

- 小単元「15年戦争」のまとめとして，新聞を作る。
- 戦争に関わる地域教材を掘り起こし，学んだことを，文章や絵や歌や劇などの形で表現し伝えたり広げたりしていく。

8. 参考図書

- ① 『写真集 子どもたちの昭和史』（子どもたちの昭和史編集委員会編 大月書店 1984年）
- ② 『写真記録 日本の侵略：中国朝鮮』（解説：黒羽清隆・梶村秀樹 ほるぷ出版 1992年）
- ③ 『観光コースでないマレーシア・シンガポール』（陸培春著 高文研 1997年）
- ④ 『日本軍のマレーシア住民虐殺』（戦争犠牲者を心に刻む会編 東方出版 1989年）
- ⑤ 『たった一発の爆弾でヒロシマ20万人，ナガサキ10万人が死んだ』（労働教育センター 2004年）
- ⑥ 「記録写真集 沖縄戦ー太平洋戦最後の死闘90日」（那覇出版社 1982年）
- ⑦ 『写真版「東京大空襲の記録」』（早乙女勝元著 新潮文庫 19087年）
- ⑧ NHKスペシャル「ドキュメント太平洋戦争 第2集 敵を知らず己を知らず」（1993年1月10日放送／NHK戦争証言アーカイブス）

(3) 地域の戦争を見つめよう

① 地域の戦争について調べてみよう

戦争のきずあとについて調べてみよう

1. ねらい

- ① 身近な地域の歴史の学習をとおして、地域に残る戦争のきずあとについて関心をもつことができる。
- ② アジア太平洋戦争の末期、空襲による被災があったことを知り、戦争の悲惨さを感じ取ることができる。

2. 対象 小学校高学年～中学生

3. 教科・領域／単元 総合的な学習の時間

4. 指導時間 2時間程度

5. 準備物 福山空襲のパンフレット／クイズ（パワーポイント）／プロジェクター／スクリーン／折り紙／「福山が燃えた日」（プリント／DVD）

6. 学習の展開

〈第1時〉

学習活動	留意点
<p>(1)地域（福山）の歴史について知ろう（学年全体）。 <input type="checkbox"/> 福山の史跡や名所，特産についてクイズ形式で紹介する。 ・福山城，鞆の浦，琴，ばら，くわい など <input type="checkbox"/> 福山にも戦争があったことを知っているか。 ・福山空襲，母子三人像 など</p> <p>(2)福山空襲についてもっとくわしく知ろう（各クラス）。 ① 絵本『母と子の八月八日』を読み聞かせる。 ② 福山空襲のパンフレット（福山市人権平和資料館）で被災状況を知る。 <input type="checkbox"/> パンフレットの地図を見て，学校の場所，自分が住んでいるところ，被災した地域を確認する。 <input type="checkbox"/> 福山空襲の被災状況を確認する。 ・市街地の80%が焼け野原 ・犠牲者 355 人 ・被災者 47,326 人 ・焼失家屋 10,179 戸 <input type="checkbox"/> 空襲で被災した跡を確認する。 ・福山城被災石，安部和助別邸跡，土橋，光善寺・英霊堂，大念寺（石仏） など</p> <p>(3)「市民平和の集い」（8月8日）に向け，全員で千羽鶴を折る。</p> <p>(4)夏休みに行くフィールドワークに向け，グループ分けをする。 A：人権平和資料館，福山城など（福山空襲） B：県立歴史博物館（草戸千軒町遺跡） C：文学館／美術館 D：エフピコ</p>	<p><input type="checkbox"/> クイズと福山空襲の概要がわかるパワーポイントを作成しておく。 <input type="checkbox"/> 1945年8月8日，米軍のB-29爆撃機による空襲で福山城や市街地の80%が焼失し，福山城天守閣は戦後復元された。 <input type="checkbox"/> 米軍による本土空襲の概要を説明する。（本書P.38を参照） <input type="checkbox"/> 全員にパンフレットを配布する。 <input type="checkbox"/> 福山城天守閣にも焼夷弾が命中し消失した。 <input type="checkbox"/> 焼夷弾について補足説明する。（本書P.38を参照） <input type="checkbox"/> 投下目標は，軍需工場（三菱電機福山製作所，日本化薬製造福山染料工場），陸軍歩兵第四十一連隊など。 <input type="checkbox"/> 事前に指導者は現地調査（学習）をしておく。 <input type="checkbox"/> 「市民平和の集い」にクラス代表が千羽鶴を持参し，捧げる。 <input type="checkbox"/> フィールドワークは，地域学習として午前中に企業訪問（エフピコほか），午後に施設見学（県立歴史博物館ほか）を行う。 <input type="checkbox"/> グループは学年・学級規模に応じて調整する。 <input type="checkbox"/> 各グループの調べ学習は次時に行う。</p>

〈第2時〉

学習活動	留意点
<p>(1) 福山空襲のグループは、福山城周辺のフィールドワークに向け、さらに詳しく学習する。</p> <p>① DVD「福山が燃えた日」(30分)を鑑賞する。</p> <p>② 副読本「大好き！福山～ふるさと学習～」(下巻)や「福山が燃えた日」(福山市人権平和資料館)で学習を深める。</p> <p>(2) フィールドワークで訪れる場所について調べ、一人が1か所は説明できるように資料(説明用カード)を作成する。</p> <p>・福山城被災石、安部和助別邸跡、土橋、光善寺・英霊堂、大念寺(石仏) など</p>	<p>○各自副読本(下巻)を準備しておく。</p> <p>○冊子「福山が燃えた日」の増し刷りをし、全員に配布する。</p> <p>○誰がどこを説明するか分担する。</p> <p>○フィールドワーク当日、分担場所の説明ができるようにしておく。</p>

※空襲の体験者から聞き取りをおこなってもよい(問い合わせ先:福山市人権平和資料館)。

※小学校社会科では、3年生の地域学習、5年生の「いろいろな土地」、6年生の歴史学習の中で地域の戦争のきずあとについて扱うこともできる。

※SDGs(持続可能な開発目標)の一つである「平和と公正をすべての人に」を視点に戦争のきずあと(福山空襲)を教材化してもよい。

7. 発展学習例(中学校:総合的な学習の時間)

- ① 地域学習としてフィールドワークを行う(夏休み中、福山空襲のグループ)。
- ・福山市人権平和資料館(展示見学, 館長さんの話)
 - ・福山城被災石, 安部和助別邸跡, 土橋, 光善寺・英霊堂, 大念寺(石仏) など
- ※光善寺, 大念寺を訪れる際には事前の連絡が必要。
- ② 文化祭で地域学習のまとめとして発表する。
- ・グループ毎に壁新聞(模造紙)を作成し, 展示する。
 - ・地域学習(福山空襲など)のまとめとして劇化して舞台発表を行う。

8. 参考

○福山市人権平和資料館

〒720-0061 福山市丸之内一丁目1番1号

TEL. 084-924-6789/FAX. 084-924-6850

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/jinkenheiwa/>

※資料館では, 各種パネルやDVD「福山が燃えた日」を貸し出ししている(事前の申請が必要)。

パネル…「福山空襲」「福山空襲遺跡」「知られざる海軍航空隊」「福山の戦争遺跡Part I・II」「福山空襲の実相と戦時下の暮らし」ほか

※HPから「私の戦争体験証言集～戦争の記憶を繋ぐ～」(PDF)をダウンロードできる。

※フィールドワークの案内が必要な場合は, 資料館に問い合わせをして下さい。

【施設の利用案内】

- ・開館時間 午前9時半～午後5時(入館は午後4時半まで)
 - ・休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)／年末年始／臨時休館日
 - ・入館料 個人:100円, 20名以上の団体:80円
- ※高校生まで無料

○地域に残る戦争のきずあと

身近な地域には様々な戦争のきずあとの歴史があります。その歴史を掘り起こし、教材化することで戦争のもつ非人間性や残虐性を子どもたちに感じ取らせることができ、平和の大切さを考えることができます。

福山市や福山市以外には戦争のきずあとの歴史があり、その中から子どもたちに伝えたいこと、考えさせたいことを選択し、教材化していくことが大切です。そのためには、まず私たち自身が地域を知るところから始まります。博物館（資料館）や図書館を訪れ、資料を収集したり、体験者や郷土史家などから話を聞いたりして教材化を進めましょう。

〔福山市〕

- (1) 空襲被災に関わること
- (2) 原子爆弾に関わること
- (3) 陸軍歩兵第四十一連隊、福山海軍航空隊（特攻隊）、燃料廠などに関わること
- (4) 満州開拓団（新市町金丸の金丸天神社にある記念碑）に関わること
- (5) 学童疎開（大阪市福島区から4,250人の児童が沼隈、深安、芦品などへ）に関わること
- (6) 戦争に関わる遺跡や石碑など（凱旋記念碑、忠魂碑、奉安殿、防空壕など）
- (7) 外国人労働（小田川水系の山野発電所）

〔福山市以外〕

- (1) 空襲被災（呉、大竹、因島）に関わること
※呉空襲については、本書P.37～38を参照。
- (2) 原子爆弾に関わること
※本書P.39～40を参照。
- (3) 旧軍事施設跡（広島：大本営、陸軍歩兵第十一連隊／呉：海軍基地／倉橋島：特攻基地・施設など）に関わること
※旧海軍鎮守府の地下壕（呉市）が2017年公開された。
- (4) 旧軍需工場跡（広島：陸軍被服支廠・糧秣支廠・兵器支廠など／呉：海軍工廠など）に関わること
※戦艦大和建造ドック（呉市）
- (5) 大久野島毒ガス工場（竹原市）に関すること
※本書P.41～46を参照。
- (6) 学童疎開に関わること
※本書P.19～22を参照。
- (7) 戦争に関わる遺跡や石碑など（征清記念碑、凱旋記念碑、忠魂碑、奉安殿、防空壕など）
- (8) 外国人労働・強制連行（太田川水系のダム・発電所／庄原市高野町の高暮ダム／呉市の地下壕／金輪島の地下司令部壕／尾道市向島町の捕虜収容所跡など）
※太田川水系のダム・発電所については、本書P.47～49を参照。

9. 参考図書

- ・絵本『母と子の八月八日～福山空襲と母子三人像～』（制作委員会 代表：多田三千男 2009年）
- ・福山空襲パンフレット（福山市人権平和資料館）
- ・冊子「福山が燃えた日」（福山市人権平和資料館 2016年）
- ・DVD「福山が燃えた日」（福山市人権平和資料館 2016年）
- ・冊子「人権と平和を求めて～遺跡は語る、命の尊さ～」(福山市人権平和資料館 2008年)
- ・副読本「大好き！福山～ふるさと学習～（下巻）」（編集：大好き！福山 ふるさと学習副読本検討委員会 発行：福山市教育委員会 2018年改定）
- ・『福山空襲の記録』（福山空襲を記録する会 1982年）

(4) 地域の戦争を見つめよう
 ② 空襲について調べてみよう

空襲について調べてみよう

1. ねらい
空襲は、非戦闘員に対する無差別攻撃であることを理解することができる。
2. 対象 小学校高学年
3. 教科・領域／単元 社会科／総合的な学習の時間
4. 指導時間 2時間
5. 準備物 資料が映せるような機器／白地図／ワークシート／写真
6. 学習の展開

学習活動	留意点
(1)空襲を知る。 ・ピカソのゲルニカ (2)呉（地域）の空襲を調べよう。 ・呉空襲の慰霊碑 ・呉空襲の被害 ・証言を聞こう。 (3)空襲の爆弾を知る。 ・爆弾と焼夷弾 (4)広島県の空襲を知る。 ・広島県 11 回 (5)日本への空襲を知る。 ・第二次世界大戦の空襲を受けた市町と被害者 (6)世界の空襲を知る。 ・第一次世界大戦から増える。 ・ドイツのゲルニカ空襲（1937 年） ・日本の重慶爆撃（1938～43 年） ・アメリカのドイツ空襲（1945 年 2 月 5 日） (7)振り返り	○ピカソのゲルニカの絵から空襲を知る。 ・呉市の空襲慰霊碑（写真と地図：広海軍工廠工員の空襲犠牲者，工僚神社，船津神社：呉海軍工廠の空襲犠牲者，殉国の塔，鍋山第一公園：呉市街地の空襲犠牲者，寺西公園，和庄公園） ○呉が空襲された理由を考える。 呉が海軍の町であり（呉市平和絵本）そのために空襲目標になり，軍事施設と市街地が空襲を受けた。 ○呉空襲の死者などをワークシートに記入しながら DVD「この世界の片隅に」（呉空襲場面と，空襲後の街並みなど）を見る。 ○「ヤフー・アーカイブス空襲－未来へ残す戦争の記憶－地図から見る空襲」『海軍拠点市民も標的に 広島呉・空襲』で呉空襲について知る。 ○通常の爆弾・焼夷弾の違いについて知らせる。 ・自分の住んでいる市町の空襲関係の地図 ・広島県の地図 ・アメリカ軍がマリアナ諸島を占領し，飛行場をつくり日本を空襲した。 ・アメリカ軍は3期に分けて日本を空襲した。 ・日本地図で各地の空襲の場所（教科書） ・市民は逃げるできない。 ・防空法「焼夷弾は簡単に消せる」 ・空からの爆撃は第一次世界大戦から増えた。 ○世界地図でゲルニカ・重慶・ドレスデンを示す。

7. 参考資料(留意点)

○空襲の歴史について

- 1903年 ライト兄弟が飛行する。
- 1911年 イタリアがリビアに、1913年フランスがモロッコを空襲する。
- 1914年 第一次世界大戦で空襲が多くなる。
- 1937年 ドイツがゲルニカ空襲(100～2,000人死亡)
- 1938年～ 日本が重慶空襲(23,000人死亡)
- 1940年7月 ドイツがイギリス本土空襲(46,000人死亡)
- 1943年7月 アメリカ・イギリスがドイツ空襲(220,000人死亡)
- 1944年11月～ アメリカが日本空襲(600,000人死亡)

○空襲で使用された爆弾の種類について

- ・爆弾は、爆風や破片により対象物を破壊する。
- ・焼夷弾は、対象物を火災にさせる爆弾である。アメリカは、日本の家屋を再現し、日本用の焼夷弾を開発する。焼夷弾は集束爆弾(一発の爆弾が38発の焼夷弾に分かれる)で、飛行機から投下後、分離して瓦を突き抜け、天井に引っ掛かり燃える。そのため家屋が焼失し、大火災になる。

○日本への空襲について

- 1944年4月、アメリカが日本の空襲目標を決める。1944年7月アメリカ軍がマリアナ諸島を占領し、飛行場をつくりB-29を配備する。
- ・空襲を受けた市町は200か所以上、アメリカ戦略爆撃調査団の調査では25万人が死亡。
- ・第1期(1944年11月～1945年3月上旬) …昼間、高高度からの軍事施設爆撃
- ・第2期(1945年3月10日～5月中旬) 夜間、低高度からの市街地への焼夷弾攻撃
- ・第3期(1945年5月下旬から終戦まで) …大都市住宅地への焼夷弾攻撃

○焼夷弾攻撃への日本の対応

1941年11月、日本は「防空法」を制定し、退去禁止し、消火義務を定めた。そのため、逃げずに現場に留まり亡くなった人も多い。陸軍省の佐藤軍務課長は、「空襲の実害は大したものではない。それよりも、狼狽混乱、さらに戦争継続意思の破綻となるのが最も恐ろしい」と、1941年11月20日衆議院防空法改正委員会で発言している。火事の延焼を防ぐため、建物疎開が行われるようになり、広島原爆では建物疎開中の中学生が多数死傷した。

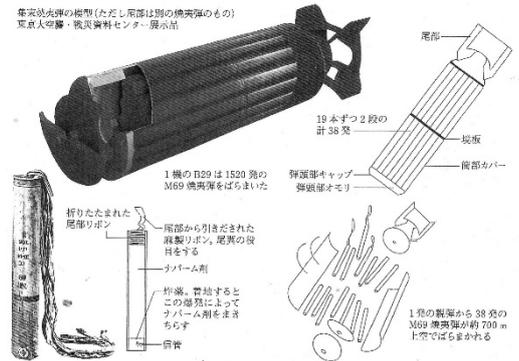
○自分の市町への空襲について

- ・「ヤフー・アーカイブス空襲 未来へ残す戦争の記憶空襲の記録」を利用し、自分の県の空襲を図で示す。
- ・昭和21年11月9日、広島警察部調査「広島県下における空襲被害状況」には死者が出た回数:13回。

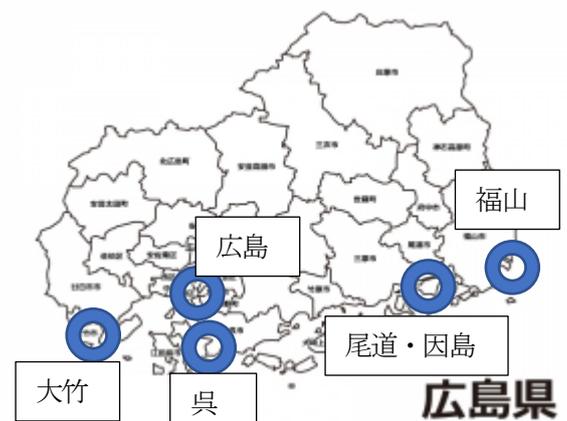
8. 参考図書&Web サイト

- ・映画(ビデオ)「赤い月の街」(呉戦災を記録する会 HP)
- ・「呉戦災あれから60年」(呉戦災を記録する会 2005年)
- ・『呉空襲記』(中国新聞社 1979年改訂)
- ・『母と子でみる3・日本の空襲』(草の根出版会 1986年)
- ・「平和教育研究紀要 VOL.37」(広島平和教育研究所 2009年) / 「平和研究報告」 <http://www.hipe.jp/>
- ・『東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える』(東京大空襲・戦災資料センター編 岩波書店 2009年)
- ・DVD「この世界の片隅に」(バンダイビジュアル 2017年)
- ・HP: 呉戦災を記録する会 (<http://kure-sensai.net/>)
- ・HP: 福山市人権平和資料館 (<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/jinkenheiwa/>)
- ・HP: 広島平和教育研究所 (<http://www.hipe.jp/>)
- ・HP: 東京大空襲・戦災資料センター (www.tokyo-sensai.net/)

焼夷弾図解



「東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える」(岩波書店 2009年) / 東京大空襲・戦災資料センター



(4) 地域の戦争を見つめよう

③ 原爆について調べよう

原爆について調べよう

1. ねらい

広島への原子爆弾投下による被爆の実相や被爆者や人々の願いを具体的に知るとともに、平和な世界を築こうとする態度を養う。

2. 対象 小学校高学年～中学生

3. 教科・領域／単元 社会科歴史／総合的な学習の時間

4. 指導時間 全6時間

5. 準備物 写真（原爆ドーム関連、佐々木禎子^{かじ}、楮山ヒロ子、折り鶴）

6. 学習の展開

	学習活動	留意点
導 入	<p>(1)この建物はなぜ「三つの名前」を持つようになったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 広島県産業奨励館／原爆ドーム／広島平和記念碑～1996年原爆ドーム世界遺産登録時の名称～ ※名称の違いについて知る。 <p>(2)この二人の少女は、誰だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐々木禎子：2歳で被爆，12歳の時に白血病で亡くなる。「原爆の子の像」のモデル。 楮山ヒロ子：1歳で被爆，16歳の時に白血病で亡くなる。日記に産業奨励館のことを記す。 (日記：「…あの痛々しい産業奨励館だけがいつまでも、おそるべき原爆のことを後世に訴えかけてくれるだろう…」) ☆二人が周りの人々に与えた影響を考える。 <p>(3)誰が折った「折り鶴」だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 佐々木禎子とオバマ前米大統領の思いを想像させる。 二つの折り鶴から二人の共通の願いを考える。 	<p>○「広島県産業奨励館」時代の写真，現在の原爆ドーム，「広島平和記念碑」の碑文（世界遺産原爆ドーム「人類史上最初の原子爆弾による被害の惨禍を伝える歴史の証人としてまた核兵器廃絶・恒久平和を求める誓いのシンボルとして、『世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）』に基づき世界遺産一覧表に登録された」1996（平成8）年12月7日広島市」の写真から想像させる。</p> <p>○「佐々木禎子」と「原爆の子の像」の写真から想像させる。</p> <p>○「楮山ヒロ子」と「原爆ドーム」の写真から想像させる。</p> <p>○光村図書小学校6年国語「平和のとりでを築く（大牟田稔）」，東京書籍中学校歴史「身近な地域の歴史を調べる」でとり上げられた楮山ヒロ子についての記述を紹介する。</p> <p>○二人の死が，同級生らによる「原爆の子の像」建立や，原爆ドーム保存運動につながったことに気づかせる。</p> <p>○佐々木禎子が病床で折った折り鶴の写真とオバマ前米大統領が2016年，現役大統領として初めて広島を訪問した際に持参した折り鶴の写真から想像させる。</p>
	<p>平和公園に行って，原子爆弾（核兵器）による被害・影響を調べよう。</p>	
	<p>(4)原子爆弾について調べるテーマを決める。</p>	<p>○平和公園や原爆資料館のガイドブックを参照する。</p> <p>○グループごとにテーマをしぼる。</p>

展 開	<p>(1)原爆資料館を見学する。 原子爆弾による被害，なぜ投下されたか，折り鶴，核兵器の現状など</p> <p>(2)被爆者から被爆証言を聞く。</p> <p>(3)公園内・爆心地・原爆ドームを見学する。 (例) 慰霊碑→旧天神町北組跡→被爆アオギリ→峠三吉碑→原爆の子の像→レストハウス等→爆心地→原爆ドーム</p>	<p>○被爆の実相の全体像をつかむと共に個別の資料から具体的な被害（熱線，爆風，放射線）を理解させる。</p> <p>○被爆者の方の思いに寄り添って聞くようにさせる。</p> <p>○焦点を絞ってグループごとに園内の見学をするようにする。</p> <p>○「原爆の子」の意味を考えさせる。</p> <p>○原爆ドーム保存運動のきっかけとなった楮山ヒロ子の日記を想起させる。</p>
ま と め	<p>○テーマごとに新聞等にまとめ交流する。 原子爆弾の被害の実相・被爆証言・2種類の折り鶴から・原爆ドームと保存運動・核兵器の現状と人々の願いなど</p>	<p>○伝える対象（同級生・下級生・保護者・地域等）を想定し，自分の考えも加えて新聞等にまとめるようにする。</p>

7. 発展学習例

○調べてみよう

- ・長崎への原爆投下
- ・世界の核被害（核実験場・ウラン採掘場・原子力発電事故等）
※マーシャル諸島における米国の核実験によるヒバクシャなど
- ・高校生平和大使／高校生一万人署名活動
- ・2017年ノーベル平和賞のICANの活動等

8. 資料

- ・「平和公園めぐり」「学習ハンドブック」（広島平和記念資料館）
- ・「高校生新聞」（中国新聞 2017年6月）
- ・「オバマ大統領プラハ演説」（2009年4月5日）

9. 参考図書

- ・『禎子の千羽鶴』（文：佐々木雅弘 絵：くまおり純 学研 2013年）
- ・『折り鶴の子どもたち』（文：那須正幹作・絵：高田三郎 PHP研究所 1984年）
- ・『高校生平和大使』（テキスト：高比良由紀 コミック：西川操 長崎新聞社 2007年）
- ・『原爆詩集』（峠三吉著 岩波書店 2016年）
- ・「爆心にあびる（野村英三）」（国立広島・長崎原爆死没者追悼平和祈念館 平和情報ネットワーク 1950年）

(4) 地域の戦争を見つめよう

④ 大久野島について調べてみよう

地図から消された島（小学校高学年版）

1. ねらい
戦争中地図から消された島があったことから戦争の実相を知り、平和について考える。
2. 対象 4年生以上
3. 教科・領域／単元 社会科／総合的な学習の時間
4. 指導時間 1時間
5. 準備物 地図（消されているもの・消されていないもの）／毒ガス資料館パンフレット（一人1枚）
6. 学習の展開

活動内容	留意点
<p>(1) 2枚の地図を見て、考えてみよう。</p> <p>① 2枚の地図の違いを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消されていた時代は日中戦争から太平洋戦争 <p>② 地図から消された部分には何があったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久野島に軍事機密兵器工場があったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・『地図にない島へ』の裏表紙の地図を拡大コピーしておく。<u>（地形図の入手方法は、P.45の10.参考を参照のこと）</u>
<p>(2) パンフレット「大久野島 毒ガス資料館」を読んで、大久野島で何が行われていたのかを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを配る
<p>(3) 各自で黙読し、気づいた事を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毒ガス製造という過酷な労働で体を壊した。 ・恐ろしい毒ガスの種類を色で呼んでいた。 ・防毒服を着ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○防毒服は粗末なもので隙間から毒ガスはしみ込んできて体を蝕んだことを伝える。
<p>(4) 造られた毒ガスは中国大陸の戦場で使われ、敗戦時大量に戦場で未使用の毒ガスは中国大陸に遺棄された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本が毒ガスを使用したという事は、1984年まで、日本ではほとんど知られていませんでした。化学戦の実態は慎重に秘匿され、旧軍関係者以外の日本人は殆ど事実を知りませんでした」 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事
<p>(5) 自分は加害者であったのだと気づいた元毒ガス製造者はどのような行動をし、どのような願いをもったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験者の証言に学ぶ。 	<p>HP：大久野島から平和と環境を考える会</p>
<p>(6) 資料館がつくられたわけを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毒ガス製造にかかわらされた人たち自らが声をあげて要望してお金を出し合っ てつくった資料館 ・「この歴史を忘れないために 二度と再び繰り返さないためにいつまでも平和であり続けるために」 ・遺跡も大切に守られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○造られた毒ガスはどうなったのだろうか。 →次の学習につなげる。
<p>(7) まとめ</p> <p>兎が自由に暮らしているレジャーの島ということでよく知られているが、実は戦争によって環境や命が奪われた悲しい歴史をもつ島であり、だからこそ平和の大切さを訴えている。</p>	

7. 発展学習例 大久野島フィールドワークをしよう（HP：大久野島から平和と環境を考える会）
現在の毒ガス問題を調べよう（遺棄毒ガス処理や遺棄毒ガスで被害を受けた方への謝罪や補償）
8. 参考図書 『地図にない島へ』（武田英子 文 吉本宗 絵 農山漁村文化協会 1990年）
「資料館パンフレット」（竹原市作成）
環境省「昭和48年の『旧軍毒ガス等の全国調査』のフォローアップ調査」（内閣府「遺棄化学兵器処理担当室」 2004年） ※その他参考図書は、P.42の8を参照のこと。

地図から消された島（中学生版）

1. ねらい

大久野島でつくられた毒ガスは、どのようにつくられ使われ遺棄されたのかを学び、戦後 74 年経った今もなお被害を与え続けていることを知る。

2. 対象 中学生

3. 教科・領域／単元 社会科／総合的な学習の時間

4. 指導時間 1時間

5. 準備物 地図2枚（消されているもの・消されていないもの）：コピーしたもの

6. 学習の展開

活動内容	留意点
<p>(1) 毒ガスは何のためにどこでどのようにつくられたのだろうか調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際条約で使用が禁止されている毒ガス兵器は主に大久野島でつくられた。軍事機密兵器工場でのことは国民住民に知らせなかった。 大久野島に働かされた人々は過酷な毒ガス製造のために自らの健康も奪われ戦後も後遺症で苦しんでいる。 	<p>☆資料 「平和教育教材集おおくのしま」</p>
<p>(2) 造られた毒ガスはどこに運ばれどのように使われたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に中国大陸に運ばれた。 国際条約を破って日本軍はこっそりと実戦で使った。 無防備な人々をたくさん殺傷した。 	<p>○これまで学習してきたことを想起させる。毒ガスは国際条約で使用が禁止されてきた歴史を説明する。</p>
<p>(3) 日本軍は敗戦時、残っていた毒ガスをどのように処理しどのような被害を与えたのか調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 証拠隠滅を謀るため遺棄した。遺棄毒ガスは中国の人々を今も傷つけ命を奪っている。 国内に残っていた毒ガスは連合軍の指導の下に処理されたが、いずれもずさんなものである。 	<p>☆資料 「平和教育教材集おおくのしま」P. 29～P. 32</p>
<p>(4) 自分は加害者であったのだと気づいた元毒ガス製造者はどのような行動をし、どのような願いをしているのだろうか。</p> <p>○体験者の証言に学ぶ。</p>	<p>☆資料 「平和教育教材集おおくのしま」P. 42, P. 43</p>
<p>(5) まとめと次時の学習の予告</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦争は被害・加害の両面からとらえなければならない。 1997 年化学兵器禁止条約が発効し、日本は中国で遺棄毒ガス弾の処理をしている。しかし、被害者への謝罪や補償は進んでいない。 大久野島で毒ガスを造らされた人々や遺棄毒ガスで被害を受けた人々の苦しみや願いを、私たちはどう受け止めていくのか考える。 	<p>HP：大久野島から平和と環境を考える会</p>

7. 発展学習例

- 現在の毒ガス問題を調べてみよう（遺棄毒ガスの処理や遺棄毒ガスで被害を受けた方への謝罪や補償）

8. 参考図書

- 『地図から消された島－大久野島毒ガス工場』（武田英子著 ドメス出版 1987 年）
- 『ひとりひとりの大久野島－毒ガス工場からの証言』（行武正刀編著 ドメス出版 2012 年）
- 「平和教育教材集『おおくのしま』竹原支区（入手先：広島県教職員組合竹原支区／広島県教育用品 2013 年）
- 「遺棄毒ガス問題」－検証と証言－（出版：毒ガス島歴史研究所 1998 年）
- 『ほくは毒ガス村で生まれた』（化学兵器 CARE みらい基金編著 吉見義明監修 合同出版 2008 年）
- 『日本軍 毒ガス作戦の村』（石切山英彰著 高文研 2003 年）
- 『日本の中国侵略と毒ガス兵器』（歩平著 明石書店 1995 年）

9. 資料

〈資料1〉大久野島で製造された毒ガスの種類

毒ガスの名	陸軍呼称	性質	症状
イペリット	きい1号	びらん性ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・褐色の液体 ・芥子の臭いがする（マスタードガス）。 ・身体に付くと水膨れができて化膿する。 ・ガスを吸うと呼吸器を冒す。
ルイサイト	きい2号	びらん性ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・微黄色の液体 ・悪臭がある。 ・皮膚に付くと疼くような痛みがある。 ・死の露と呼ばれた。
青酸ガス	ちゃ1号	致死性ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・微褐色の液体 ・吸い込むと肺に作用し、機能を麻痺させ、窒息させる。 ・体内のヘモグロビンやミトコンドリアと結合し、細胞内呼吸を阻害する。
ジフェニール・シアンアルシン	あか1号	くしゃみ性ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・淡緑色の結晶性物質 ・アーモンドの臭いがする。 ・鼻、喉、目の粘膜を強く刺激、呼吸困難となる。 ・吸い込むと、激しい肺障害を受ける。
塩化アセトフェノン	みどり1号	催涙ガス	<ul style="list-style-type: none"> ・薄黄褐色結晶性物質 ・目を刺激し、傷め、涙が激しく出る。 ・皮膚に付くと疼くような痛みを感じる。

〈資料2〉大久野島と毒ガス

戦時中、大久野島では1929年に毒ガス工場が開設され、1944年まで毒ガスの製造が続けられました。製造された毒ガスは、びらん性のイペリットとルイサイト、くしゃみ性のジフェニール・シアンアルシン、青酸ガスなどで、総生産量は約6,600トンです。1931年（※1）から1938年の間、大久野島は地図から消され、極秘のうちに毒ガスが大量生産されました。1938年は、中国大陸で大規模な毒ガス戦が開始された年でした。1940年には、従業員も増やされ増産されました。大久野島で製造された毒ガスは、おもに北九州の小倉にある工場で砲弾などに詰められ、中国大陸に送られました。

※1：1933年からという説もある。

〈資料3〉毒ガスの歴史

毒ガス兵器が最初に登場したのは第一次世界大戦です。ドイツ軍は1915年、ベルギーのイープルで塩素ガスを使用し、5,000人の死者を出しました。のちフランス・イギリスも毒ガスでの報復を開始し、さらにドイツはイペリットを開発して使用しました。第一次世界大戦では108万人が死亡したとされています。

1925年に毒ガスの使用を禁止した条約「毒ガス等の禁止に関する議定書」が作られました。日本やアメリカ・イギリスは調印はしましたが、批准はしませんでした。開発・製造を禁止した条約ではなかったため、各国の毒ガスの開発・製造は止まることはありませんでした。やがてナチスドイツは、毒性の強い神経ガスのタブンやサリンを開発しました。

一方、日本（陸軍）は広島県竹原市沖の大久野島でイペリットなどの毒ガスを製造し、日中戦争などで大量に使用しました。

1980年代になると、イラクの毒ガス使用（イランイラク戦争）が問題になりました。日本では、1995年3月、東京の地下鉄において、毒ガスのサリンが地下鉄の車内にまかれ、12名の死者が出るという事件が起こりました。この事件をきっかけに毒ガスの恐怖を実感すると同時に、毒ガスが過去の兵器ではないことを強く印象づけました。

〈資料4〉中国侵略と毒ガス戦

日本が最初に毒ガスを使用したのは、1930年、台湾の先住民の日本の植民地支配に対する抵抗（霧社事件）を鎮圧する際だといわれています。

その後日本は、日中戦争（1937年～1945年）で中国側のゲリラ戦に困った日本軍は、こうした動きを鎮圧するため

に毒ガス兵器を使用しました。1942年、河北省の北垣^{ペイタン}村では、日本軍は住民が逃げ込んだ地下道にくしゃみ性の毒ガスを放ちました。地下道には女性や子ども、老人など数千人が避難していました。

この時のようすを李徳祥さん（当時20歳）は、次のように証言しています。

「1942年5月27日、日本軍は抗日軍の拠点のあった北垣村を攻撃しました。住民が逃げ込んだ地下道に毒ガスを投げ入れ、約800人の村人を虐殺しました。日本軍は長さ30センチほどの筒を地下道に投げ入れました。毒ガスの煙が地下道の中に充満し、目やのど、鼻の痛みに耐えられず外へ飛び出しました。一人の日本兵に引きずり上げられましたが、少し日本語ができたので、『私はいい農民だ。日本軍か抗日軍に殺されるのが怖くて逃げてきた』と必死で訴えたので逃がしてくれました。さらに日本軍は、地下道から出てきた生存者に死体を運び出せと命令し、言うことを聞かなかったら殺しました。日本軍が撤退したあと、村に戻った私は、地下道内に無数の死体を見つけました。父も母も、祖父も妹も、家族はみんな死にました。忘れようにも忘れられません。」

中国の研究者によると、日本軍が使ったのはくしゃみ性ガスの「あか1号」（ジフェニール・シアンアルシン）で、毒性は他の毒ガスより低いですが、空気の流れの悪い地下道の中に多量に投入したため、悲劇を生んだとしています。

李さんは1956年、日本軍を指揮した軍人を裁いた特別軍事法廷の証言台に立ち、日本軍の加害行為を証言しました。北垣村を襲撃した日本軍の指揮官は李さんの証言をすべて認めました。

毒ガス使用による中国側の被害者（※2）は、国民政府側発表では、極東国際軍事裁判に提出した証拠資料で1937年から1944年までに死傷者36,968人（うち死者2,086人）、一方、中国人民解放軍化学防禦指揮工程学院の紀学仁教授の推計では中国軍民の「中毒」者は94,000人以上（うち死者は1万人以上）としている。

※2『毒ガス戦と日本軍』（吉見義明著 岩波書店 2004年）より

〈資料5〉遺棄毒ガス弾の被害

2003年8月4日、中国東北部のチチハル市で遺棄毒ガスによる事故が発生しました。市内の団地の駐車場を建設中、5つのドラム缶が掘り出されました。ショベルカーのショベルの歯がドラム缶に刺さると、中から液体が流れ出し、カラシのような刺激のあるにおいが立ちこめました。この建設現場でショベルカーの助手をしていた丁樹文^{ていじゅぶん}さんは、掘り出された5本のドラム缶を売ることになりました。ドラム缶を廃品回収業者のところに運びこむために、仲間といっしょに手押し車に積み込みました。このとき、丁さんたちの手や足に毒ガス液がかかってしまいました。

廃品回収業の李貴珍^{りきちん}さんは、丁さんからドラム缶を買い取り、素手でドラム缶を自分の車に積み込もうとしたとき、手に毒ガス液がつきました。丁さんはドラム缶を他の廃品回収業者の店に持ち込み、切断して鉄くずにしました。数時間後、体中に症状が出はじめ、治療の効がなく17日目の8月21日に亡くなりました。

丁さんは、昼ごろになると、目の痛みや、皮膚に赤い発疹がいくつも出て、時間とともに痛みがひどくなり、やがて大きな水疱になりました。あまりの痛さに病院に行くと、感染を防ぐために大きな水疱をハサミで切り開いて、たまった水を出しました。「ものすごい痛さで、死んだ方がいいと思ったぐらいです」と丁さんは当時のことをこう話しています。

その後、体力が異常に落ち、仕事ができなくなりました。収入がなくなったうえ、治療費の負担がずっしりとのしかかり、途方に暮れてしまいました。

（『ぼくは毒ガス村で生まれた』化学兵器 CARE みらい基金編著 吉見義明監修 合同出版 2008年）

〈資料6〉化学兵器の廃絶をめざして

1997年、化学兵器の生産・保有・移転を禁止する「化学兵器禁止条約」（130か国が調印）が発効し、化学兵器の全廃に向けて第一歩がスタートしました（2018年6月21日現在の締約国は193か国）。アメリカやロシアなどが保有している化学兵器を一定期間内（原則として10年以内）に全廃することを定めています。これを受けて、日本が日中戦争中に中国に遺棄した大量の毒ガス弾も処理することになりました。現在も日本政府は処理を続けています。

化学兵器禁止機関（OPCW、本部オランダ・ハーグ）は、2019年9月、旧日本軍が第二次世界大戦終結前後、中国に遺棄した致死性のイペリットなど毒ガスを使った化学兵器について、中国国内90か所以上から約76,000発が発見され、このうち5月末までに53,500発以上が破壊されたと発表しています（2019年9月10日、共同通信社）。

〈資料7〉毒ガス工場で働いていた元看護師さんの話

イペリットなどによる水疱の治療は特にたいへんで大人でも泣きました。治療は2、3人がかりで行いましたが、従業員のお客さんといっしょに泣きたくなるほどでした。患部に風があたると痛いので、すばやく治療します。皮がとれて肉が乾くまでは痛みがひどく、患者さんはどんな薬をつけても苦しみました。毒ガスをつくる工室に入っていて水疱

にならずに無傷だった人はおそらくいないでしょう。

毒ガスを製造していた場所では、潜水服のような防毒服に、防毒マスクをつけていました。それでもガスを吸い込んで、気管支炎を起こして血を吐く人もいました。

『ぼくは毒ガス村で生まれた』化学兵器 CARE みらい基金編著 吉見義明監修 合同出版 2008年

毒ガス製造に携わった人たちは、仕事を辞めても気管支系（気管支炎など）の病気で苦しむ人が多くいました。亡くなられた人の多くは呼吸器疾患の病気です。呼吸器の粘膜に悪い障害が起こっているため、風邪をひいてだんだん悪くなる方もおられました。

10. 参考（地形図の入手方法）

実物の1/50000地形図を入手して、新旧地図（地形図）で比較することもできます。

現行地形図は、大きな書店や通販で入手できます（下記参照）。戦前の地形図（旧版地図）は国土地理院で交付申請すると、入手できます。大久野島がある地形図は、「三津」と「土生」の2枚です。

〈現行地形図〉 「三津」・「土生」は各382円（税込み）です。

- 書店…ジュンク堂書店（広島店）、フタバ図書（MEGA 祇園中筋店、アルティ福山本店）、MARUZEN（広島店）他
- 通販…日本地図センター（<https://www.jmc.or.jp/index.html>）

〈旧版地形図〉 「三津」・「土生」（測量年1932年、発行年月日1938年4月30日の旧版地図を入手する）

国土地理院の「旧版地図の謄抄本交付申請」をすれば郵送してもらえます（郵送の場合は謄本申請）。謄本交付には「謄本交付申請書」「交付用別紙」（サイトからダウンロード）・手数料相当額の収入印紙（郵便局で購入）・返送料相当の切手が必要です。交付手数料は1枚500円（白黒、縦判）、切手代1枚120円（四つ折返送）です。詳しくは、国土地理院の「旧版地図の謄抄本交付申請」（<https://www.gsi.go.jp/MAP/HISTORY/koufu.html>）のページを参考にして下さい。



毒ガス貯蔵庫跡



発電場跡（毒ガス工場に電力を供給）

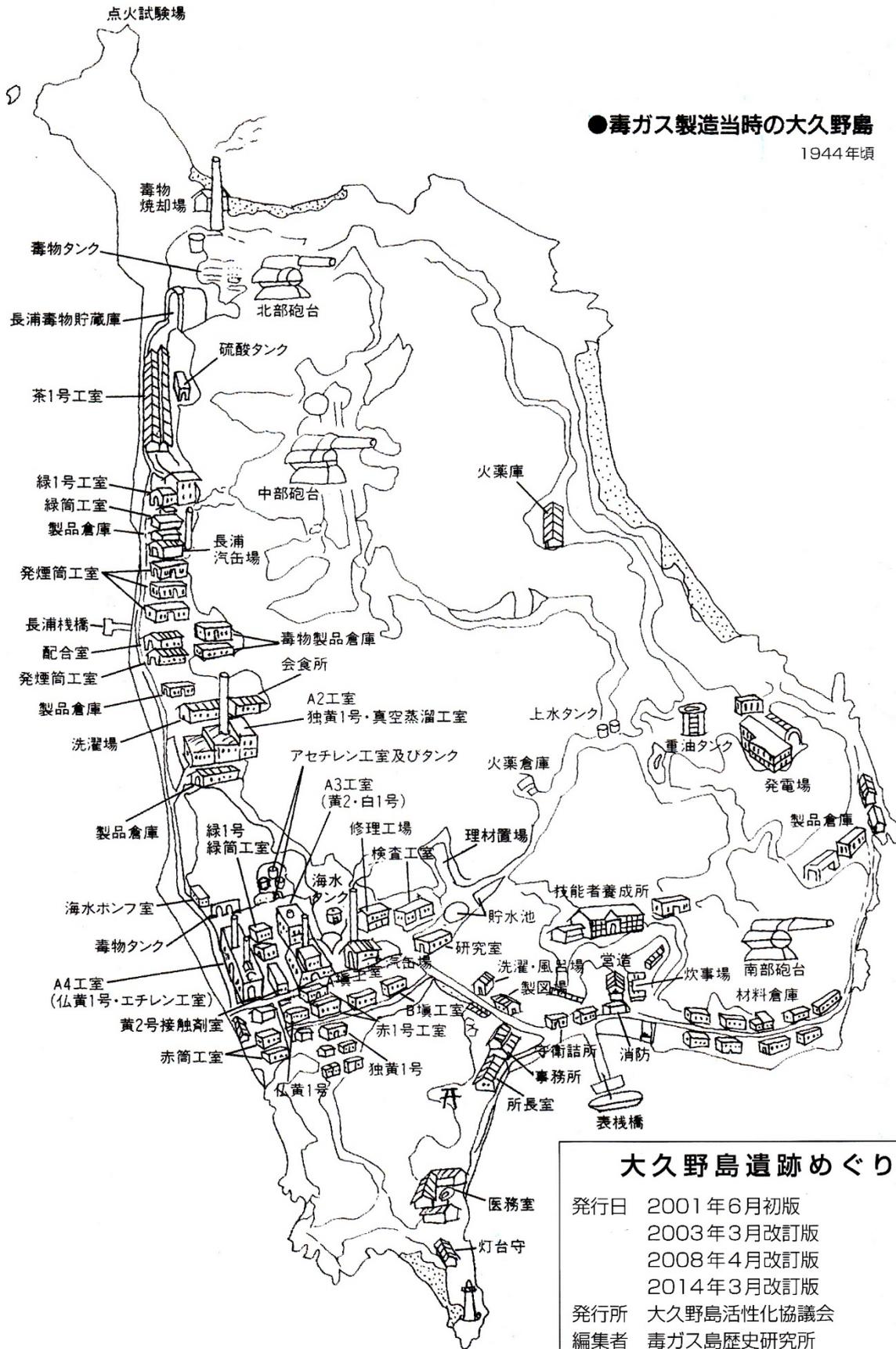
○大久野島毒ガス資料館

大久野島毒ガス資料館は、1988（昭和63）年に建設されました。

毒ガス製造に関連した当時の資料が展示されており、毒ガス製造の悲惨さを訴えるものとなっています。平和学習の場として多くの方が訪れています。

- | | |
|-------|--|
| ・所在地 | 広島県竹原市忠海町5491番地 |
| ・電話番号 | 0846-26-3036（FAX兼用） |
| ・アクセス | 広島空港から忠海港まで車で約45分／山陽自動車道河内ICから車で約40分／JR呉線忠海駅から徒歩約5分／忠海港から船で約15分。大三島から船で約20分。 |
| ・開館時間 | 午前9時～午後4時30分（入館は4時まで）
※そのほか、臨時に開館時間に変更になることがあります。 |
| ・休館日 | 年末年始（12月29日～1月3日）
※そのほか、臨時に休館することがあります。 |

○毒ガス製造当時の大久野島 (1944年頃)



●毒ガス製造当時の大久野島

1944年頃

大久野島遺跡めぐり

発行日 2001年6月初版
 2003年3月改訂版
 2008年4月改訂版
 2014年3月改訂版
 発行所 大久野島活性化協議会
 編集者 毒ガス島歴史研究所
 おおくのしま戦争遺跡の保存を進める会

(村上初一さんの本より)

(4) 地域の戦争を見つめよう
 ⑤ 強制連行について調べてみよう

水力発電と強制連行

1. ねらい
 戦前の太田川上流の水力発電工事の歴史を通して、戦争中の強制労働の実態を知り、命の大切さ、平和の尊さを
 実感し、平和な社会を築こうとする意欲や態度を育てる。
2. 対象 小学校6年生（または中学生）
3. 社会科 「アジア・太平洋に広がる戦争」～戦争と人々の暮らし～
 コラム（または学習資料） 朝鮮や中国との戦争
4. 指導時間 1～2時間
5. 準備物 電気の使われ方（図・写真）／水力発電の仕組み（簡単な説明図）／地図（太田川上流のダムや発電所）
 ／年表（戦前・戦中の発電所工事）／証言／写真（安野発電所）
6. 学習の展開

学習活動	留意点
(1) 電気はどのようにしてつくられているか、また、 家庭以外では主にどこに送られているか。 ・火力、原子力、水力、太陽光など。 ・工場、スーパー、病院など。 (2) 戦時中は家庭以外に主にどこに送られていたか。 また、戦時中の主な電力源は何かを予想する。 ・軍需工場（広島、呉など） ・水力発電 (3) 水力発電の仕組みを知る。 ・県内（地域）の水力発電施設 ・水力発電のしくみ (4) 戦前・戦中に行われた水力発電所はいつどこでつ くられたのかを調べる。 (5) 侵略の中で行われた朝鮮人・中国人への強制連行 （強制労働）により工事は行われたことを知る。 (6) 工事をしていた当時の方の証言などから過酷な労 働であったことや差別の実態を考える。 (7) 学習の感想を書く。	○戦前と戦後の発電工事について説明する。 ○電力が国家管理統制になっていくことをおさえ る。 ○軍需により発電工事が激増したことを知る。 ○侵略戦争の中で行われた水力発電工事の歴史をつ かむようにさせる。 ○水力発電のしくみについて絵や写真を見て知る。 ○地図（イラストマップ「安野～中国人強制連行の 歴史を歩く」）で太田川上流の加計町一帯には多く のダムや発電所があることをつかむ。 ○年表により、戦前・戦中の発電所工事期と戦争の 歴史との関連をつかむ。 ○建設機械も少なく過酷な労働である。 ○日本は侵略戦争により、アジア各地の土地を奪う だけでなく、労働力を搾取するために強制連行を 行っていた（戦争が長期化する中で多くの日本の 若者が犠牲となり、労働力不足を補う必要から強 制連行が行われた）。 ○強制労働と強制連行の視点を明らかにする。 ○安野発電所への強制連行（強制労働）を例に当時 の過酷な労働のようすをつかむ（資料1. 2）。

<p>(8)まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今も残されている在日朝鮮人・韓国人差別は、日本がアジア各地を侵略する中で日本人によりつくりだされ、強化されたものである。 ・差別をなくし、豊かな人間性をとりもどすために、差別の構造を見抜き、差別を許さないことが大切である。 	
---	--

7. 関連

- ・安野発電所工事と同時期に、庄原市高野町の高暮ダム建設で強制連行された朝鮮人が働かされていました。

8. 資料

〈資料1〉安野発電所への中国人強制連行

太田川の上流、広島県山県郡加計町にある中国電力安野発電所は、軍都広島が戦争をおし進めるために必要な電力をまかなうために建設されました。発電所建設を受けもったのは西松組（現在の西松建設）です。

西松組は1944年4月、中国人を働かせることを厚生省に申請し、許可されました。西松組は社員を中国に送り込み、山東省済南市につくられた収容所「新華院」から300人、青島で60人を加え、合わせて360人の中国人を青島港から貨物船に乗せて日本に連行しました。中国人が逃げないように、日本軍が見張りしました。

安野に到着した中国人は4か所の収容所に分けられ、取水口（土居）から放水口（坪野）まで長さ約8kmの導水トンネル掘りなどの作業をさせられました。粗末で少ない食べ物で厳しい労働を強いられ、多くの中国人がけがをし、病気にかかり、29人が死亡しました。

〈資料2〉安野での労働と生活

証言① 収容所

安野の木製の大宿舎は、実際のところ監獄そのものでした。あんな大きな建物に扉が1つしかなく、扉の両側は警察が見張る看守所になっていました。食堂もこの中にあり、労働者が寝起きする場所と便所は続いていて、夏になると、部屋中が臭くてたまりませんでした。死体があるまま寝床に放置されたままのこともあって、空気を吸うことさえ苦しく、蚊やダニに咬まれるにまかせていました。仕事がどんなにきつく体が疲れていても、なかなか寝つけるものではありませんでした。

証言② 労働・けが・病気

乏しい食糧で過酷な労働を強いられ、多くの中国人が病気やケガに倒れました。食糧に関する生存者の証言は、「質の悪いものが少ししか支給されず、いつも飢えていた」というものばかりです。

『外務省報告書』によっても、負傷者112人、罹病者269人、死亡者は29人（船中死亡3人、原爆死5人、殴打致死2人を含む）にのぼっています。病気やケガで働けなくなった13人は、治療を受けることなく1945年3月、一足先に中国へ送り帰されました。1年にわたって強制労働に従事させられ、日本の敗戦によって解放された317人は1945年11月、集団で帰国しました。

証言③ 食料

山を切り開いた私たちに何を食べさせたかという、こんな小さな碗に入るとんぐりの粉で作ったマントウが、1回に1個でした。ほんとうは一口に入ってしまう大きさですが、惜しくて少しずつ7口に分けてかじりました。1日に21口かじったら、1日の食事は終わりでした。すぐに終わってしまうので、おかゆにしてみたいにマントウを水でふやかして、初めは水を飲んで、最後にふくらんだマントウを食べました。

証言④ 服装

服は中国から着て行った単衣の服しかなく、冬は寒いので、セメント袋を首と手の部分をくりぬいて着ました。セメント袋は洗うと柔らかくなるので、着たり上にかけてたりしました。冬はあんなに寒かったのに、よく生きていられたと思います。

（資料1, 2は、イラストマップ「安野～中国人強制連行の歴史を歩く」から引用）

9. 参考資料

〈参考資料1〉戦前の日本の電気事業

1932～1937年に発電力は約190万kW増加したが、戦時経済に対応したより一層の生産力拡充のため、発電力の急増と低電力料金政策が要請されるに及んで、1938年4月には電力管理法が公布され、1939年4月、電力会社の発電・送電設備の現物出資による日本発送電が発足し、電力国家管理へと移行した。太平洋戦争に伴う戦時経済統制の一典型といえる。

1939年に民間電力会社や公営電気事業から設備提供を受けて日本発送電会社が発足し、電力国家管理が正式にスタート。3年後の1942年には配電統合も行われて、発送電は日本発送電が、配電は全国9つの配電会社がそれぞれ担当する、電力国家管理のシステムが完成した。戦時下の電力国家管理は、資材、資金、労働力等の不足によって電源開発は阻害され、火力発電設備は石炭不足、炭質低下等によってその効率的な運営を妨げられた。

〈参考資料2〉広島県の発電工事と強制連行

戦前期、広島県では芸備線などの鉄道工事や太田川などの発電工事の現場、軍施設建設などの現場で多数の朝鮮人が動員されている。広島県の朝鮮人人口をみると、1916年には56人であったものが、1930年には7,800人ほどとなっている。このなかには発電工事へと動員された人々も多くいる。

さらに1930年代から1940年代にかけて、軍需生産の拠点である広島と呉へと電力を供給するために電源開発工事が進められ、そこに多くの朝鮮人が動員された。また、呉の海軍工廠や三菱や日本製鋼などの軍需工場にも朝鮮人が大量に強制連行された。それにより1940年には朝鮮人数は38,000人を超え、1944年には82,000人へと倍増している。

太田川水系での発電工事では、1912年から運転を始めた亀山発電工事での朝鮮人の就労が確認されている。1920年代には間野平発電所、1930年代には加計発電所、下山発電所、土居発電所、打梨発電所などが発電を始めたが、これらの発電所工事は広島電気によるもので、西本組、西松組、間組、森本組、鹿島組などが建設を請け負っている。1928年から始まった加計発電所の工事では1,500人の朝鮮人が働いていたと報道されている。

戦時下には日本発送電による発電工事が進められ、1944年には吉ヶ瀬発電所、1946年には安野発電所が完成している。これらの工事を西松組が請け負い、隧道の掘削やダム建設などの工事現場には数多くの朝鮮人が動員されたが、朝鮮半島からの強制連行も行われ、安野発電工事では中国人も強制連行されている。

（「広島発電工事」<http://www.pacohama.sakura.ne.jp/kyosei/1206hiroshima.html> より）

◆侵略戦争期の中国人強制連行◆

1938年の「国家総動員法」で根こそぎ動員しても不足する労働力確保のため、日本政府と企業は朝鮮人、中国人の強制連行を行った。中国人強制連行は企業の執拗な働きかけにより1942年、中国人の「移入」が閣議決定された。1944年から本格的な「移入」が始まり、約4万人の中国人が全国135カ所の事業場に連行され、鉱山、港湾荷役、飛行場や発電所やダム建設などの危険な重労働に従事させられた。虐待や過酷な強制労働のため、約7千人が生きて祖国に帰ることができなかった。

10. 参考

〈安野発電所関係〉

- ・イラストマップ「安野～中国人強制連行の歴史を歩く」（発行：広島平和教育研究所／販売：広島県教育用品株式会社、1997年）
- ・書籍『中国人被爆者・癒えない痛苦』（強制連行された中国人被爆者との交流をすすめる会 明石書店 1995年）
- ・HP「広島安野・中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会～安野発電所への中国人強制連行」
→<http://keishousurukai.s2.weblife.me/>
- ・HP「安野発電所でいったい何が起こったの？真実はどこに」
→<http://www.asyura2.com/0406/war57/msg/473.html>
- ・DVD「50年目の叫び～広島・安野への中国人強制連行の真相」（広島安野・中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会 1997年）→[問い合わせ先 \(ykwahr@pony.ocn.ne.jp\)](mailto:ykwahr@pony.ocn.ne.jp)

〈高暮ダム関係〉

- ・書籍『朝鮮人強制連行調査の記録 中国編』（柏書房、2001年）
- ・HP「広島発電工事」（<http://www.pacohama.sakura.ne.jp/kyosei/1206hiroshima.html>）

〈水力発電のしくみ〉

- ・HP「水力発電（中国電力）」（<http://www.energia.co.jp/energy/general/water/water.html>）

(4) 現代の課題に迫ってみよう

① 第五福竜丸と原水爆禁止運動

ゴジラは怒る！

1. ねらい

- ① ビキニ水爆実験による第五福竜丸の被災をきっかけに原水爆禁止運動が高まったことを理解する。
- ② 久保山愛吉さんや佐々木禎子さんと原水爆禁止運動との関わりを知り、二人の思いを考える。

2. 対象 小学校高学年～中学校

- 3. 教科・領域／単元 「新しい日本へのあゆみ」(小学校社会科6年下)
「平和と民主化の動き」(中学校社会科歴史的分野)

4. 指導時間 1時間

- 5. 準備物 映画「ゴジラ」のポスターの絵／第五福竜丸の被災の新聞記事／第五福竜丸の写真／地図／佐々木禎子さんの写真(※1)／「原爆を許すまじ」のCD(※2)／CDデッキ／原爆の子の像の写真

6. 学習の展開

学習活動	留意点
<p>(1)映画「ゴジラ」(1954年11月公開)のポスターを見せる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① ゴジラの武器は何か。 <ul style="list-style-type: none"> ・口から放射能を吐きながら東京を破壊。 ② どこから来たか。 <ul style="list-style-type: none"> ・海底洞窟に潜んでいたが、200万年の眠りから目を覚ました。 ③ なぜ目覚めて、怒ったのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・水爆実験ですみかを破壊され、核兵器に対する怒りをもったから。 ④ 山根博士の「最後の匹とは思えない」とはどういう意味か。 <ul style="list-style-type: none"> ・原水爆(核兵器)が開発され、実験が繰り返されるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間があれば、映画「ゴジラ」(1954年度、東宝作品)のDVDを視聴する(ゴジラの出現、東京襲撃、焼け野原の東京、病院の負傷者、博士の「最後の匹とは思えない」などの場面)。 ○怪獣ゴジラが、原水爆の恐ろしさを象徴的に表している(核兵器まで生み出した科学技術への警鐘が、その背景にあった)。
<p>(2)マグロ漁船の第五福竜丸の被ばくの新聞記事(資料1)を見せ、ビキニ水爆実験から第五福竜丸の被災、久保山愛吉さんの死の経過を説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1954年3月1日、アメリカがビキニ環礁(マーシャル諸島)で水爆実験を実施(水爆の威力は、広島型原爆の1000倍)。 ・マグロ漁船の第五福竜丸(資料3)は、ビキニ環礁から160km東方の危険区域外で操業中だったが、「死の灰」(放射性物質)を浴びた。 ・乗組員23名全員が被ばくし、急性放射線症と診断される。 ・乗組員の久保山愛吉さんの死(1954年9月23日、40歳) 	<ul style="list-style-type: none"> ○第五福竜丸の被災位置を地図で確認する(資料2)。 ○吐き気、皮膚の水ぶくれ、髪が抜けるなどの症状が出た(参考資料②)。 ○他の22名の乗組員も被ばくし、ガンなどで12名が亡くなった(2003年末)。 ○第五福竜丸の他にも多くの漁船が被災した(高知新聞)。 ○核実験場にされたマーシャル諸島の住民も被ばくした。
<p>(3)乗組員の久保山愛吉さんは、「原水爆の被害者はわたしを最後にしてほしい」という言葉を遺して亡くなった。この言葉の意味は何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原水爆(核兵器)の実験や使用を絶対にしてほしくない(被ばく者をこれ以上つくらぬほしい)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○当時は冷戦下で米ソの核実験がくり返されていた(参考資料①の年表)。
<p>(4)杉並区から始まった署名運動とその拡がりについて説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1954年5月、杉並の主婦らによる原水爆禁止の署名運動が始まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○第五福竜丸の被災をきっかけに署名運動が始まった。

<ul style="list-style-type: none"> ・1955年8月6日，広島で第1回原水爆禁止世界大会が開かれる。 ・集まった署名は，全国で3200万を超えた（1955年8月15日）。 <p>(5)広島で被爆し，白血病を発症した佐々木禎子さんは，入院中「原爆を許すまじ」という歌を口ずさんでいた。どんな思いで歌っていたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「原爆を許すまじ」の曲を聞いてみよう（資料4）。 ○佐々木禎子さんは，どんな思いで歌ったのだろうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・原水爆（核兵器）をなくしてほしい。 ・私のような被爆者をこれ以上つくりたくないでほしい。 ・原水爆（核兵器）を二度と使わないでほしい。 <p>(6)まとめ</p> <p>○久保山愛吉さんや佐々木禎子さんは，今の私たちに何を訴えかけているのか，考えていこう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○原水爆禁止大会は教科書の写真で確認する。 ○原水爆禁止大会では，被爆者や久保山愛吉さんの遺族も核兵器の廃絶を訴えた。 ○佐々木禎子さんは，病院で同室の大倉記代さんといっしょに「原爆を許すまじ」を歌っていた。 ○1954年10月，久保山さんの葬儀で「原爆を許すまじ」が初めて歌われた。 ○現在も続く原水爆禁止世界大会で「原爆を許すまじ」が歌われている。 ○禎子さんは，回復を願っていたが，1955年10月，12歳で亡くなった。 ○同級生らは，原爆で亡くなった子どもの像を建てようと全国に呼びかけ，多くの寄付金が集まり，3年後の1958年5月5日に「原爆の子の像」（資料5）が完成した。
---	--

7. 発展学習例（おもに中学校）

- ① 核実験場にされたマーシャル諸島の核被害について調べてみよう。
- ② 原爆の被害を受けた日本が，なぜ原子力発電を導入（「原子力の平和利用」）したか調べてみよう。
- ③ 原水爆（核兵器）と福島原発事故のつながり（共通点）を考えてみよう。
- ④ 東京修学旅行では，第五福竜丸展示館を見学しよう。

8. 資料

〈資料1〉第五福竜丸の被災の新聞記事（1954年3月16日，読売新聞）

（7）14版 読売新聞 昭和29年3月16日 （火曜日） 東京 第27780号

邦人漁夫、ビキニ原爆実験に遭遇

23名が原子病 一名は東大で重症と診断

水爆か 死の灰つけ遊び回る

焼けたがれ顔 グローブのような手

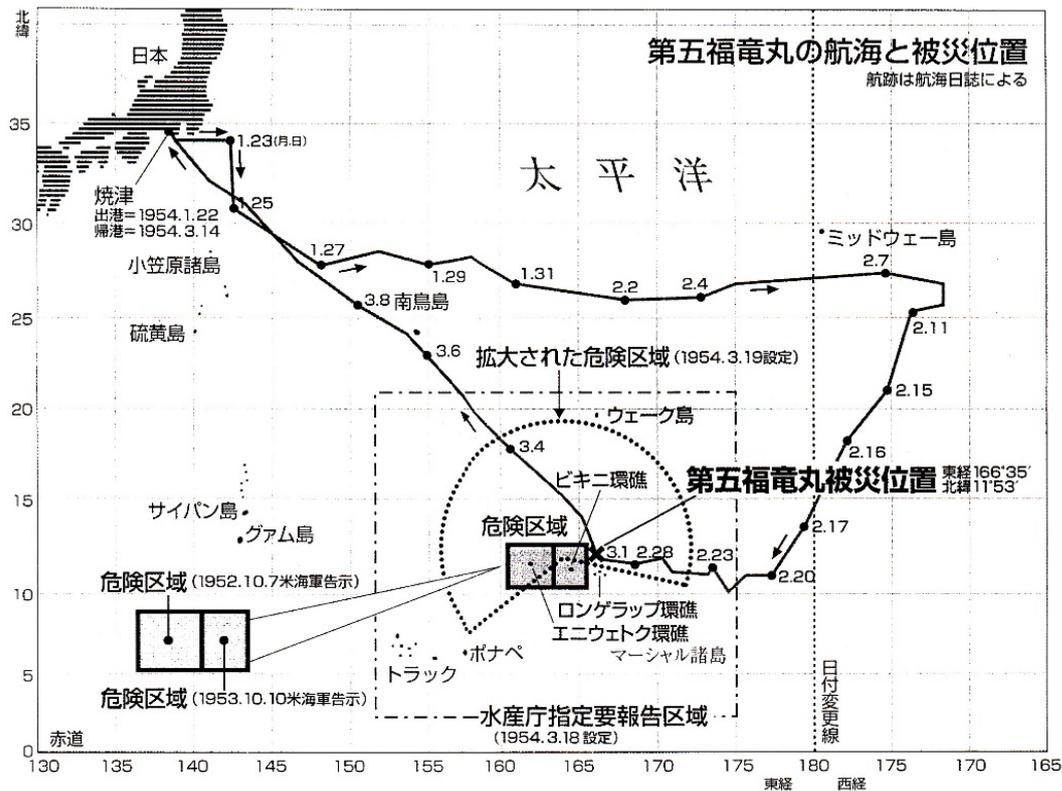
恩賜賞に沼田氏 芸術院賞八氏も決る

東大で精密

生命に危険あり

第二次読 総計五

〈資料2〉第五福竜丸の航海と被災位置（地図）



〔写真でたどる第五福竜丸〕 第五福竜丸平和協会

〈資料3〉 第五福竜丸（第五福竜丸展示館）



『写真でたどる第五福竜丸』 第五福竜丸平和協会

〈資料5〉 原爆の子の像



(広島平和公園内)

〈資料4〉 「原爆を許すまじ」の歌詞

原爆を許すまじ
浅田石二作詞／木下航二作曲

ふるさとの街やかれ
みよりの骨うめし焼土に
今は白い花咲く
ああ許すまじ原爆を
三度許すまじ原爆を
われらの街に

※佐々木禎子さんも入院中歌っていた。

〈参考資料①〉 核兵器開発競争をめぐる年表

1945年 7月 8月	アメリカが世界初の原爆実験 アメリカが6日に広島，9日に長崎へ原爆投下
1949年 8月	ソ連が初の原爆実験
1952年 10月 11月	イギリスが初の原爆実験 アメリカが初の水爆実験（エニウェトク環礁）
1953年 8月	ソ連が初の水爆実験
1954年 3月	アメリカの水爆実験で第五福竜丸が被災
1955年 8月	広島で第1回原水爆禁止世界大会開催
1960年 2月	フランスが初の原爆実験
1962年 10月	キューバ・ミサイル配備問題で米ソ核戦争の危機

※1 佐々木禎子さんについては、広島平和記念資料館の企画展HP「サダコと折り鶴」に掲載されている。
(http://www.pcf.city.hiroshima.jp/virtual/VirtualMuseum_j/exhibit/exh0107/exhi_top.html)

※2 「原爆を許すまじ」は、CD「平和のうたベスト1」に収録されている。アイアイ・キッズランドで1,572円（税込）で入手できる。「原爆を許すまじ」の他に14曲が収録されている。

〈参考資料②〉元乗組員の大石又七さんの証言（一部省略）

漁労長（船頭）の号令で、入れたばかりの縄を大急ぎで揚げはじめました。やがて空が明るくなってくると、西の水平線に巨大な雲が空を突き抜ているのが見えました。いわゆるキノコ雲のような形はすでになく、成層圏にとどいた雲はやがて崩れ、風上の私たちにおおいかぶさってきます。

波がたちはじめ、みぞれまじりに白い粉が降ってきました。雪のようにあとからあとからたくさん降ってきて、風に飛ばされ目にも入ります。体にはりつくと、チクチクと痛いし、かゆみもありました。鉢巻の上にびっしりとつもった人もいました。口にも耳にも容赦なく入りますが、味も匂いもありません。こわいと思う余裕もなく縄揚げ作業をつづけました。6時間近くかけて縄を揚げ終わり、船は焼津（静岡県）へと帰路を急ぎました。

その晩から、めまいや吐き気がありました。2日目以降に、白い粉がついたところが水ぶくれになり、やけどをしたような症状になりました。7日目くらいから、髪の毛が抜けるようになりました。

やがて、それまで元気だった私も、体中がだるくて、お箸も持てなくなりました。目に見えない放射能に体が破壊されていくんだと感じました。

日本中で原水爆禁止の署名運動がはじまると、アメリカは「一刻も早く事件を終息させなくては」と考えました。日本政府も、「アメリカの核実験に協力する」という態度を明らかにしました。そして、「見舞金」をアメリカが出すという政治決着で、たった9ヵ月で事件は終わりにされました。私たちは被ばくしたにもかかわらず、被ばく者とは認められなくなってしまったのです。私は、そのことがとてもくやしいのです。

（『学び・調べ・考えよう フィールドワーク 第五福竜丸』編者：第五福竜丸平和協会、発行：平和文化より）

9. 参考

○東京都立第五福竜丸展示館

- ・住所 〒136-0081 東京都江東区夢の島2丁目1-1 夢の島公園内
TEL. 03-3521-8494/FAX. 03-3521-2900
HP : <http://d5f.org/> E-Mail: fukuryumaru@msa.biglobe.ne.jp
- ・開館時間 9:30～16:00（月曜休館、月曜祝日の時は開館し、火曜休館） 入場無料
- ・アクセス 東京メトロ有楽町線、JR京葉線、りんかい線、『新木場駅』下車、徒歩10分
都営バス「夢の島」バス停下車、徒歩5分

10. 参考図書

- ・『写真でたどる第五福竜丸～ビキニ水爆被災50周年記念図録』
（発行：第五福竜丸平和協会 発売：平和のアトリエ 2004年）
- ・『学び・調べ・考えよう フィールドワーク 第五福竜丸展示館』
（編者：第五福竜丸平和協会 発行：平和文化 2007年）
- ・『第五福竜丸～ビキニ事件を現代に問う』（川崎昭一郎著 岩波ブックレット 2004年）
- ・『第五福竜丸から「3.11」後へ～被爆者大石又七の旅路』（小沢節子著 岩波ブックレット 2011年）
- ・『核と日本人～ヒロシマ・ゴジラ・フクシマ』（山本昭宏著 中公新書 2015年）
- ・『トビウオのぼうやはびょうきです』（いぬいとみこ作/津田櫓冬絵 金の星社 1982年）
- ・『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』（ベン・シャーン 絵/アーサー・ビナード 構成文 集英社 2006年）
- ・『核の難民～ビキニ水爆実験「除染」後の現実』（佐々木英基著 NHK出版 2013年）

(5) 現代の課題に迫ってみよう

② 日米安全保障条約と米軍基地

平和憲法と基地問題

1. ねらい

在日米軍施設・基地の現状と問題を知り、平和憲法との関わりの中で、平和とは何か、平和を創るために何ができるかを考える。

2. 対象 小学校6年生～中学生

3. 教科・領域 単元 社会科・公民分野：日本国憲法（平和主義）

4. 指導時間 1～2時間

5. 準備物 日本国憲法（前文・第9条）／新聞記事（ヘリの窓落下事故）／地図（在日米軍のおもな施設・地域）（広島県にある米軍施設の位置、川上弾薬庫の位置・広さ）（沖縄の在日米軍施設・基地の位置）／グラフ（在日米軍施設の都道府県別割合、在日米軍駐留経費負担の推移）／写真（沖縄戦、在日米軍基地、反対運動、辺野古等）／読み物資料

6. 学習の展開

学習活動	留意点
(1) 沖縄について知っていることを自由に出し合う。	○沖縄の地図を見せ、沖縄について知っていることを自由に出し合い、関心を高める。
(2) 沖縄の日米軍施設・基地の位置、広さを知り、なぜ沖縄に基地が集中しているのか考える。	○日本全体の地図と沖縄の地図を並べ、日本全体の約0.6%の県面積しかない沖縄に約70%の米軍施設・基地が集中していることをおさえ理由を考えさせる。
(3) 沖縄の基地の歴史を知る。 1945 沖縄戦 1945～1972 米国統治下 ＊銃剣とブルドーザーで 1970 コザ蜂起 1972 日本への返還 ～ 現代	○日米安全保障条約、沖縄への差別意識をおさえる。 ○5年生での沖縄学習や6年生の歴史学習で学んできたことを、資料等を使って想起させる。 ○太平洋戦争から米国統治下、日本への返還、現代にいたるまでの沖縄の被差別と犠牲の歴史を、写真を使ってより具体的に、実感をもってつかませる。
(4) 普天間飛行場と辺野古新基地建設の問題と反対運動など、今、沖縄で起こっていることを知る。 ・新聞記事（米軍ヘリの窓落下事故） ・写真（小学校上空を飛ぶ米軍機） ・写真（米軍基地をなくす運動に参加する人々） ・写真（辺野古の海、座り込みの人々）等	○新聞記事や写真により基地問題を具体的につかませる。 ○読み物資料等により、反対運動をしている沖縄の人々の思いや、支援している人々の心情にふれ、沖縄の怒りを知らせる。 ○新基地建設を巡って反対・賛成等沖縄の人々が分断されている現実や、2019年の県民投票をめぐる各自治体の動き、反対が70%を超えた県民投票の結果と政府の対応などについても知らせる。 ○日米安全保障条約、地位協定についてもふれる。
(5) 広島県内の米軍施設と位置を知る。 ・呉市…灰ヶ峰通信施設、呉第六突堤、広弾薬庫 ・江田島市…秋月弾薬庫 ・東広島市…川上弾薬庫	○広島県内の米軍施設の位置を書き込んだ地図を見せ、自分たちの身近にも基地の問題があることを知らせる。 ○地域に偏りがあることに気づかせ、理由を考えさせる。 ○自衛隊の様々な施設や、米軍岩国基地とも近いことを知らせる。
(6) 東広島市にある川上弾薬庫の位置、歴史、役割について知り、戦後返還運動をされていたDさんの思いを知る。 1940 日本軍の命により強制立ち退き 川上弾薬庫（兵器補給支廠）建設	○川上が、当時弾薬庫として適任地とされた地理的条件などを、地図や地形図からつかませる。 ・地形→両側を山に囲まれた平坦な谷で、周りから見えにくい自然の要塞 ・位置→軍港呉に近い、軍都広島に近い。

<p><1945 敗戦> 1946 連合軍がキャンプ江田島の付属施設として接收</p> <p><1950 朝鮮戦争> 1952 在日米軍に正式に弾薬庫として提供される 1959 使用されなくなる</p> <p><1965 ベトナム戦争 北爆開始> 1967 川上弾薬庫再開，弾薬輸送開始 1990～ 施設の拡充が続く</p> <p><1991 湾岸戦争> <2001 同時多発テロ・米アフガニスタン空爆> <2003 イラク戦争></p> <p>(7) 日本国憲法前文，第9条を読み，意見を交流し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その他→鉄道が近くを走っており引き込み線が建設しやすい。八本松駅が近い。 ○川上弾薬庫の歴史と日本や世界情勢との関わりをつかませ，川上弾薬庫のもつ役割を確認させる。 ○太平洋戦争を続行させるため，日本軍の命により立ち退きをさせられ，戦後返還運動をしていたDさんの思いを自作教材「川上弾薬庫物語」を読んで知らせ，沖縄との共通点に気づかせることで沖縄の思いや怒りとつなげる。 <p>○基地問題をどう考えるか，本当の平和とは，などの視点も持たせながら，意見を交流させる。</p> <p>※日本国憲法については，次の「平和憲法と自衛隊」P.61～P.63を参照のこと。</p>
--	---

7. 発展学習例

もっと詳しく知りたいことを，総合的な学習の時間等を使って調べ，他学年や保護者等へ発信する学習活動や，学んだことをまとめ，ヒロシマとオキナワの学校で交流をして，「平和」をキーワードにつなげていく学習活動などが考えられる。

8. 資料

- ・『今がわかる 時代がわかる 2018年版 日本地図』(成美堂出版) ※毎年，新しく出版

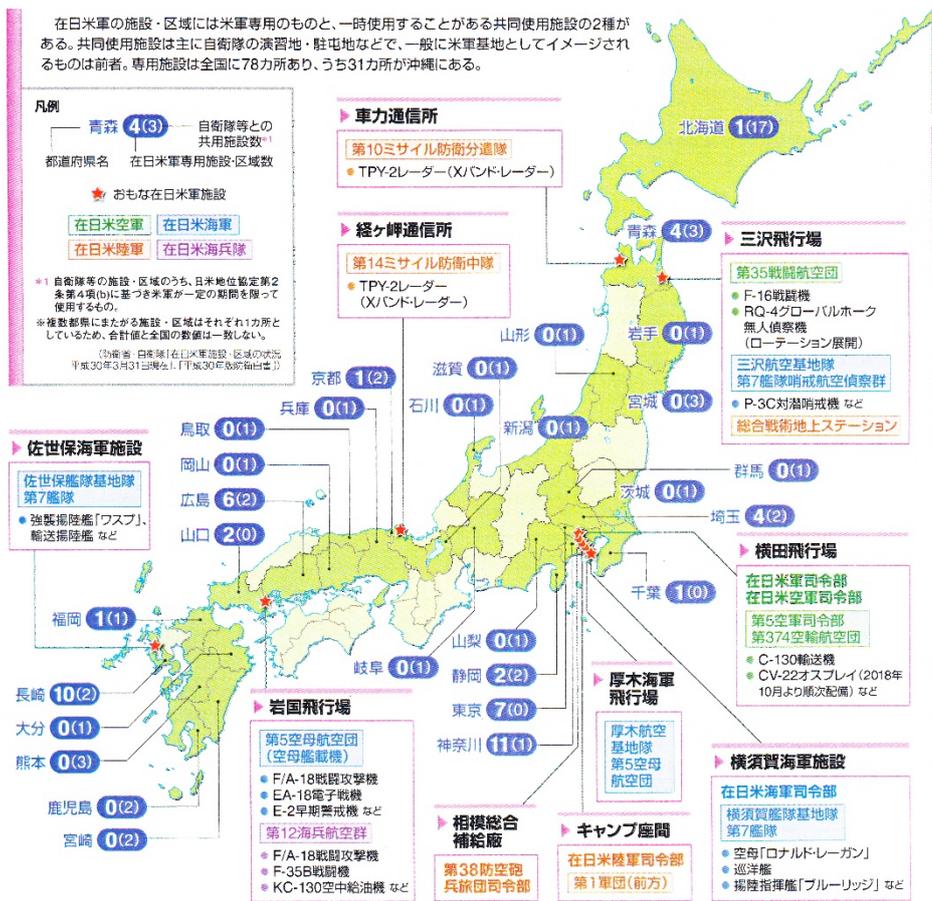
<川上弾薬庫自作資料>

- ・川上弾薬庫周辺地図
- ・新聞記事(1997年 朝日新聞 平和都市のかげで)，紙芝居「川上弾薬庫物語」，Dさんのお話
- ・川上弾薬庫に関わる年表(川上村史，Dさんのお話，日録20世紀 より)
- ・八本松川上弾薬庫払下に関する嘆願書(Dさん提供)

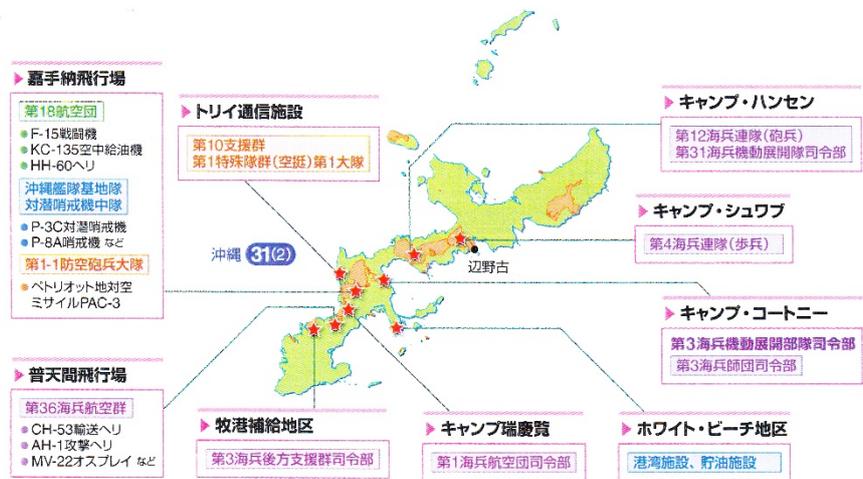
<沖縄関係資料>

- ・『記録写真集 沖縄戦—太平洋戦最後の死闘90日』(那覇出版社 1982年)
- ・新聞記事(2017年12月20日 琉球新報 「安全な学校がいい」)
- ・『戦う民意』(翁長雄志著 角川書店 2015年)
- ・『沖縄と本土 いま，立ち止まって考える 辺野古移設・日米安保・民主主義』(翁長雄志他著 朝日新聞出版 2015年)

【在日米軍の施設・区域】



【沖縄の米軍の施設・区域】

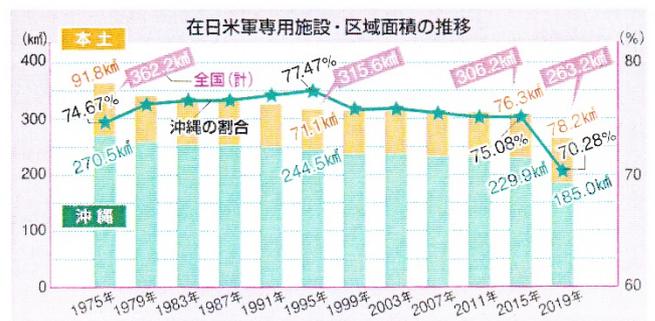


■ 沖縄の基地面積は、返還時のおよそ3分の2へ

在日米軍の専用施設・区域は段階的に日本への返還が進められており、その面積は、沖縄の復帰から間もない1975年時点で362.2km²だったが、2019年には263.2km²と、27%程度減少している。

うち、沖縄の米軍基地面積は、返還時の72年5月には286.6km²、75年には270.5km²だったが、2019年には185.0km²と、返還時の3分の2以下まで減少している。

在日基地面積全体に占める沖縄の割合は75%強で推移してきたが、2016年末、広大な面積だった北部訓練場の過半が返還されたことにより、70.28%まで低下した。しかし、日本全体の0.6%しかない県面積と比べると、なお過大な負担であることはかわらない。



「川上弾薬庫」物語

1940年（昭和15年）6月、いそがしい田植えの季節をむかえたけれども、ここ八本松宗吉では、人の姿も見えず、話し声も聞こえず、何か谷全体が悲しみにしずんでいました。

この宗吉は、昔から自然にめぐまれ、おいしいお米がたくさんとれ、秋にはマツタケもとれた平和でしずかな村でした。

その宗吉の人々が悲しみにしずんでいるのは、こういうわけでした。

6月8日、宗吉の人々は突然、川上小学校に集められました。「何の話だろうか。」と心配顔の人々に、呉海軍ちんじゅ府けんちく部第一課長北崎主計大佐が、次のような話をしたのです。

「日本の国が大きな戦争を続けていくために、この宗吉に軍のしせつをつくりたい。それで、宗吉の人々には、他の土地へ移ってほしい。」と言うのです。

「この宗吉は、地理的にも大変重要で、他にかけがえがない。みな様に対しては先祖伝来の土地を捨てて他に移っていただくことは大変申し訳ないが、今戦場では、たくさんの者が血みどろの戦いを続けている。国の運命をかけて、この戦争に勝ち抜くために、ぜひゆずってほしい。」と頭をさげました。

思いもよらない言葉に、人々の間からは何の声も出ませんでした。そのころ、軍の言うことに反対することなどできませんでした。

立ちのき期限は10月20日。それまでに人々は移転先を決め、建物の解体や物の運搬にと、車もない時代に、大変な苦労をしました。家財道具から先祖の墓石まで、車力に積んだり背中に背負ったりして運んだのでした。

そんな中で、家財道具を背負って線路を渡っていたおばあさんが、急行列車にはねられて亡くなったり、苦労の末、移転が終わり安心したのもつかの間、二人の男性が急死したりという、悲しいでき事もありました。

その後、日本はアメリカとも戦争を始め、国中が戦争に巻き込まれ、ますます大きな悲惨な戦争へと広がっていったのです。アジアのいろいろな国で、日本のいろいろなところで、オキナワで、ヒロシマ・ナガサキで、たくさんのたくさんの子どもが、女の人が、男の人が、お年寄りが、悲しみと苦しみの中で死んでいきました。

たくさんの、たくさんのぎせいを出して、1945年（昭和20年）8月15日、日本は戦争に負けました。

戦争が終わって、日本軍のしせつであった川上だんやく庫はどうなったでしょう。

戦争が終わった次の年には、アメリカなどの連合国軍に、キャンプ江田島の付属施設として取り上げられました。その後1951年に、日本はアメリカと「日米安全ほしょう条約」を結び、1952年7月には、川上だんやく庫は正式にアメリカ軍のだんやく施設とされました。

そして、今もまだ、そのままの状態が続いているのです。

しかし、あの戦争の時「日本のお国のために。」と、自分たちの土地を泣く泣く去っていかねばならなかった人々は、アメリカ軍のだんやく庫となってからも、日本の政府へ何度も願い出て、土地を返してもらえるようにと、地道な運動を重ねてきました。

その運動を頑張ってくられたDさんは、当時の家を描いた絵の前で「いつかはもどりたいですね。帰りたいですよ。」と、目を細めながら言われました。

アメリカがベトナムと戦争をしていた1972年には、だんがん輸送のための道路が整備されました。赤い橋のかかるその道路を、地元の人々は「だんがん道路」と呼んでいます。

1991年にアメリカなどの多国籍軍がイラクと戦ったわんがん戦争の時には、「火」のマークを付けたトラックが、他の年よりもたくさんたくさん、川上だんやく庫を出発しました。

その火薬やだんがんは、どこへ行って、どう使われたのでしょうか。

平和な毎日を過ごしている（と思っている）私たちですが、自分たちの生活している場所のすぐ近くにある、フェンスや鉄条網に囲まれた川上だんやく庫の前に立ってみてください。

どんな思いがわき上がってくるのでしょうか。

Dさんは、その手記の最後に、こう書かれています。

「現在の状況ではどうすることもできまいが、しかし、いつの日か必ずや、宗吉立ち退き者のこうけい者たちにふる里の土地が返される日がくることを信じている。」

《Dさんのお話》

家族が川上弾薬庫に勤めていた関係で、後にも先にも1回だけ、従業員の家族が「弾薬庫敷地内のきのこ採りをしてもいい」ということで、秋の1日、立ち入りを許可されたことがありました。

わたしも弁当をもって、家族と入ったのですが、中へ入ると一目散に弾薬庫の敷地のはしの方にある、自分の家があったところへと急ぎました。

うちには石垣があったのですが、走って行ってみると、その石垣がそのまま残っているんですよ。うれしかったですわねえ。大きな石を、手でピタピタたたいて、つめたい石に顔をくっつけて、いろいろ話をしましたよ。

それから、立ち退きの時には、両手の親指と人差し指で輪をつくったくらいの太さだった銀杏の木が、そりゃあもう、見上げるぐらいの大きな木になっていてねえ。秋だから、銀杏の実をいっぱい落としているんですよ。その銀杏を、たくさんたくさん拾って帰りましたよ。

中に入ったのは、ただその1回だけでした。

山陽本線の近くに、うちの土地がまだ少し残っているところがあるんですが、そこに上がるとまだ、うちの家のあとの石垣が見えるんですよ。

(聞き手の家が農業をしているということを知って) ああ、あなたのとこには田んぼがある。そりゃあいい。田があるということは、そりゃあ強いことですよ。自分の食べるものを自分で作るということは、とても大切なことですよ。

宗吉は両側を山にはさまれた谷で、水も豊かで、よく米もとれたんですよ。秋にはマツタケもとれてねえ。犯罪もなく、本当に平和でしずかな村だったんですよ。

今すぐ、返ってくるということはないだろうが、(陳情書、証明書の束を手に) こういうものも、いつか役に立つだろうと、こうして大切に持っているんです。

(5) 現代の課題に迫ってみよう

③ 平和憲法と自衛隊

平和憲法と自衛隊

1. ねらい

『あたらしい憲法のはなし』の「戦争放棄」のイラストを読み取り、日本国憲法に定められた戦争放棄の意味を理解する。

2. 対象 小学校高学年～中学校

3. 教科・領域／単元 「憲法とわたしたちの暮らし～平和を守る」(小6社会) / 「日本の平和主義」(中3社会)

4. 指導時間 1時間

5. 準備物 『あたらしい憲法のはなし』の「戦争放棄」のイラスト(掲示用大判コピー, 児童生徒用コピー) / 短冊形カード

6. 学習の展開

学習活動	留意点
<p>(1)日本国憲法が制定された年月日と三つの基本理念を思い起こす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1946年11月3日公布 →1947年5月3日施行 ・国民主権, 基本的人権の尊重, 平和主義(戦争放棄) 	
<p>(2)新憲法施行後, 中学生用に『あたらしい憲法のはなし』という教科書が配布されたことを説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文部省(現文部科学省)が編集し, 1947年～1952年まで使用されたこと。
<p>(3)『あたらしい憲法のはなし』の「戦争放棄」のイラストを黒板に掲示し, わかることを読み取り, 発表する。</p> <p>☆溶鉱炉で溶かしているものは何か。また, 何をつくろうとしているのだろうか。</p> <p>〈溶かしているもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦闘機, 戦車, 爆弾 →戦争で使うもの(戦力) <p>〈つくられているもの〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビル, 電車, 船, 消防車, 鉄塔(タワー) →生活に役立つもの 	<ul style="list-style-type: none"> ○溶鉱炉とは何か説明する。 ○イラストからわかることをノートに記入する。 ○溶かしているものをひとまとめにして何というか問う。→「戦力」
<p>(4)なぜこのようなイラストが描かれたか, その理由を考えてみよう。</p> <p>☆なぜ, 戦争で使うものを溶かし, 生活に役立つものをつくろうとしたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争で多くの国民が亡くなったから。 ・もう戦争をしないから(二度と戦争をしたくないから)。 ・戦争のない平和な社会にしたいと思ったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ○カードを配布し, 端に名前を記入させる。 ○自分の考えをカードに記入し, グループしながら黒板に貼っていく。 ○さまざまな考えがあることに気づかせる。
<p>(5)『あたらしい憲法のはなし』の「戦争放棄」ではどのように書いてあるだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦力の放棄 ・戦争の放棄 	<ul style="list-style-type: none"> ○時間があれば, 憲法第9条の条文を確認する(①戦争の放棄, ②戦力の不保持, ③交戦権の否認)。
<p>(6)今の日本には, 『あたらしい憲法のはなし』の内容と矛盾するようなどことはないだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争で使うものがある(戦力をもっている)。 ・自衛隊がある(戦車や戦艦, 戦闘機がある)。 ・自衛隊は外国に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○戦争放棄の理念と現実が矛盾することに気づかせる程度にとどめておく。

※琉球大学附属小学校小6社会科指導案(対話で学び合う授業とは何か～小六・社会科の授業実践を通して考える)を参考に作成しました。

7. 発展学習例（おもに中学校）

- ① 自衛隊設立の経緯（警察予備隊の発足）～自衛隊の海外派遣までを年表にまとめる。
- ② なぜ、再軍備をすることになったのか背景を調べる（新中国の誕生、東西冷戦、朝鮮戦争など）。
- ③ 自衛隊の合憲論・違憲論について調べてまとめる（自衛隊と自衛権、他国との軍事力の比較など）。
- ④ 日本の防衛の原則について調べてまとめる（専守防衛、シベリアンコントロール、非核三原則）。
- ⑤ 集団的自衛権の行使が可能になったことで何がかわるか考える。

8. 資料

○あたらしい憲法のはなし（戦争放棄）

みなさんの中には、こんどの戦争に、おとうさんやいさんを送りだされた人も多いでしょう。ごぶじにおかえりになったでしょうか。それともとうとうおかえりにならなかったでしょうか。また、くうしゅうで、家やうちの人を、なくされた人も多いでしょう。いまやつと戦争はおわりました。二度とこんなおそろしい、かなしい思いをしたくないと思いませんか。こんな戦争をして、日本の國はどんな利益があつたでしょうか。何もありません。ただ、おそろしい、かなしいことが、たくさんおこっただけではありませんか。戦争は人間をほろぼすことです。世の中のよいものをこわすことです。だから、こんどの戦争をしかけた國には、大きな責任があるといわなければなりません。このまえの世界戦争のあとでも、もう戦争は二度とやるまいと、多くの國々ではいろいろ考えましたが、またこんな大戦争をおこしてしまったのは、まことに残念なことではありませんか。

そこでこんどの憲法では、日本の國が、けっして二度と戦争をしないように、二つのことをきめました。その一つは、兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものは、いっさいもたないということです。これからさき日本には、陸軍も海軍も空軍もないのです。これを戦力の放棄といいます。「放棄」とは「すててしまう」ということです。しかしみなさんは、けっして心ぼそく思うことはありません。日本は正しいことを、ほかの國よりさきに行ったのです。世の中に、正しいことぐらい強いものはありません。

もう一つは、よその國と争いごとがおこったとき、けっして戦争によって、相手をまかして、じぶんのいいぶんをとおそうとしないということをかきめたのです。おだやかにそうだんをして、きまりをつけようということです。なぜならば、いくさをしかけることは、けっきょく、じぶんの國をほろぼすようなはめになるからです。また、戦争とまでゆかずとも、國の力で、相手をおどすようなことは、いっさいしないことにきめたのです。これを戦争の放棄というのです。そうしてよその國となかよくして、世界中の國が、よい友だちになってくれるようにすれば、日本の國は、さかえてゆけるのです。

みなさん、あのおそろしい戦争が、二度とおこらないように、また戦争を二度とおこさないようにいたしましょう。



9. 参考資料（『新しい憲法 明るい生活』～『あたらしい憲法のはなし』 岩波現代文庫より）

私たち日本国民はもう二度と再び戦争をしないと誓った。（第9条）

これは新憲法の最も大きな特色であつて、これほどはっきり平和主義を明らかにした憲法は世界にもその例がない。

私たちは戦争のない、ほんとうに平和な世界をつくりたい。このために私たちは陸海空軍などの軍備をふりすてて、全くはだか身となつて平和を守ることを世界に向かって約束したのである。（中略）

新憲法ですべての軍備を自らふりすてて日本は今後「もう戦争はしない」と誓うばかりではたりない。進んで芸術や科学や平和産業などによって、文化国家として世界の一等国になるように努めなければならない。それが私たち国民の持つ大きな義務であり、心からの希望である。

世界のすべての国民は平和を愛し、二度と戦争の起こらぬことを望んでいる。私たちは世界にさきがけて「戦争をしない」という大きな理想をかかげ、これを忠実に実行するとともに「戦争のない世界」をつくり上げるために、あらゆる努力を捧げよう。これこそ新日本の理想であり、私たちの誓いでなければならない。

※『新しい憲法 明るい生活』は1947年に発行され、新憲法の特色についてわかりやすく解説。各家庭に配布された。

10. 参考図書

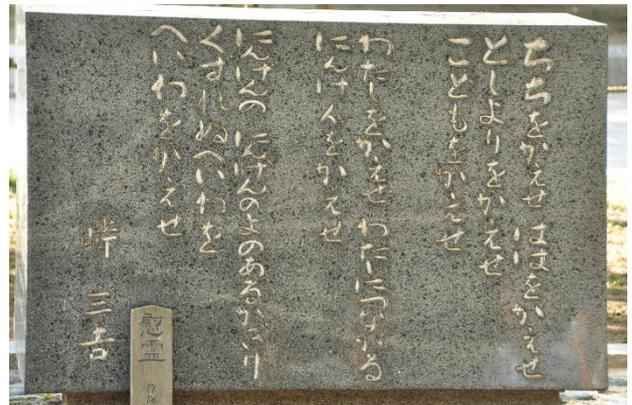
- ・『あたらしい憲法のはなし』（広島県教育用品株式会社 2007年）
 - ・『あたらしい憲法のはなし』 他二篇一付 英文対訳日本国憲法（岩波現代文庫 2013年）
 - ・「教えて！ 憲法 9条と安全保障」[1](#)～[8](#)（朝日新聞，2018，9. 12～20-18，9. 22）
- ※もっと詳しく知るために：『自衛隊と憲法』（木村草太著 晶文社 2018年）



原爆ドーム駅付近を走る被爆電車



灯ろう流し（元安川）



峠三吉詩碑（平和公園内）

(4) 現代の課題に迫ってみよう

④ 核兵器禁止条約

核兵器はなくせる！？

1. ねらい

- ① 戦後の核開発競争と核軍縮のあゆみを理解する。
- ② 冷戦後の核兵器拡散の状況について理解し、核廃絶の課題を明らかにする。
- ③ 核兵器禁止条約について理解し、日本の果たすべき役割や自分たちにできることを考える。

2. 対象 中学生

3. 教科・領域／単元 「世界平和の実現」(中学校社会：公民的分野)

4. 指導時間 2時間

5. 準備物 資料プリント

6. 学習の展開

〈第1次〉

学習活動	留意点
<p>(1) 最近の核兵器に関するニュースで知っていることは何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローマ教皇の来広 (2019年11月24日, 広島・長崎) …核兵器の存在を批判し, 被爆体験の継承を訴えた。 <p>(2) どうして今そのようなことを言われたのだろうか, 考えていこう。</p> <p>★学習課題の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">核兵器をめぐる状況はどうなっているのだろうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒に知っていることを発表させる。 ○ローマ教皇のメッセージの一部 (※1 参考) を紹介する。
<p>(3) 広島・長崎への原爆投下以降, 「ヒバクシャ」は増えていないだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米の水爆実験による第五福竜丸の被ばく (1954年) ・チェルノブイリの原発事故 (1986年) など <p>(4) 核兵器の保有国はどこか調べてみよう (1967年までに核兵器を保有した国, 冷戦終結後, 核兵器を保有した国に分けて生徒に問うてみる)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1967年まで…アメリカ, ロシア, イギリス, フランス, 中国, イスラエル (1967年?), インド (1974年) ・冷戦終結後…パキスタン (1998年), 朝鮮民主主義人民共和国 (2006年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒバクシャ」とは, 核実験や原発事故などによる放射線被ばくを受けた人のこと。 ○教科書の年表で確認する。 ・アメリカ, ソ連, フランスなどの核実験によるヒバクシャが増えたこと (※2 参考)。 ○核兵器の保有国を確認する (教科書)。 ○冷戦終結後については教科書の年表で確認。 ○冷戦終結 (1989年～) 後, 核兵器の保有国が増えていることに気づかせる。
<p>(5) 現在, 世界にはどのくらいの核兵器があるか調べてみよう。また, 核弾頭の削減に大きな役割を果たした条約は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核弾頭の保有数…約13, 880発 (2019年) ・INFやSTART I 	<ul style="list-style-type: none"> ○核弾頭数を〈資料1〉で確認する。 ・冷戦期のピーク時には, 約7万発の核兵器があったが, 冷戦終結後削減されてきたこと。 ・米大統領は, 2018年INFを破棄したこと。
<p>(6) 核兵器の保有を禁止した条約, 核実験を禁止した条約は何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・核不拡散条約 (NPT) …非保有国による核兵器の製造・取得を禁止。 ・包括的核実験禁止条約 (CTBT) …地下核実験を含む, すべての核実験を禁止。 	<ul style="list-style-type: none"> ○〈資料2〉の年表で調べる。 ○核不拡散条約 (NPT) と包括的核実験禁止条約 (CTBT) の内容について説明する (資料2)。 ・米, ロ, 英, 仏, 中は核保有が認められていること (核軍縮が義務づけられている)。

<p>(7) NPTやCTBTが成立したが、核軍縮は進んでいるのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • NPTに加盟していない国…インド、パキスタン、イスラエル（北朝鮮は1993年脱退） • CTBTに署名したが批准をしていない国…アメリカ、中国、エジプト、イスラエル、イラン • CTBTに署名も批准もしていない国…北朝鮮、インド、パキスタン <p>→核保有国が増え、核軍縮も進んでいない。</p> <p>(8) 核兵器の保有国が増えると、どのような問題が起こるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 核兵器が使用されると、広島・長崎のように多くの犠牲者や被爆者が出る。 • 紛争などで核兵器が使われる危険性がある。 • 紛争国やテロ組織の手に渡ると、核兵器の使用の危険性が高まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○NPT未加盟の国を、教科書の図「世界の核保有国と保有数」を見ながら生徒に問うてみる。 • NPTは核保有国に核軍縮が義務づけられているが、進んでいないこと。 ○CTBTの未加盟国や脱退国を確認する（核超大国のアメリカは批准していない）。 • CTBTは全ての原子炉をもつ44か国の署名・批准が発効の要件になっているが、発効要件国の批准の見通しが立っておらず未発効であること。 ○広島・長崎への原爆投下を想起する。 • 誤って使用寸前に至ったケースもあったこと。 ○世界各地で紛争やテロが多発していることを知らせ、考えるヒントにさせる。
<p>(9) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 核兵器の保有国が増え、核兵器使用の危機が高まっている中で、核兵器をなくしていくためにはどうすればいいか考えていこう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○核軍縮については、次時で考えていくことを予告する。

〈第2次〉

学習活動	留意点
<p>(1) 前時の復習</p> <ul style="list-style-type: none"> • 核軍縮の課題を確認する。 <p>★学習課題の確認</p> <p>核兵器をなくしていくためにはどうすればいいのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○核兵器の拡散が進んでおり、どのようにして核軍縮を進めていくかが課題であることを確認する。
<p>(2) 核軍縮が進まない状況に対して、国連ではどのような取り組みを行っているのだろうか。最近、国連で採択された条約を知っているか。どのような条約だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 核廃絶決議（毎年） • 核兵器禁止条約を採択（2017年7月7日） …第1条 (a) 核兵器の開発・保有・使用の禁止 (d) 「威嚇」の禁止→核の抑止力を否定 	<ul style="list-style-type: none"> • 毎年、核廃絶決議を行っていること。日本政府も提案しているが、究極的核廃絶の内容ではないこと。 ○2017年、核兵器を禁止する条約が国連で採択されたことを知っているか問う。 ○核兵器禁止条約の第1条（資料3）を確認し、補足説明する。
<p>(3) なぜ今、核兵器禁止条約が作られたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 核軍縮が進んでいない。 • 核保有国が増え、核使用の危機が高まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○前時の学習内容から考えさせる。
<p>(4) 核兵器禁止条約はどのような内容で、どのようにして成立したのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ICAN（核兵器廃絶国際キャンペーン）の取り組み • 被爆者の訴え 	<ul style="list-style-type: none"> ○核兵器禁止条約の概略を紹介する（資料3）。 • ICANは、核兵器禁止条約の成立に貢献したことでノーベル平和賞を受賞（2017年10月）したこと（参考資料①）。 ○サーロー節子さんのメッセージ（資料4）を紹介し、被爆者の願いは何かをつかませる。

<p>(5) 日本政府の核兵器禁止条約に対する態度を調べみよう。 また、そのことについて話し合ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本政府・核兵器禁止条約に反対 (アメリカの「核の傘」) <p>(6) 核軍縮に向けて、日本が果たすべき役割は何かを考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 非核三原則を守る。 ・ 東アジアの非核地帯化をめざす。 ・ 核廃絶のリーダーシップをとること。 <p>(7) 私たち一人ひとりができることは何かを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原爆について知ること。 ・ 被爆体験を周りに伝えること。 ・ 核兵器をめぐる状況など、現在の日本や国際社会について知ること。 ・ 国を超えて市民が連帯して取り組むこと (ネットワークでつながること)。 	<p>○ 日本政府は、なぜ反対したのか考えさせ、アメリカの「核の傘」に頼っていることに気づかせる。</p> <p>○ 核の抑止力を容認しながら、核廃絶をめざすことは相矛盾すること (核兵器は抑止力になるのか考えさせたい)。</p> <p>○ 核軍縮に向けて、日本が果たすべき役割や自分たちができることをまとめさせる。</p> <p>○ 非核地帯について教科書の地図 (日本文教出版) で確認する。</p> <p>○ 高校生平和大使 / 高校生一万人署名活動について知らせる (広島でも活動) ※4。</p>
<p>(8) まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 核兵器の廃絶は容易ではないが、国際社会に関心を持ち、平和について考え、世論に訴えていくことが大切であること。 	

※1 ローマ教皇の広島でのメッセージ (概略)

「戦争のために原子力を使うことは犯罪以外の何ものでもない」「ここで起きた出来事を忘れてはいけない」などと述べられ、核兵器の存在を強く批判され、過去の記憶を継承していくことが平和を築くために欠かせないと訴えられた。

※2 世界のヒバクシャ

マーシャル諸島 (ロングラップ島) や旧ソ連のセミパラチンスクなどでの核実験による住民の被ばくやチェルノブイリ原子力発電所事故による被ばくについては、中国新聞「ヒロシマ平和メディアセンター」HP の「世界のヒバクシャ」に詳しく紹介されている。

※3 最新のデータは、長崎大学核兵器廃絶研究センターのHP を参照のこと。

※4 高校生平和大使 / 高校生一万人署名活動

- ・ 高校生平和大使…1999年にインド・パキスタンの、核実験に危機感を持った被爆地の市民運動から生まれた。合言葉は「ビリョクだけど無力じゃない」。
- ・ 高校生一万人署名活動…2001年に高校生平和大使に応募した高校生たちが立ち上げた。核兵器廃絶を願う人たちの声を署名にして国連欧州本部に毎年届ける活動を行っている。

7. 発展学習例

- ① 広島学習…広島平和記念資料館見学, 平和公園フィールドワーク, 原爆ドーム など
- ② 長崎修学旅行…長崎原爆資料館見学, 爆心地公園フィールドワーク, ナガサキピースミュージアム, 岡まさはる記念・長崎平和資料館の見学 など
- ③ 東京修学旅行…第五福竜丸展示館見学 など

※本書P.79～80の「修学旅行で平和学習を」を参照のこと。

8. 資料

〈資料1〉核兵器の保有国（2019年6月現在）



（長崎大学核兵器廃絶研究センターのデータをもとに長崎市が作成。長崎市HP：平和・原爆総合ページより）
 ※最新のデータは、長崎大学核兵器廃絶研究センターのHPを参照のこと。

〈資料2〉おもな核軍縮条約

条約名	成立年	内容
部分的核実験禁止条約成立	1963年	大気圏外及び水中での核実験の禁止を規定。地下核実験は除外。
核不拡散条約（NPT）成立	1968年	アメリカ、ロシア、イギリス、フランス、中国の5か国以外の核兵器の保有を禁止する条約。（1970年発効）
戦略兵器制限条約 SALT I	1972年	米ソの戦略核兵器の制限に関する交渉。SALT IではICBM、SLBMの数量の上限を設定。
SALT II	1979年	SALT IIは米議会で批准されず、発効せず。
中距離核戦力（INF）全廃条約調印	1987年	中距離核戦力の廃棄を決定。核兵器を削減するための最初の条約。（1988年発効）（2019年8月失効）
戦略兵器削減条約調印 START I	1991年	米ロの戦略核兵器の削減に関する交渉。START Iは、配備される戦略核弾頭を7年間で6000発に制限と決定。
START II	1993年	（2001年12月、米ロ、履行完了宣言）（2009年12月で失効）。START IIは発効せず。
核不拡散防止条約（NPT）の無期限延長	1995年	条約の実施状況について、5年毎に再検討会議を開催。
包括的核実験禁止条約採択（CTBT）	1996年	地下核実験を含め、全ての核実験を禁止。核兵器の新規開発や、非核保有国による核開発を困難にすることを目的（爆発を伴わない実験は禁止していない）。（未発効）
戦略攻撃能力削減条約調印（モスクワ条約）	2002年	米ロの戦略核弾頭の配備数を、今後10年でそれぞれ1700～2200発に削減と決定。（2011年2月、新START条約の発効に伴い、失効）
新戦略兵器削減条約（新START）	2010年	発効後7年以内に、米ロそれぞれの配備済みの戦略核弾頭総数を1,550発に、戦略核運搬手段総数を800基・機に削減することを決定。（2011年2月発効）（2021年期限切れで失効するが、延長のめどは立っていない）

※戦略核兵器…大陸間弾道ミサイル（ICBM）や潜水艦発射の弾道ミサイル（SLBM）のほか、戦略爆撃機がある。

※中距離核戦力…弾道ミサイルのうち、射程が500～5500km程度のもの。

〈資料3〉核兵器禁止条約（2017年7月7日）

・50か国の批准後、90日で発効／署名国：80／締約（批准）国：34（2019年11月末現在）

第1条（禁止）

1 締約国は、いかなる場合にも、次のことを行わないことを約束する。

- (a) 核兵器その他の核爆発装置を開発し、実験し、生産し、製造し、その他の方法によって取得し、占有し、又は貯蔵すること。
- (b) 核兵器その他の核爆発装置又はその管理をいずれかの者に対して直接又は間接に移譲すること。
- (c) 核兵器その他の核爆発装置又はその管理を直接又は間接に受領すること。
- (d) 核兵器その他の核爆発装置を使用し、又はこれを使用するとの威嚇を行うこと。
- (e) この条約によって締約国に対して禁止されている活動を行うことにつき、いずれかの者に対して、援助し、奨励し又は勧誘すること。
- (f) この条約によって締約国に対して禁止されている活動を行うことにつき、いずれかの者に対して、援助を求め、又は援助を受けること。
- (g) 自国の領域内又は自国の管轄若しくは管理の下にあるいずれかの場所において、核兵器その他の核爆発装置を配置し、設置し、又は展開することを認めること。

（外務省 HP「暫定的な仮訳」より）

〈資料4〉サーロー節子さんのノーベル平和賞受賞講演（2017年12月10日）

私が13歳の時、米国が最初の核兵器を私の暮らす広島に落としました。私は今でも鮮明にその朝のことを覚えています。8時15分、私は窓から目をくらます青白い閃光を見ました。私は、宙に浮く感じがしたのを覚えています。静寂と暗闇の中で意識が戻ったとき、私は、自分が壊れた建物の中で身動きがとれなくなっていることに気がつきました。私の同級生たちが「お母さん、助けて。神様、助けてください」とかすれる声で叫んでいるのが聞こえ始めました。

そのとき突然、私の左肩を触る手があることに気がつきました。その人は「諦めるな、踏ん張れ。私が助けてあげるから。あの隙間から光が入ってくるのが見えるだろう？そこに向かって、なるべく早く、はって行きなさい」と言うのです。私はそこからはい出てみると、崩壊した建物は燃えていました。その建物の中にいた私の同級生のほとんどは、生きたまま焼き殺されていきました。私の周囲全体には異常な、想像を超えた破壊がありました。

幽霊のような姿の人たちが、足を引きずりながら行列をなして歩いていきました。恐ろしいまでに傷ついた人々は、血を流し、火傷を負い、黒こげになり、腫れあがっていました。体の一部を失った人たち。肉や皮が体から垂れ下がっている人たち。飛び出た眼球を手を持っている人たち。お腹が裂けて開いている人たち。そこから腸が飛び出て垂れ下がっている人たち。人体の焼ける悪臭が、そこら中に蔓延していました。

このように、一発の爆弾で私が愛した街は完全に破壊されました。住民のほとんどは一般市民でしたが、彼らは燃えて灰と化し、蒸発し、黒こげの炭となりました。その中には、私自身の家族や、351人の同級生もいました。

その後数週間、数カ月、数年にわたり、何千人もの人たちが、放射線の遅発的な影響によって、次々と不可解な形で亡くなっていきました。今日なお、放射線は被爆者たちの命を奪っています。

広島について思い出すとき、私の頭に最初に浮かぶのは4歳の甥、英治です。彼の小さな体は、何者か半別もできない溶けた肉の塊に変わってしまいました。彼はかすれた声で水を求め続けていましたが、息を引き取って苦しみから解放されました。

私にとって彼は、世界で今まさに核兵器によって脅されているすべての罪のない子どもたちを代表しています。毎日、毎秒、核兵器は、私たちの愛するすべての人を、私たちの親しむすべての物を、危機にさらしています。私たちは、この異常をこれ以上許してはなりません。

私たち被爆者は、この苦しみと、生き残るためまた灰の中から自らの人生を立て直すための険しい闘いの中で、この世に終わりをもたらす核兵器について世界に警告しなければならぬと確信しました。

今日9か国は、全都市を燃やし尽くし、地球上の生命を破壊し、この美しい世界を将来世代が暮らしていけないものにすると脅し続けています。核兵器の開発は、国家の偉大さが高まることを表すものではなく、国家が暗黒の淵へと墮落することを表しています。核兵器は必要悪ではなく、絶対悪です。

今年7月7日、世界の圧倒的多数の国々が核兵器禁止条約を投票により採択したとき、私は喜びで感極まりました。かつて人類の最悪のときを目の当たりにした私は、この日、人類の最良のときを目の当たりにしました。私たち被爆者は、72年にわたり、核兵器の禁止を待ち望んできました。これを、核兵器の終わりの始まりにしようではありませんか。

（ピースボート HP 抜粋より）

〈参考資料①〉 ICAN (核兵器廃絶国際キャンペーン) とは

2017年10月6日、ノルウェー・ノーベル委員会は2017年のノーベル平和賞を核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)に授与すると発表しました。授賞理由として「核兵器の使用がもたらす破滅的な人道への結末への注目を集め、核兵器を条約によって禁止するための革新的な努力をしてきたこと」が挙げられています。今年7月の国連における核兵器禁止条約の成立に貢献してきた NGO の連合体である ICAN の活動においては、ピースボートや日本の被爆者らが大きな役割を果たして来ました。

ICAN (核兵器廃絶国際キャンペーン) は、核兵器を禁止し廃絶するために活動する世界の NGO (非政府組織) の連合体です。スイスのジュネーブに国際事務局があり、2017年10月現在、101カ国から468団体が参加しています。

ICAN は、核戦争防止国際医師会議(IPPNW)を母体に2007年、オーストラリアで発足しました。2011年にジュネーブに国際事務所を設置して以来、核兵器の非人道性を訴える諸国政府と協力して核兵器を国際法で禁止するキャンペーンを世界的に展開してきました。

2010年に赤十字国際委員会が核兵器は非人道兵器であると断ずる声明を出したことで、核兵器の非人道性に関する国際的運動が高まりました。

2012年以降、スイスなどによって核兵器の非人道性に関する共同声明が発せられ、ノルウェー、メキシコ、オーストラリアでは核兵器の非人道性に関する国際会議が計3回開かれました。核兵器を法的に禁止するための議論は2015年より本格化し、2016年の国連作業部会そして国連決議によって、条約の交渉開始が決定されました。2017年3～7月にニューヨーク国連本部で条約交渉会議がコスタリカを議長に行われ、7月7日、122カ国の賛成投票により核兵器禁止条約は成立しました。

以上のような過程で、ICAN に集う世界中の NGO がたえず諸政府に働きかけ、国際的な議論と交渉の前進を促してきました。

条約交渉会議の閉幕にあたり、広島市の被爆者サーロー節子さんは「核兵器の終わりの始まり」と演説しましたが、まさに歴史を転換させる画期的な条約といえます。

(ピースボート HP より)

9. 参考

(1) Web サイト

- ・長崎市 HP : 原爆・平和 総合ページ (<https://nagasakipeace.jp/japanese.html>)
- ・広島平和記念資料館 HP (<http://hpmuseum.jp/>)
- ・中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンターHP (<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/index.php>)
- ・長崎大学 核兵器廃絶研究センターHP (<http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/>)
- ・ピースボート HP (<https://peaceboat.org/21213.html>) →ICAN について
- ・高校生平和大使/高校生一万人署名活動 HP (<http://peacefulworld1000.com/heiwataishi>)

(2) 参考図書

- ・『核兵器はなくせる』(川崎哲著 岩波ジュニア新書 2018年) 核兵器禁止条約についてわかりやすく解説。
- ・『核兵器禁止条約を使いこなす』(安斎育郎・村田光弘・木村朗著 かもがわ出版 2018年)
- ・『核兵器禁止条約の意義と課題』(富田浩治 かもがわ出版 2017年)

(5) 現代の課題に迫ってみよう -

⑤ 東日本大震災と原発事故

東日本大震災と原発事故

○はじめに

2011年東北地方太平洋沖地震後に爆発事故を起こした東京電力福島第一原子力発電所からは、大量の放射性物質が撒き散らされた。この事故は1986年のチェルノブイリ原発の事故と同様に国際的な基準で「深刻な事故(最高レベル)」と評価されている。

放出された放射性物質から出る放射線の量は徐々に減っていくが、低レベルであっても、その放射性物質を植物やプランクトンなどが取り込むと、生物濃縮により、食物連鎖の頂点にいる人類にとって危険なレベルに達する危険性もある。食物として、またはホコリとして体内に入って長期間留まると体内被曝を起こす。

使い終わった原子炉を、放射性物質が漏れ出さないよう安全に解体するにも数10年かかり、出てきた廃材も慎重に処理する必要がある。東京電力福島第一原子力発電所は一気に破壊されてしまった。この時にばらまかれた放射性物質は関東地方東部・東北地方南部に広がり、今も人々の生活を脅かしている。原子力発電所は多重の安全装置によって守られているので事故を起こす事は考えられない、という「安全神話」は完全に崩れてしまった。「核の平和利用」であっても「核」と「人類(生物)」は共存できるものではない。

各地で原子力発電所の運転の是非について争われているが、電力会社側も地震などに対して「絶対」安全だとは言わなくなった。今では、原子炉の運転中に大きな地震や噴火が起こるかどうかが主な争点になっている。原発推進派からは原子力技術が廃れる事を心配する声も聞かれるが、その裏には原爆や水爆を製造するための能力を担保し、原料も温存しておきたい、という意思があるのではないかと疑われている。

1. ねらい

私たちの生活において、大きな自然災害に襲われる可能性は無視できない。災害やテロに対して絶対安全と言える物も無い。そんな中で原子力発電所の運転を続けることの危険性に気づかせたい。

2. 対象 中学生

3. 教科・領域/単元 総合的な学習の時間

4. 指導時間 2～4時間程度

5. 準備物 調べ学習ができるPC等、または資料

6. 学習の展開

グループごとに資料を調べ、発表しあって思考を深めていきたい。

学 習 活 動	留 意 点
<p>(1)最近、日本国内ではどんな自然災害があったか思い出してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2018年では西日本豪雨(死者,行方不明者 232人・以下同じ),大阪府北部地震(6人),草津白根山の噴火(1人),異常高温(7月だけで 133人)など。少しさかのぼれば2016年熊本地震(217人),2011年東日本大震災(18,432人),1995年阪神淡路大震災(6,437人)など。 	<p>○最新の事例や資料にあたるようにする。</p>
<p>(2)2011東北地方太平洋沖地震と、原子力発電所の事故についてグループ別に次のようなことを調べ、交流しよう。</p> <p>① 地震と津波のようすを調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2011年3月11日14時46分18秒に発生, Mw9.0, 観測史上最大。災害としては2011東日本大震災という。 ・海上での津波の高さは 8~9m(広島県内の海岸で 0.3m程度), 海岸に近い陸上で 10~15m, 駆け上がった最大標高 40.1m, 浸水した面積 561km²(淡路島の面積とほぼ同じ)。 ・地震と津波での死者 15,897人(満席のマツダスタジアムの観客の半分余り), 重軽傷者 6,157人, 行方不明者 2,533人, 全壊家屋 121,990戸(1世帯1戸とすれば, 呉市の全世帯数よりも多い) (2019年3月8日現在・警察庁)。 	<p>○数字だけあげても実感しにくい。できるだけ身近な地形などにあてはめて説明したい。</p>

② この地震や津波に襲われた東京電力福島第一原子力発電所ではどんな事が起こったのだろうか

- ・ 原子力発電所はどんな発電所や工場よりも安全に造られているという「安全神話」によって、万一の場合の対策が疎かになっていた。
- ・ 原子力発電所は、原子炉を安全に働かせるために外部からの電力供給を必要とするが、地震のために送電線が切れ、電力が途絶えた。地下室に設置していた非常用の発電機は、堤防を越えて流れ込んだ津波によって水没し、使えなくなった。いずれも以前から危険性が指摘されていたことだった。
- ・ 冷却も制御もできなくなった原子炉はメルトダウン(炉心溶解)を起こし、発生した水素の爆発によって大量の放射性物質が吹き上げられた。
- ・ この時撒き散らされた放射性物質の量がチェルノブイリ原発事故の1/7だと過小評価する向きもあるが、国際的には、どちらの事故もレベル7(深刻な事故)とされている。

③ 放射線、放射能、放射性物質について調べよう

- 放射線 …とても大きなエネルギーを持った電磁波や粒子。目には見えない。
- 放射能 …放射線を出す能力。
- 放射性物質 …放射線を出すことができる物質。
- ・放射線が細胞内でエネルギーを放出すると、DNAなどが壊され、細胞が死んだり遺伝情報が狂ったりする。特に、胎児、乳幼児、青少年など細胞分裂の盛んな年代に特に悪影響を与える。生殖細胞が影響を受けると、影響が子孫にも遺伝する。特にヨウ素131はヒトの甲状腺に取り込まれやすく、甲状腺ガンを起こす可能性が高まる。
- ・私たちの身の回りには自然放射線が飛び交っているし、医療の面でも放射線が使われ、検査や治療に役立っている。しかし生物(細胞)にとって放射線はできるだけ浴びない方がよい。特に放射性物質が体内に取り込まれると、その周囲の細胞は放射線を浴び続ける(内部被曝)ことになり、影響が大きい。
- ・放射性物質の原子が崩壊(壊れて別の原子になる)する時に放射線が出る。放射性物質が半分になるまでの期間を「半減期」と言い、物質によって決まっている。半減期ごとに半分になるが、ゼロにはならないことに注意。

- ・視聴覚教材が使えれば効果的。

○地震と津波の両方による被害を受けていることに留意する。

- ・国際原子力事象評価尺度(INES)では、事故のレベルを0～7の8段階で評価している。日本ではレベル4以上の事故だけを「事故」と呼んでいる。それでも、これまでに20件近い「事故」が報告されている。中には、内部告発で明らかになった「事故」もある。
- ・福島第一原発の事故の翌日、経済産業省原子力安全・保安院はレベル4と発表し、1か月後にレベル7と訂正した。
- ・放射線には様々な種類があり、生物などに対する作用も違っている。
- ・同じ線量でも、胎児には大人の数倍の害があるとされている。
- ・放射線による発症には急性のものと晩発のものがある。白血病の発症ピークは被曝後数年、白血病以外の癌(固形癌)の発症ピークは30～40年後。
- ・低レベルの放射線被曝は人体にとって無害だと主張する人たちもいる。しかし、被曝した放射線による害が今までに被曝した放射線量の和に関係しているとする、必要のない放射線は少しでも浴びない方がよいことは当然である。
- ・マスコミなどを通じて「年間20mSv以下の被曝は安全である」と信じ込ませるような表現が繰り返し流された。しかし、この数値は公式にはどこからも発表されていない。どこからか意図的に流されたものであろう。
- ・放射線源から離れれば放射線の影響は急激に弱くなるが、体内被曝の場合は距離がゼロとなる。
- ・半減期の例
ヨウ素 131 約 8日
セシウム 137 約 30年
プルトニウム 239 約 24000年

<p>④ 地震や津波に襲われた地域と、放射性物質がばらまかれた地域を比較すると、その後の人々の生活にどんな違いが出てくるだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・津波では目に見える大きな被害に襲われる。放射性物質による被害は直ちに目に見えるわけでは無いが、広い地域を長期間使えものにならなくする。 ・撒き散らされた放射性物質が風や水流によって運ばれて、人体内に直接入り込むと内部被曝の原因になる。野菜や家畜に取り込まれた後、食物として人体に入る可能性も大きい。 ・放射性物質を大量に浴びた地域では、残してきた家畜やペットの世話をすることもできなかつた。今でも、帰りたいくても帰ることができない人々が大勢いる。 <p>⑤ 今も原子力発電は行われている。発電所から出てくる使用済み核燃料や放射性廃棄物にはどんなものがあり、どのように処理されているのだろうか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放射性廃棄物には使用済みの核燃料(高レベル放射性廃棄物)だけでなく、放射性物質が付着したり、放射線をあびて放射能を持った作業着や機械、工具など(低レベル放射性廃棄物)も含まれる。 ・最終的な処理、保管をする場所が決まらず、各発電所内などに保管されている。「トイレの無いマンション」とも称されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マッサージや灸のように、刺激を与えると元に戻そうとする働きによって悪い症状が消えるという生体の働き(ホメオスタシス)があるから、放射線被曝も体に良い、と言う人もいる。マッサージや灸は細胞の遺伝子を壊すわけでは無いから、放射線被曝と同列に扱うことはできない。 ・放射線副読本(文部科学省)などでは、発がんのリスクを喫煙や大量飲酒と比較している。喫煙や飲酒は自分の責任で将来に向かって避ける事が可能だが、放射線被曝を避ける事は個人の心がけだけでは不可能に近い。 ・検査や治療のための被曝も生体にとって良く無いが、デメリットを上回るメリットが期待される時のみ許される。 ・児童生徒の生活も激変した。 ・避難先での生活が長くなると、元の地域に帰りづらくなる事も多い。 ・原子力発電所は原子爆弾ほどの純度ではないものの大量の放射性物質を扱っている。通常の運転中、外部に強力な放射線が出ることは無いだろう。しかし、使用前後の核燃料や、原子炉近くで放射線を浴びて放射能を持った廃棄物(作業用衣類や機械、工具など)は、いずれ原子炉建屋外で保管することになる。特に問題となっているのが、保管場所さえ確保できず、適切な処理もされないまま溜まり続けている使用済み核燃料である。燃料としては使い終わっているものの、今後数10万年も強力な放射線を出し続ける。
<p>(3) 将来、大きな地震や火山の大噴火が起きる可能性が指摘されている。具体的な例を調べてみよう。それに対して、私たちはどのような備えをしておくといいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震や噴火は自然現象なので止めることはできないが、被害を最小限に抑えるために様々な備えをしておくことができる。 ・原子力発電所などの事故を完全に防ぐことは可能である。 	<p>○原子力発電所は人工的なものであり、それらが無ければ事故の心配も無いことに気づかせたい。</p>

7. 参考図書&DVD

- ・『高校生からわかる原子力』(池上彰 集英社文庫・い-44-10 2017年)
- ・「放射線のホントってほんとう?」 モントリオール KIZUNA Blog
<http://kizunajapon.blog.fc2.com/img/20190304xqZLknpA/>
- ・『核兵器と原発』(鈴木達治郎 講談社現代新書・2458 2017年)
- ・「福島原発事故独立検証委員会 調査・検証報告書」(福島原発事故独立検証委員会 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2012年)
- ・「小学生のための/中学生・高校生のための放射線副読本」(文部科学省 2018年改定)
- ・「警察措置と被害状況」(警察庁 2019年)
<https://www.npa.go.jp/news/other/earthquake2011/pdf/higaijokyo.pdf>
- ・DVD「放射線のホントのこと」(制作:原子力教育を考える会 監修:崎山比早子)

(6) 総合学習としての平和学習

ヒロシマについて調べよう

1. ねらい

私たちが暮らす広島について調べることを通して、被爆の実相を学ぶとともに人々の願いにふれ、ともに平和な世界を築こうとする態度を養う。

2. 対象 小学校4年生

3. 教科・領域/単元 総合的な学習の時間

4. 指導時間 全6時間

5. 準備物 ワークシート/学習ハンドブック/振り返りカード

6. 学習の展開

	学習活動	留意点
第一次	<p>(1)校庭や学区内を見て回り、戦争や原爆に関係のあるものを見つける。</p> <p>(2)見つけたものを学校沿革誌や地域の郷土誌、広島市戦災誌などで調べる。</p> <p>(3)地域におられる被爆体験者の話を聞く。</p> <p>(4)原子爆弾が落とされた時の様子について調べたいことを話し合い、平和公園に行く計画を立てる。</p>	<p>○校庭や学区内に生き残っている被爆樹木や戦災樹木、戦災遺構や被爆遺構などに焦点を当てる。 (戦死墓、記念碑、神社や寺の被爆遺構、被爆建造物、被爆電車、被爆ピアノ、被爆ポンプなど)</p> <p>○学校沿革誌や郷土誌（児童向けに書き下ろす）などをもとに発見したものについてその歴史を知る。</p> <p>○地域の被爆体験者（または証言ビデオ）から具体的な実相を聞くとともに被爆者の思いを受け止める。</p> <p>○平和公園内の碑の見学は、調べたい碑をしぼるようにする。</p>
第二次	<p>(5)原爆資料館を見学する。</p> <p>①広島歴史、原子爆弾による具体的な被害、なぜ投下されたか、核兵器の現状など</p> <p>②被爆展示物の被爆地名をもとに身近な資料があることを知る。</p> <p>③平和公園内・爆心地・原爆ドームを見学する。</p> <p>(例) 慰霊碑→資料館→原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑→旧天神町北組跡→被爆アオギリ→峠三吉碑→原爆の子の像→レストハウス等→爆心地→原爆ドーム ※わかったことをワークシートにメモする。 ※平和を伝える樹木の苗木をもらう。</p>	<p>○広島が軍都であった戦前・戦中や、戦後の広島の様子をつかむ。</p> <p>○被爆資料から具体的な被害（熱線、爆風、放射線）を理解させる。</p> <p>○過去の問題ではなく、現代の問題でもあることをつかませる。</p> <p>○より近い地域の名前を見つけることで、被爆を身近かなこととしてとらえるようにする。</p> <p>○もとは多くの人々が暮らしていた町であり、多くの生徒が作業で動員されていた場所であったことをおさえる。</p> <p>○それぞれの碑にこめられた人々の願いを想像する。</p> <p>○メモは簡潔に記入し、後日詳しくまとめをするようにする。</p> <p>○2種類（「被爆アオギリ二世」・「キョウチクトウ」）から選ぶ。</p>
第三次	<p>(6)調べたことをもとに、グループごとに伝えたいことを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深く知りたいことを資料をもとに更に詳しく調べる。 ・表現方法を選んでグループ内で分担しまとめる。 <p>例：新聞、紙芝居、模型作りなど</p>	<p>○お互いのメモを生かしながらたりないところを確認する。</p> <p>○資料やインターネットなどで詳しく調べる。伝える対象（同級生・下級生・保護者・地域等）を想定し、自分の考えも加えてまとめるようにする。</p>

	<p>(7)調べたことを発表し交流しあう。</p> <p>(8)話し手、聞き手として発表を振り返る。</p>	<p>○同学年交流，異学年交流，平和集会，参観日，公民館の平和展示など実態に応じて場を設定する。</p> <p>○発表内容の意見交流とともに発表の仕方についての相互評価も行う。(振り返りカード)</p> <p>○学習の前とくらべて学習が深まったことを確認するようにする。</p>
--	--	---

7. 発展学習例

- ・「平和を伝える木」の植樹式をしよう（特別活動）。
- ・「平和集会」をしよう（特別活動）。

8. 参考資料

- ・被爆体験証言ビデオ（広島平和記念資料館／国立広島原爆死没者追悼平和祈念館）
- ・「学習ハンドブック」（広島平和記念資料館編）
- ・「平和学習ワークブック」（同）
- ・「平和記念公園碑めぐり」（同）
- ・「ひろしま平和ノート」（広島市教育委員会編）

9. 参考図書

- ・『禎子の千羽鶴』（文：佐々木雅弘 絵：くまおり純 学研 2013年）
- ・『アオギリのねがい』（「被爆アオギリ二世の絵本を作る会」作・画 広島県教育用品株式会社 1996年）
- ・『夾竹桃物語～わすれていてごめんね』（緒方俊平著 朝日新聞出版 2018年）
- ・『伸ちゃんのさんりんしゃ』（文：児玉辰春 絵：おぼまこと 童心社 1992年）
- ・『まっ黒なおべんとう』（文：児玉辰春 絵：北島新平 新日本出版社 1989年）
- ・『走れひばく電車』（文：まさきかずみ 絵：しげとうさちよ ひろしま女性学研究所 2008年）
- ・『原爆詩集』（峠三吉著 岩波文庫 2016年）
- ・『青桐の下で』（広岩近広著 明石書店 1993年）

(7) 特別活動の中で(平和集会をしよう)

1. ねらい 全校で集い、被爆体験の継承の大切さを自覚するとともに、平和な世界を築こうとする態度を養う。
2. 対象 小・中学校全学年
3. 教科・領域 特別活動
4. 指導時間 1時間
5. 準備物 DVD「はだしのゲンが伝えたかったこと」
被爆時計(8時15分と11時2分)の写真、被爆当時の広島市地図
CD「ひろしま被爆ピアノ」/CD「平和のピアノ」
6. 学習の展開

	学習活動	留意点
事前	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <p>平和集会をしよう</p> </div> <p>① 第1回代表委員会で、企画委員会より提案された平和集会の原案について話し合う。</p> <p>○集会のねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子爆弾の悲惨さを伝えて行こう。 ・平和な世界を築く決意を新たにしよう。 <p>○プログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 はじめの言葉 2 折り鶴献納 3 黙祷 4 映画鑑賞「はだしのゲンが伝えたいこと」 5 平和の歌「青い空は」 6 終わりの言葉 <p>○取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとに折り鶴を折る。 ・平和の歌「青い空は」の練習をする。 ・「はだしのゲン」(漫画・絵本)や作者について読んだり調べたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のビデオを参考にして、今年度の集会の原案を作る。 ・被爆体験を継承する主体者であることを自覚するようにする。 ・「平和の鐘」の音を流す。 ・実情に合わせて、他の映画や絵本等の読み聞かせなどに替えてもよい。 ・生徒だけでなく教職員も作製に参加する。 ・音楽専科の協力のもとに、ねらいにそった曲を選ぶ。 ・作者：中沢啓二について大まかなイメージを持たせておく。
本時	<p>《当日》</p> <p style="text-align: center;">— 「平和集会」プログラム —</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. はじめの言葉 2. 折り鶴 献納 クラスごとに折り鶴の束を納める。 3. 黙祷 	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージに、8時15分で止まった広島市の被爆時計の写真(被爆地；二葉の里、山根町、東雲一丁目、比治山町)と11時2分で止まった長崎の被爆時計の写真(長崎市坂本町)を掲示しておく。 ・展示された被爆時計をもとに広島への原子爆弾投下とともに、長崎への原子爆弾投下にも触れながら集会のねらいを共有する。 ・ステージに折り鶴を献納するためのコーナーを設けておく。 ・BGMに被爆ピアノのCDを流す。 ・原爆犠牲者を悼むとともに平和をへの思いをあらたにする。

	<p>4. 映画「はだしのゲンが伝えたいこと」 上映前に、企画委員より、中沢啓二の紹介、被爆地点等の説明をする。</p> <p>5. 全体合唱「青い空は」～全校生徒・教職員</p> <p>6. 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆当時の広島市地図を掲示する。 ・「はだしのゲン」の作者：中沢啓二の被爆体験を学校教材用に構成したDVDを鑑賞する。 ・被爆体験継承の決意と平和の希求を誓いながら心をこめて歌う。 ・被爆体験を継承する主体としての自覚を新たにする。
<p>事後</p>	<p>○代表委員会や企画委員会で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和集会についての感想や課題等をクラスで話し合い、代表委員会でまとめる。 ・折り鶴を平和関連の碑（校内、地域、平和公園の碑など）に献納する。 <p>○クラスや個人で</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和をテーマとした読み物を進んで読む。 ・8.6 広島原爆の日、8.9 長崎原爆の日に、新聞やテレビ等で式典の様子を見る。 ・平和関連行事に進んで参加する。 ・学んだことや感じたことを進んで絵や作文に表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集約したものを学校全体で共有し、次年度の平和集会に生かすようにする。 ・地域内にある平和関連の碑についてあらかじめ調べておく。 ・校外学習で平和公園に行く学年があれば、「原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑」へ折り鶴を託す。 ・文学作品だけでなくノンフィクションや戦争原爆特集記事なども進んで読む。 ・平和を願う思いを共有する。 ・夏休みに催される平和関連行事を紹介しておく。 ・他校や他県の生徒、広島市民など学校外の人々の平和に対する思いを共感する。 ・クラスの中で伝え合う場を設ける。

7. 発展学習例

- ・総合学習：「戦争・被爆体験を聞こう」
- ・総合学習：「平和公園に行って原爆資料館見学や碑めぐりをしよう」
- ・英語科：「原爆詩や平和の歌の歌詞を英訳してみよう」
- ・修学旅行：「長崎の原爆資料館に行こう」、「東京の第五福竜丸展示館に行こう」、「沖縄に行き、沖縄戦や基地について学ぼう」

8. 資料

- ・平和の鐘の音（比治山町の多聞院と本浦町の妙光寺は毎朝8時15分に鐘をつく）

9. 参考

《参考図書》

- ・『流灯～ひろしまの子と母と教師の記録』（原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑建設委員会事務局編・出版1971年）
- ・『ヒロシマのばら』（原田東岷著 未来社 1989年）

《参考Webサイト》

- ・広島平和記念資料館 <http://hpmmuseum.jp/>
- ・長崎原爆資料館 <https://nagasakipeace.jp>

《平和関連事業》

- ・「こどもピースサミット」（6月 広島市教育委員会主催）
- ・「原爆の子の像」碑前祭（7月24日 広島市立幟町中学校生徒会主催）
- ・「被爆建造物写生大会」（7月下旬 広島平和教育研究所主催 広島市教育委員会後援）

- ・「被爆電車に乗って被爆証言を聞く会」（8月4日 同）
- ・「広島市内の戦跡をたどるフィールドワーク」（8月4日 同）
- ・「原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑」慰霊祭（8月4日 碑維持委員会主催）
- ・「親と子のヒロシマ体験学習」（8月3日、4日 広島教育会館主催）
- ・「ひろしま子ども平和の集い」（8月6日 広島市・広島市教育委員会共催）
- ・「ピースメッセージ灯籠流し」（8月6日 灯籠流し実行委員会）
- ・「ヒロシマピースキャンドル」（8月6日 ひろしま点灯虫の会主催）
- ・「子ども達による平和なまち絵画コンテスト」（10月 平和首長会議主催）
- ・公民館主催の平和関連行事 等

《視聴覚教材》

☆CD「ひろしま被爆ピアノ」（演奏：高橋全 購入先サイト：Blue Moon）

被爆ピアノを所有する広島市安佐南区の調律師矢川光則さんと、東京のピアニスト高橋全さん、佐伯区の市民グループが共同制作。4台の被爆ピアノで、クラシック（バッハ、ベートーベン、モーツァルト、シューマン）や童謡、オリジナル曲などを収録。4台は、爆心地より1.8キロメートルから2.0キロメートルの民家や小学校で被ばくしたもの。「春の小川」は、異なるパートを4台の被爆ピアノで演奏したものを合わせて収録されている。

☆CD「平和のピアノ」（ピアノと編曲：阿部篤志 作詞作曲と歌：まほろば遊 購入先：平和のピアノ実行委員会 090-3939-5986）

矢川さんの活動に感銘を受けた作者が、被爆ピアノの音色と歌声で多くの子ども達の未来が平和であるよう願って作詞・作曲した。BGMバージョンとカラオケバージョンも収録。ピアノは、広島市段原山先町、爆心から2.6キロメートルの民家で被ばく。被爆し傷ついたピアノが、命のいとおしさを訴え、再び平和のピアノとして蘇るようすを歌っている。

☆DVD「はだしのゲンが伝えたいこと」（32分）

（2011年制作・発行：シグロ・トモコーポレーション 貸し出し先：広島平和教育研究所）

映画「はだしのゲンが見たヒロシマ」で語られた、中沢啓二さんの被爆体験を学校教材用に新たに構成しました。絵本「はだしのゲン」の色鮮やかな原画を多数収録し、戦争や原爆の恐ろしさと同時に、命の大切さやかけがえのない家族への思いを伝えます。中沢さんが渾身の力を込めて、子どもたちへ贈る永遠の平和へのメッセージです（解説より）。

【平和的感性と育む歌】

平和集会で歌う歌については、P.92の「平和教材としての楽曲」のA「直接的平和教材(歌曲)」も参照してください。

尚、それらの曲の他に、以下の表にある歌も、平和集会や特別活動等の場面において、平和的感性を育む歌として参考なるものと思われます。

平和集会や特別活動等の場面で			
	曲名	作詞：作曲	解説・内容
1	ビリーブ	作詞：杉本竜一 作曲：杉本竜一	1998年、NHK番組「生き物地球紀行」エンディングテーマ曲として発表。合唱曲として広まり学校行事でよく歌われる。友を支え励ます温かい友情に満ちた歌。
2	青空、この街	作詞：二本松はじめ 作曲：二本松はじめ	音楽構成「わたしのいのちを」の中の一節。①ヒロシマのそらに ②太陽が落ちた ③やけあとで ④無題 ⑤やがて大気となって ⑥青空この街で構成。ヒロシマ・ナガサキの惨禍を忘れず平和を希求する歌。
3	世界がひとつになるまで	作詞：松井五郎 作曲：馬飼野康二	世界がひとつになるまで、未来に向かって夢に向かって、ずっと手をつないでいようと呼びかける歌。（手話付き）

4	世界中の子どもたちが	作詞：新沢としひこ 作曲：中川ひろたか	世界中の子どもたちの笑いで、泣き、歌う。夢、声、花で世界に虹をかけようという元気で活活な歌。
5	地球に乾杯！	作詞：山村もも 作曲：大田桜子	わたしたち一人ひとりが地球を思いやり、みんなで平和な世界を作っていこうという願いを込めた歌。
6	世界の子どものマーチ	作詞：人見敬子 作曲：西澤健治	世界中の子どもたちが手をつなぎ、輪になり、目を輝かせながら微笑んでいる。そんな情景を思い描き作った歌。
7	パーム・パーム	作詞：美鈴こゆき 作曲：美鈴こゆき	手をつなぐと寂しさや悲しみが喜びに変わる。友と繋がることの大切さを歌う歌。パームとは、手のひらのこと。
8	ぼくらの地球	作詞：小野山千鶴 作曲：磯村由紀子	「地球を守ろう」という思いを歌にのせ、未来へつないでいこう、そんな思いをこめた歌。音楽教科書の副教材集（教育芸術社）に掲載。
9	MUSIC	作詞：弓削田健介 作曲：弓削田健介	生きる喜び、素敵な未来や平和は、歌うこと、奏でることによって伝わり叶えられると音楽「MUSIC」に願いを託す歌。
10	消えた8月	作詞：栄谷温子 作曲：黒沢吉徳	劫火の中で一瞬で絵や石像のようになった僕や君を、ひまわりや銀河と対比し、原爆の残忍さを強く訴える歌。
教科を超えた総合的な取り組みとして			
11	合唱構成「ぞうれっしやよはしれ」	原作：小出隆司 作詞：清水則雄 作曲：藤村記一郎	実話のもとになっている同名の絵本の合唱構成。戦争中、動物園の象達が殺された中、像を守った東山動物園。「象列車」に乗り、象に会いに行く歌は子ども達の共感を呼ぶ。
12	児童合唱組曲「ちいちゃんのかげおくり」	構成：江藤康子 作詞：江藤康子 作曲：高山 惇	小学校3年国語教科書（光村図書）掲載のあまんきみこ作「ちいちゃんのかげおくり」の合唱構成。空襲で家族と離れ離れになった幼い女の子が、弱った体で立ち上がり、かつて家族と楽しんだかげおくり遊びをしながら一人で死んでいく物語の歌。
13	さとうきび畑	作詞：寺島尚彦 作曲：寺島尚彦	さとうきび畑で、沖縄戦で死んだ父を慕い、深い悲しみを切々と訴える歌。米軍上陸地読谷村さとうきび畑の一角に歌碑がある。
14	木琴	作詞：金井 直 作曲：岩河三郎	詩は東京大空襲時の実話のもとで、中学校1年国語教科書に掲載（光村図書）。木琴とともに妹の命が戦争で奪われたことに対する怒りと悲しみを静かに訴える歌。
15	HEIWAの鐘	作詞：中里幸弘 作曲：中里幸弘	2000年開催の九州・沖縄サミットで紹介。高校の音楽教科書（教育芸術社）にも掲載。武器を持たぬことを伝えた先人から学び平和を訴える歌。
16	イマジン	作詞：ジョン・レノン & ヨコ・オノ 作曲：ジョン・レノン	国境、宗教、所有欲などによる対立のない平和な世界を想像しようと呼びかける歌。中学校3年英語教科書（三省堂）や高校音楽教科書（教育芸術社）に掲載。
実践の中から生まれた歌			
17	大久野島の歌	作詞：竹原市立忠海西小学校児童 作曲：中村京子	教え子達が、祖父母から大久野島の毒ガス作りの体験を聞き取ったものに曲をつけたもの。大久野島の出来事は忘れまい、そして世界中に戦争反対を訴える歌。
18	やなぎさん	作詞：広島市立仁保小学校1年生 作曲：宮本晃菜	平和学習の一環として生まれた歌。校庭に戦前から立っているヤナギの木、傷ついた被爆者を癒したその木が、枯れそうになったため、木のお世話を始めた子ども達と担任が作ったヤナギの木を励ます歌。
19	ねがい	作詞：広島市立大洲中学校3年生有志 編詩：山ノ木竹志 作曲：高田りゅうじ	大洲中学校2001年度3年生有志による「平和宣言」に曲をつけ2002年に発表。元は4番までの歌だが、「みんなで5番を作ろう」という呼びかけに、世界中から参加があり、2010年で2000番に達している。

(8) 修学旅行で平和学習を

1. ねらい

修学旅行でしか実際に見聞できない戦争や原爆に関する史跡や資料を、児童・生徒の自主的な活動の中で見聞し、戦争の悲惨さや不合理さを学ぶとともに、今後、平和な社会をつくるために何をすべきなのか考える機会とする。

2. 対象 中学生

3. 教科・領域／単元 総合的な学習の時間・学校行事

4. 指導時間 1時間（第1時）

※第2時以降の授業数は不定

5. 準備物 東京の観光ガイド／地図／「東京修学旅行ハンドブック」／各資料館パンフレットなど

6. 学習の展開

学習活動	留意点
<p>(1) 東京班別自主研修で、これまでの学習をさらに深めたり広げたりするために、学習・活動をするテーマを決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和 ・歴史 ・科学と環境, 防災 ・経済 ・交通 ・文化やスポーツ <p>※6テーマの場合</p> <p>(2) 学習するテーマ（平和）をもとに、見学する場所を決めよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和資料館…東京大空襲戦災資料センター（江東区）、平和祈念展示資料館（新宿）、わだつみの声記念館（本郷）、第五福竜丸展示館（新木場） ・平和に関する史跡…横網公園・復興記念館（両国） <p>(3) 事前の調べ学習の方法と分担を話し合っ決めてよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献…図書室, 図書館 ・インターネット…パソコン室 <p>(4) 調べ学習をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和資料館…展示内容（特別展も含めて）、入館料 など ・史跡…歴史や事実 ・交通手段や料金…一日の行程 <p>[テーマを平和に絞ったコース例] 東京駅スタート→江戸東京博物館（両国）→第五福竜丸展示館（新木場）→わだつみの声記念館（本郷）→平和祈念展示資料館（新宿）</p> <p>[地域別コースに平和を入れるコース例] ・スカイツリーコース→第五福竜丸展示館（新木場） ・上野コース→わだつみの声記念館（本郷） ・新宿コース→平和祈念展示資料館（新宿）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○テーマの実地見聞に重きを置かせる指導をする。 ○戦争に関する資料館や史跡などを事前に調べて生徒の選択肢に入れておく。 ○戦争に関するテーマを学習・活動の対象になるよう指導する。 ○事前学習で資料館の展示内容やその意義をしっかりと理解させてから見学に行かせる。 ○平和だけの研修コースの設定は難しいので、地域別コースの中うまく組み込ませる。

※修学旅行の行き先・コースは、旅行業者任せにせず、子どもたちに何を伝えたいか、何を学ばせたいかを考えて決めましょう。

7. 発展学習例

① 平和について調べたこと・現地で見学したことをまとめてプレゼンテーションを作成する。

[例]「東京大空襲について」：東京大空襲戦災資料センター〔江東区〕の見学内容を発表する。

「第五福竜丸について」：アメリカの水爆実験によるビキニ環礁での被ばくについて調べたことを発表する。

② 6年生社会科の歴史や特別活動のうち文化祭・生徒会活動など、他の教科・領域との関連づけを図る。

8. 他の修学旅行先の場合

[関西]

- ・京都…立命館大学平和ミュージアム（洛北）
- ・大阪…ピースおおさか（森ノ宮）、フェニックスミュージアム（堺）
- ・兵庫…姫路平和資料館、西宮市平和資料館

[長崎]

- ・長崎…爆心地公園，山王神社，浦上天主堂，平和公園・原爆資料館，原爆死没者追悼平和祈念館，旧長崎医科大学正門，如己堂（永井隆記念館），ナガサキピースミュージアム，岡まさはる記念・長崎平和資料館

[鹿児島]

- ・知覧…知覧特攻平和会館
 - ・鹿屋…鹿屋航空基地資料館
 - ・南さつま…万世特攻平和祈念館
- ※戦争を肯定するような意味の展示になっている場合もあるので，その点は事前に配慮の上，見学先を決定する。

[沖縄]

- ・南部戦跡…沖縄県平和祈念資料館・摩文仁の丘・「平和の礎」，ひめゆり平和祈念資料館，南風原文化センター，アブチラガマ（糸数壕）などのガマ
- ・那覇とその周辺…首里城，旧海軍司令部壕，対馬丸記念館，沖縄県立博物館
- ・米軍基地・関連施設…嘉手納基地，安保の見える丘（嘉手納町）
- ・宜野湾市…佐喜真美術館
- ・読谷村…チビチリガマ（現在は入壕が禁止されている）
- ・伊江島…反戦平和資料館（ヌチドゥタカラの家）

※資料館の展示内容については，それぞれの館ごとに調べるとよい。

※他の県・地方にも平和について学習できる資料館などの施設や戦跡は数多く存在するが，修学旅行先としての検討はまだ進んでいない。

9. 参考図書

- ・「ながさきへの旅（平和読本）」（長崎証言の会）
 - ・『ガイドブックながさき（原爆遺跡と戦跡をめぐる）』（長崎平和研究所編 新日本出版）
 - ・『平和学習に役立つ戦跡ガイド② ナガサキ』（平和学習に役立つ戦跡ガイド編集委員会編 汐文社）
- ※上記3点は，長崎平和推進協会（HP：<https://www.peace-wing-n.or.jp/>）から入手できる。また，平和案内人を依頼することもできる。
- ・『新沖縄修学旅行案内』（梅田正己・松元剛・目崎茂和著 高文研 2013年）
 - ・「東京修学旅行ハンドブック 学び・調べ・考えよう」（東京都歴史教育者協議会 平和文化 2001年）

5. 参加してみよう

平和学習を進めていくためには、指導者自身が学習して戦争や原爆の認識を深めていくことが大切です。諸団体が学習会や講演会などを行っており、積極的に参加してみましょう。

広島平和教育研究所は、毎年7月～8月に「ヒロシマ平和体験学習」を実施しています。各学校への案内やホームページに日時や内容をお知らせしています。被爆電車に乗って被爆体験を聞いたり、戦跡をめぐるフィールドワークに参加してみませんか。

① ヒロシマ体験平和学習

ア 被爆建造物写生大会（毎年7月末実施）

講師から被爆体験を聞いた後、平和公園周辺にある被爆建造物を写生します。

イ 被爆電車に乗り被爆体験を聞く会（毎年8月4日実施）

被爆電車に乗り、電車内で被爆者から被爆当時の話を聞きながら市内をめぐる。

ウ 広島の戦跡をめぐるフィールドワーク（毎年8月4日実施）

広島市内にある戦争・原爆遺跡を講師の案内でバスでめぐります。軍都広島について知ることもできます。

《問い合わせ先》広島平和教育研究所（広平研） <http://www.hipe.jp/>

TEL. 082-264-1751/FAX. 082-264-1757

② 戦争・被爆体験を聞こう

ア 戦争・被爆体験を聞く会（広平研） 9月と2月に開催 ※問い合わせ先：上記に連絡先あり。

イ 被爆体験講話

○広島平和教育研究所（広平研） ※問い合わせ先：上記に連絡先あり

○広島平和記念資料館 TEL. 082-541-5544 HP ; <http://hpmuseum.jp>

○広島県原爆被害者団体協議会（被団協） TEL:082-241-7226/FAX:082-241-6700

③ 戦争追体験の旅に参加してみよう

○日本の加害をたどる旅～マレーシア・シンガポール（8月）

日本軍（歩兵第十一連隊など）による華人虐殺の追悼碑を訪れ、戦争体験者から証言を聞いたりします。

※5月上旬、日程・コース等が発表されるようです。

《問い合わせ先》アジア・フォーラム横浜 HP (<https://asiafyukohama.jimdofree.com>)

④ 戦没者原爆死没者追悼式&「平和のつどい」

広島市以外でも県内各地で市・町主催の戦没者原爆死没者追悼式や「平和のつどい」が開催されています。

○戦没者原爆死没者追悼式・平和祈念式典（市・町主催）

・三原市…戦没者原爆死没者追悼式・平和祈念式典（8月）

・大竹市…原爆死没者追悼・平和祈念式典（8月6日）

・福山市…原爆・福山戦災死没者慰霊式（8月8日）

・東広島市…原爆死没者慰霊式（8月）

・神石高原町…原爆死没者慰霊祭（3年に一度10月に実施。前回2018年に実施）

○「平和のつどい」（市主催）

・福山市…市民平和のつどい・市民平和大会（8月8日）

・三次市…三次市平和祈念事業「平和のつどいMIYOSHI」（8月第1土曜日）

※これ以外に各市町の被爆者団体が主催する原爆死没者慰霊祭（追悼式）が実施されていますが、学校関係者（教職員・生徒）が参列できるかどうかは被爆者団体に確認する必要があります。

※追悼式・「平和のつどい」の開催日時・場所は、各市町の役所（支所）に問い合わせして下さい。

⑤ 原水爆禁止世界大会（毎年8月上旬開催） 主催：原水爆禁止日本国民会議

- 1日目 平和行進～開催総会（全体会）
- 2日目 分科会（核軍縮，原子力問題，フィールドワークなどの），子どもの広場（碑めぐり，灯ろうづくりなど）
- 3日目 まとめ集会

《問い合わせ先》広島平和教育研究所（P. 81 に連絡先あり）

6. くわしく知ろう

(1) 資料館に行ってみよう

資料館には，戦争や原爆に関する貴重な資料が展示してあります。現物資料や説明を見ることで，戦争や原爆をよりリアルに捉えることができます。県内にある資料館に足を運んでみましょう。また，県外や海外に出かける機会があれば，その地域にある資料館にも寄ってみましょう（(2) の平和博物館を参照）。

- ① 広島平和記念資料館（広島市） <http://hpmmuseum.jp/>
- ② 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館（広島市） <https://www.hiro-tsuitokinenkan.go.jp/index.php>
- ③ 大久野島毒ガス資料館（竹原市） <http://www.city.takehara.lg.jp/machitukuri/dokugasusiryokan.html>
- ④ 福山市人権平和資料館（福山市） <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/jinkenheiwa/>
- ⑤ ホロコースト記念館（福山市） <http://www.urban.ne.jp/home/hec-jpn/>
- ⑥ 三良坂平和美術館（三次市） <https://www.mirasaka-heiwa.jp/>

(2) 平和博物館リスト及び平和に関するホームページ

- 広島平和教育研究所 <http://www.hipe.jp/>
- 広島市立大学広島平和研究所 https://www.hiroshima-cu.ac.jp/peace_j/
- 中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター <http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?lang=ja>
- 長崎大学核兵器廃絶研究センター <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/>
- 声 語りつぐ戦争：朝日デジタル <https://www.asahi.com/special/koe-senso/>
- 原水爆禁止日本国民会議（原水禁） <http://www.peace-forum.com/gensuikin/>
- 平和博物館（日本） ※広島県関係は，(1) を参照。
 - ・長崎原爆資料館（長崎市） <https://nagasakipeace.jp/japanese.html>
 - ・国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館（長崎市） <https://www.peace-nagasaki.go.jp/>
 - ・岡まさはる記念・長崎平和資料館（長崎市） <https://www.okakinen.jp/>
 - ・沖縄県平和祈念資料館（沖縄県糸満市） <http://www.peace-museum.pref.okinawa.jp/>
 - ・ひめゆり平和祈念資料館（沖縄県糸満市） <http://www.himeyuri.or.jp/Jp/top.html>
 - ・佐喜真美術館（沖縄県宜野湾市） <http://sakima.jp/>
 - ・わびあいの里「ヌチドゥタカラの家」（沖縄県伊江島） <http://wabiai.holy.jp/>
 - ・対馬丸記念館（那覇市） <http://www.tsushimamaru.or.jp>
 - ・都立第五福竜丸展示館（東京都江東区） <http://d5f.org/>
 - ・東京大空襲・戦災資料センター（東京都江東区） <http://www.tokyo-sensai.net/>
 - ・わだつみのこえ記念館（東京都文京区） <http://www.wadatsuminokoe.org/>

- ・在日韓人歴史資料館（東京都港区） <http://www.j-koreans.org/index.html>
- ・女性たちの戦争と平和資料館（東京都新宿区） <https://wam-peace.org/>
— 戦時性暴力、「慰安婦」問題の被害と加害を伝える日本初の資料館
- ・原爆の凶丸木美術館（埼玉県東松山市） <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>
- ・戦没画学生慰霊美術館「無言館」（長野県上田市） <http://mugonkan.jp/>
- ・杉原千畝記念館（岐阜県八百津町） <http://www.sugihara-museum.jp/>
- ・立命館国際平和ミュージアム（京都市） <http://www.ritsume.ac.jp/mng/er/wp-museum/>
- ・舞鶴引揚記念館（京都府舞鶴市） <http://m-hikiage-museum.jp/>
- ・大阪国際平和センター「ピースおおさか」（大阪市） <http://www.peace-osaka.or.jp/>
- ・堺市立平和と人権資料館（大阪府堺市）
<http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/jinken/jinken/heiwa-jinkenshiryokan/index.html>
- ・回天記念館（山口県周南市） <http://www.city.shunan.lg.jp/site/kaiten/14486.html>
- ・平和資料館・草の家（高知市） <http://ha1.seikyuu.ne.jp/home/Shigeo.Nishimori/>
- ・知覧特攻平和会館（鹿児島県知覧市） <http://www.chiran-tokkou.jp/>

○平和博物館（外国）

〈韓国〉

- ・独立記念館（天安市） <http://global.i815.or.kr/jp/>
- ・植民地歴史博物館（ソウル市） <http://minjokjp.cafe24.com/?cat=6>
- ・安重根義士記念館（ソウル市） <http://www.ahnjunggeun.or.kr/index.html>
- ・戦争と女性人権博物館（ソウル市） <http://www.womenandwarmuseum.net/>
- ・原子爆弾被害者資料館（慶尚南道・陝川） 慶尚南道陝川郡陝川邑盈倉里 443-4
- ・国立日帝強制動員歴史館（釜山市） <http://museum.ilje.or.kr/jap/Main.do>

〈中国〉

- ・侵華日軍南京大虐殺遭難同胞記念館（南京市） <http://www.nj1937.org>
- ・中国人民抗日戦争記念館（北京市丰台区・盧溝橋） <http://www.1937china.org.cn>
- ・九・一八事変博物館（遼寧省瀋陽市） <http://www.918museum.org.cn>
- ・侵華日軍第七三一部隊罪証陳列館（黒竜江省ハルビン市） <http://www.731museum.org.cn>
- ・東北烈士記念館（ハルビン市）
- ・平頂山惨案遺蹟記念館（遼寧省撫順市）
- ・撫順戦犯管理所（撫順市）

〈シンガポール〉

- ・旧フォード工場（1942年2月15日に英国軍が旧日本軍に降伏した場所）
シンガポール国家公文書館による第二次世界大戦の展示がされ、イギリスの降伏と日本の占領のできごとを紹介した戦争博物館。
https://www.visitsingapore.com/ja_jp/see-do-singapore/history/history-museums/former-ford-factory/
- ・チャンギ博物館
http://www.visitsingapore.com/ja_jp/see-do-singapore/history/history-museums/changi-museum/

〈タイ〉

- ・泰緬鉄道博物館（カンチャナブリ） <http://www.tbrconline.com/>

〈米国〉

- ・USS アリゾナ記念館（ハワイ） <http://jp.pearlharborhistoricsites.org/>

〈ヨーロッパ〉

- ・アウシュヴィッツ・ビルケナウ博物館（ポーランド） <http://auschwitz.org/en/>

※事前に休館日、改修工事（リニューアル）の期間等を確認して行きましょう。

(3) 平和に関する図書・視聴覚教材リスト

○「平和に関する図書」

	低学年・中学年			高学年・中学生		
	作品名	作者名	出版社名	作品名	作者名	出版社名
戦争とはなにか	へいゆってどんなこと	浜田桂子	童心社	木かげの家の小人たち	いぬいとみこ	福音館書店
	ぼくがラーメン食べてるとき	長谷川義史	教育画劇	あたらしい戦争ってなんだろう？	山中恒・山中典子	理論社
	一つの花	今西祐行	ポプラ社	月と星の首飾り	立原えりか	講談社
	100ばんめのさる	ケーン・キース・ジュニア	国土社	今 イラクで起きていること	平田伊都子	汐文社
	なぜ あらそうの？	ニコライ・ポポフ	BL出版	機関銃要塞の少年たち	ロバート・ウェストール	評論社
	せんそう	エリック・バトウー	ぼるぷ出版	おとなはなぜ戦争するの？	子どもの声を聞く児童文学者の会	新日本出版社
	いりまめ	生涯寿美子	童心社	アンネの日記	アンネ・フランク	文春文庫
	ハコちゃん	今西祐行	実業之日本社	北の逃亡者	たかしよいち	理論社
	マリアンナとパルージャ	東 ちづる	主婦と生活社	きけわだつみの声	戦没学生手記	岩波文庫
	みどりのゆび	M・ドリュホン	岩波書店	花吹雪のごとく	竹崎有斐	福音館書店
	風が吹くとき	レイモンド・ブリッグズ	あすなる書房	ちちへの四つの質問	ホルスト・ブリガー	偕成社
			父さんはどうしてヒトラーに投票したの？	ディディエ・デニクス	解放出版社	
占領と侵略	たみちゃんの長い夜	福山支区平和教育部会	広島平和教育研究所	いっぱいの水	坪田理基男	小峰書店
	陳さんといちょう	交流をすすめる会	広島平和教育研究所	ぼくの満州—漫画家たちの敗戦体験記	ちばてつや	亜紀書房
	ひでちゃんとよばないで	おぼまこと	小峰書店	孫に語り伝える満州	坂本龍彦	岩波ジュニア新書
	かむさはむにだ	村中季依	偕成社	消えた国旗	斉藤尚子	岩崎書店
	キムの十字架	和田 登	ぼるぷ出版	ハルビンの空	河野文江	オンタイムズ
	えっちゃんのせんそう	岸川悦子	文溪堂	お星さまのレーン	小林千登勢	金の星社
				はるかな鐘の音	堀内純子	講談社
戦時下のくらし	えんぴつびな	長崎源之助	金の星社	兄貴	今江祥智	理論社
	ぼくは弟とあるいた	小林豊	岩崎書店	大人になれなかった弟たち	米倉斉加年	理論社
	ななしのごんべさん	田島征彦・吉村敬子	童心社	ガラスの花嫁さん	長崎源之助	偕成社
	おかあさんの木	大川悦生	ポプラ社	少年H（上・下）	妹尾河童	講談社文庫
	せんせい	岸川悦子	佼成出版社	地図にない島へ	武田英子	農文協
	ぐみ色の涙	最上一平	新日本出版社	ガラスのうさぎ	高木敏子	金の星社
	ペドロの作文	アントニオ・スカルメタ	アリス館	優しさと強さと	早乙女勝元	小学館
	おばあさんのとっくり	砂田弘	岩崎書店	あの戦争の中にぼくもいた	石浜みかる	国土社
	戦火の中の子どもたち	岩崎ちひろ	岩崎書店	詩集：私が一番きれいだったとき	茨木のり子	岩崎書店

	低学年・中学年			高学年・中学生		
	作品名	作者名	出版社名	作品名	作者名	出版社名
				二十四の瞳	坪井栄	光文社
			この世界の片隅に (全3巻)	こうの史代	アクションコミックス	
空襲	後ろの正面だあれ	海老名香世子	金の星社	明日が来なかった子どもたち	鶴文乃	サンパウロ
	おぼけ煙突の歌	早乙女勝元	理論社	東京大空襲	早乙女勝元	岩波ジュニア新書
	東京大空襲物語	早乙女勝元	金の星社	ほりよをみた日	稲垣昌子	理論社
	すずかけ通り三丁目	あまんきみこ	ポプラ社	ムッチャン	中尾町子	山口書店
	兄ちゃんのいた夏	今江祥智	理論社			
	猫は生きている	早乙女勝元	理論社			
	ほのおの夜	今江祥智	理論社			
	火垂るの墓	野坂昭如	新潮社			
焼けあとのちかい	半藤一利	大月書店				
学童疎開	大もりいっちょう	長崎源之助	偕成社	神がくしの八月	さねとうあきら	偕成社
	ゲンのいた谷	長崎源之助	実業之日本社	谷間の底から	柴田道子	岩波書店
	夜のかげぼうし	宮川ひろ	講談社	字のないはがき	向田邦子	小学館
	十六地蔵物語―戦争で犠牲になった子どもたち	原田一美	文研出版	ボクちゃんの戦場	奥田継夫	理論社
				れくいえむ	郷静子	文春文庫
動物たち	かわいそうなぞう	つちやゆきお	金の星社	あのこ	今江祥智	理論社
	チロヌップのきつね	たかはしひろゆき	金の星社	マヤの一生	椋 鳩十	大日本図書
	ゆみことつばめのおはか	今西祐行	偕成社			
	サーカスのぞう	鶴見正夫	金の星社			
	さよならカバくん	早乙女勝元	金の星社			
	ぼうさまになったカラス	松谷みよ子	偕成社			
	そしてトンキーもしんだ	たなべまもる	国土社			
幼い命	赤ずきんちゃん	岩崎京子	国土社	十日間のお客	川口志保子	小峰書店
	ちいちゃんのかげおくり	あまんきみこ	あかね書房	森の中の魚	前川康男	フレーベル館
	えっちゃんのせんそう	岸川悦子	文溪社	大人になれなかった弟たちに	米倉斉加年	偕成社
戦場・軍隊	生きていた兵隊	松谷みよ子	国土社	蒼い記憶	まさきまき	草土文化
	ころりんすつとんとん	小林純一	童心社	神風特攻隊の攻撃	高木俊朗	偕成社
	にげだした兵隊	竹崎有斐	岩崎書店	すみれ島	今西祐行	偕成社
	兵隊さんのくつ	宮本泰子	講談社	石垣りん詩集：～「崖」「挨拶」	石垣りん	岩波文庫
	焼けあとの白鳥	長崎源之助	大日本図書	戦火と死の島に生きる	菅野静子	偕成社
	二十号室の主人	斉藤了一	理論社	インパール	高木俊朗	文芸春秋社
			海の城	渡辺清	朝日新聞社	

沖繩戦	低学年・中学年			高学年・中学生		
	作品名	作者名	出版社名	作品名	作者名	出版社名
	おきなわ 島のこえ	丸木俊・位里	小峰書店	かんからさんしん物語	嶋津与志	理論社
	ぼくとガジュマル	下嶋哲朗	童心社	ひめゆりの少女十六歳の戦場	宮城喜久子	高文研
	白旗の少女	比嘉富子	講談社	ちむどんとんー沖繩戦ー母から命へ	金城明美	那覇出版社
	昭南丸と沖繩の少年たち	宮良 作	草土文化	光と風と雲の樹と	今西祐行	偕成社
	水筒	新里堅進	新潮社	南風の吹く日	下嶋哲朗	童心社
	そてつ祭り	下嶋哲朗	理論社	ヨーンの道	下嶋哲朗	理論社
	対馬丸	大城立裕	理論社	波照間からの旅立ち	赤座憲久	小峰書店
	とべぼくの鳩よ	下嶋哲朗	金の星社	さとうきび畑の唄	遊川和彦	汐文社
	わかれのけむり	下嶋哲朗	新日本出版社	白旗の少女	比嘉富子	講談社
	忘れな石	宮良 作	草の根出版会	りゅうこの白い旗	新川 明	築地書店
				野坂昭如戦争童話集沖繩編ウミガメと少年	野坂昭如	講談社
原爆	アオギリのねがい	絵本をつくる会	広島平和教育研究所	あるハンノキの話	今西祐行	実業之日本社
	青葉学園物語	吉本直志郎	ポプラ社	石うすのうた	壺井栄	岩崎書店
	おこりじぞう	山口勇子	金の星社	いしぶみ	広島テレビ	ポプラ社
	とうろうながし	丸木俊・位里	偕成社	川とノリオ	いぬいとみこ	理論社
	トビウオのぼうやはびょうきです	いぬいとみこ	金の星社	木はいきかえった	大川悦生	新日本出版社
	二年二組はヒヨコのクラス	山下多美子	理論社	ヒロシマのうた	今西祐行	岩崎書店
	ヒロシマのエノキ	長崎源之助	童心社	原爆詩集	峠三吉	合同出版
	まちゃんと	松谷みよ子	偕成社	うましめんかな	栗原貞子	詩集刊行の会
	わたしのヒロシマ	森本順子	金の星社	八月の少女たち	大野充子	新日本出版社
	折り鶴の子どもたち	那須正幹	PHP研究所	黒い雨	井伏鱒二	新潮文庫
	北の天使南の天使	吉本直志郎	ポプラ社	夏の花	原 民喜	新潮文庫
	金魚がきえた	吉野和子	汐文社	原爆の子	長田 新	岩波書店
	げんさん	大野充子	あすなろ書房	少年のヒロシマ	四国五郎	新日本出版社
	さだ子と千羽づる	シャンテ	アトリエ	白い町ヒロシマ	木村靖子	汐文社
	つるのとぶ日	大野充子	講談社	碑 (いしぶみ)	広島テレビ	ポプラ社
	伸ちゃんのさんりんしゃ	児玉辰春	童心社	ヒロシマ語り部の歌	大野充子	汐文社
	とうちゃんの涙	下村仁一	汐文社	スカーフは青だ	山口勇子	金の星社
	絵本はだしのゲン	中沢啓治	汐文社	天に焼かれる	金崎 是	新日本出版社
	8月がくるたびに	おおえひで	理論社	ヒロシマの少女	大野充子	岩崎書店
	ピカドン	丸木俊・位里	小峰書店	広島長崎からの伝言	大川悦生	汐文社
ヒロシマのうた	今西祐行	岩崎書店	ふたりのイーダ	松谷みよ子	岩崎書店	

	低学年・中学年			高学年・中学生		
	作品名	作者名	出版社名	作品名	作者名	出版社名
原爆	まっ黒なおべんとう	児玉辰春	新日本出版社	ぼくは生きたかった	名越謙蔵・操	講談社
	ミヨちゃんの笛	白井史朗	汐文社	ヒロシマのうた	今西祐行	ひくまの出版
	よっちゃんのビー玉	児玉辰春	新日本出版社	ことりになったエノキ	白木恵委子	新日本出版社
	かあさんのうた	大野充子	ポプラ社	この世界の片隅に	こうの史代	双葉社
	ドームがたり	アーサー・ビーナード	玉川大学出版社	夕凧の街桜の国	こうの史代	双葉社
	海をわたった折り鶴	石倉欣二	小峰書店	赤い背中 谷口さんの原爆	証言 谷口稜暉	長崎文献社
	わたしのヒロシマ	森本順子	金の星社	さがしています	アーサー・ビーナード	玉川大学出版部
	平和のたからもの大きく育て、被爆くすの木の子どもたち!	寺田志桜里	くもん出版	折り鶴の子どもたち原爆症とたたかった佐々木禎子と級友たち	那須正幹	PHP研究所
	もえたじゃがいも	入野忠芳	汐文社	8時15分広島で生きぬいて許す心	美甘章子	講談社エディトリアル
	むかえじぞう	吉本直志郎	ポプラ社	被爆電車75年の旅	小野塚謙太	ザメディアジョン
	アサガオ	むらはしこまち	らくだ出版	ある晴れた夏の朝	小出鞠るい	偕成社
	貝の鈴	山口勇子	大日本図書	詩画集小さな祈り	吉永小百合	汐文社
	小さな赤いてぶくろ	西野綾子	ひくまの出版	第二楽章ヒロシマの風長崎から	吉永小百合	徳間書店
	紙芝居「ちっちいこえ」 (丸木俊・位里の原爆の図より)	アーサー・ビナード	童心社	絵で読む広島 の原爆	那須正幹	福音館書店
戦争の傷跡	アンナの赤いオーバー	H・ジーフェルト	評論社	写真詩集たった一発の爆弾でヒロシマ20万人ナガサキ10万人が死んだ 語りつぐ戦争体験	労働教育センター編集部編 日本児童文学者協会	労働教育センター 草土文化
	7本の焼けイチョウ	日野多香子	くもん出版	地平線までのうずまき	杉みき子	理論社
	炎の中からぼくを呼ぶ	中野幸隆	文研出版	ライヤンツリー のうた	たかしよいち	理論社
				お星様のレール	小林千登勢	金の星社
				長い冬の物語	鶴見正夫	あかね書房
				八月の最終列車	古世古和子	新日本出版社
戦争と平和の時代	とうろうながし	松谷みよ子	偕成社	石のなかから	栗原貞子	詩集刊行の会
	わすれないで(第五福竜丸ものがたり)	赤坂三好	金の星社	あの空にも悲しみが	李 潤福	小峰書店
	おかあさんの紙びな	長崎源之助	岩崎書店	流れる星は生きている	藤原てい	中公文庫
	パパママバイバイ	早乙女勝元	草土文化	はた	栗原貞子	詩集刊行の会
	すべての子どもたちのために一子どもの権利条約	キャロライン・キャッスル	ほるぷ出版	ヒロシマ・アウシュビッツをわすれまい	栗原貞子	詩集刊行の会

戦争と平和の時代	低学年・中学年			高学年・中学生		
	作品名	作者名	出版社名	作品名	作者名	出版社名
	村いちばんのさくら らの木	栗栖良夫	岩崎書店	二つの悲しみ 復員手記	杉山竜丸	光村図書：中3 国語（2006～ 2011年）
	おにいちゃん死んじ ゃったーイラクの子 どもたちとせんそう	谷川俊太郎	教育画劇	トットちゃんと アフガニスタン の子どもたち	田沼武能	岩崎書店
	マザー・テレサ	たかはしきよし	フレーベル館	沖縄の歩いた道	新崎盛輝	ポプラ社
	ユンポギの日記	イー・ユンポギ	太平出版社	ヒロシマというとき	栗原貞子	詩集刊行の会
	はらっぱ	西村繁男	童心社	夜あけ朝あけ	住井すゑ	理論社
	わたしのヒロシマ いもうと	松谷みよ子	偕成社	とうさんぼく戦 争を見たんだ	安藤美紀子	新日本出版社
	ハロー・ディア・エ ネミー～こんには 敵さんさようなら戦 争	グードルン・パ ウゼバンク	くもん出版	泥かべの町ーア フガンを生きぬ く少女	デボラ・エリス	さ・え・ら書 房
	アレクセイと泉の はなし	本橋成一	アリス館	ベトナムのダー ちゃん	早乙女勝元	童心社
	ぼくのみらクルね こ ネグロ	オスバルド・ソ リアーノ	アリス館	焼けあとの白鳥	長崎源之助	大日本図書
	彼の手は語りつぐ	パトリシア・ポ ラッコ	アリス館	屋根裏部屋の秘 密	松谷みよ子	偕成社
	はてな？なぜかし ら？国際問題	池上彰	教育画劇	6号室のなかま たち	ダニエラ・カル ミ	さ・え・ら書 房
	へいわってどんな こと	浜田桂子	童心社	心の国境をこえ て	ガリラ・ロンファ デル・アミット	さ・え・ら書 房
	へいわってすてき だね	安里有生	ブロンズ新社	それでも私は戦 争に反対します	(株) 日本ペン クラブ	平凡社
	ぼくがラーメンた べてるとき	長谷川義史	教育画劇	日本は本当に平 和憲法を捨てる のですか？	C・ダグラス・ ラミス他	平凡社
	地雷ではなく花を ください	柳瀬房子・葉祥 明	自由国民社	地雷の村で「寺子屋」 づくりカンボジアひと りNGO・栗本英世の 挑戦	今関信子	PHP研究所
				私はどこで生きて いけばいいの？	ローズマリー・ マカーニー	西村書店
				わたしのせいじゃ ないーせきにんに ついて	レイフ・クリス チャンソン	岩崎書店
				ふくしまからき た子	松本猛・松本春 野	岩崎書店
				日本国憲法を口 語訳してみたら	塚田薫	幻冬舎
				憲法がわかる 46 のお 話 檻の中のライ オン	椋 大樹	かもがわ出版
				今、世界はあぶ ないのか？ ①争いと戦争／ ②難民と移民／ ③貧困と飢餓／ ④差別と偏見 (全4巻, 評論社)	文：ルイーザ・ スピルズベリー 訳：大山泉	評論社

○「平和に関する視聴覚教材」

	タイトル	時間	内容	備考
アニメ	ピカドン	DVD 10分	被爆者の手記と絵をもとに、セリフの無い物語の中で原爆投下の瞬間をリアルに描いた作品。	1978年
アニメ	つるにのって ～とも子の冒険～	DVD 27分	被爆した少女サダコと友だちになったとも子を通して原爆の悲惨さと平和への思いを描いた作品。	1993年 虫プロダクションKK
アニメ	はだしのゲン1・2	DVD 80分	原子爆弾はとてつもない破壊力で広島の人々を地獄の底に突き落とし、ゲンは父・姉・弟を失う。生き残ったゲンは母とともに敗戦後の広島でたくましく生きていく。	1983年 1986年 ジェネオンエンタテインメント
アニメ	夏服の少女たち	DVD 30分	原爆死した少女たちの物語と、原爆でボロボロに燃えた少女たちの夏服を今なお形見として守り続けている年老いた親たちの忘れる事のできない原爆の悲劇を描いた作品。	1989年 NHK エンタープライズ
アニメ	ヒロシマに一番電車が走った	DVD 30分	原爆投下の3日後、原爆に傷つきながらも生き残った人々のために、電車に乗り込んだ少女たちの姿を描いた作品。	1994年 NHK エンタープライズ
アニメ	うしろの正面だあれ	DVD 90分	東京大空襲によって家族を失った少女が自立していく姿を描いた作品。海老名香葉子原作	1991年
アニメ	かんからさんしん	78分	沖縄戦で13歳の少年マサは戦地へ向かう父の三線を預かり、必死に母と妹を守ろうとする。ついに米軍が上陸…。	1989年
アニメ	クロがいた夏	67分	戦時中、小学生伸子は子猫を助け、クロと名付ける。しかし、戦争の脅威が迫り…。	1990年
アニメ	伸ちゃんの三輪車	27分	8月6日の朝、ピカッと空が光り、三輪車に乗って遊んでいた3歳の伸ちゃんの夢が一瞬にして無くなりました。	1990年
アニメ	まっ黒なおべんとう	49分	終戦間際の広島、建物疎開に出かけた中学1年生のしげる君は原爆投下後、真っ黒に焦げた弁当箱を抱えるような姿で見送られました。	1990年
アニメ	火垂るの墓	DVD・BD 89分	太平洋戦争末期、空襲で親も家も失った清太と節子の兄妹は、親戚に邪魔者扱いされ二人きりで暮らすこととなる。	1988年 ワーナーホームビデオ
アニメ	この世界の片隅に	DVD・BD 129分	太平洋戦争中の広島・呉を舞台に、激化していく戦時下で大切なものを失いながらも、日々を大切に前を向いて生きていく女性 ずずの姿を描く。	2016年 この史代原作 バンダイビジュアル
アニメ	ぼくは孫悟空	DVD 70分	戦争のため治虫は人目を忍んでマンガを描いていた。そんな治虫を励ましていた岡本京子も空襲で被災してしまう。手塚治虫の自伝的アニメ	1989年 パイオニアLDC
アニメ	ジュノー	DVD 63分	戦争という悲惨な現実を目の当たりにしながらお、不屈の精神で立ちあがり、戦火に苦しむ人々に惜しむことなく愛の手を差し伸べたジュノー博士。	問合せ先： ジュノー政策委員会 (広島市東区牛田早稲田1-6-3)
アニメ カラー	はだしのゲンが伝えたいこと	DVD 32分	漫画家中沢啓治が自らの被爆体験と、命の大切さや家族への思いを伝える。子どもたちへ贈る平和へのメッセージ。	2011年 シグロ/トモコココーポレーション
アニメ カラー	命の水～ひろしま水道物語	DVD 23分	原爆投下の日、やけどを負いながらも、浄水場のポンプを復旧し水を送り続けた一人の水道部職員を描いた物語。	問合せ先： 広島市水道局企画総務課 (082)511-6806
映画	夏休みの地図	DVD	小学5年の田辺健斗は夏休みの宿題「街の地	2013年

		96分	図」を描くために、街中を駆け巡り、被爆体験、戦後復興、駅前再開発、家族の歩みなど、これまで知らなかった「ひろしま」を発見し、ジブンだけの地図を描いていく。	東映ビデオ
映画	夕風の街 桜の国	DVD 118分	復興が進む広島で、原爆で自分が生き残った罪悪感をもつ平野皆実はなかなか幸せに飛び込んでいけない。50年後、七波は父旭のあとをつけて広島に行きつく。そこで家族や自分のルーツを見つめることとなる。	2007年 この史代原作
ドラマ	広島昭和20年 8月6日	DVD 144分	広島で明日の平和を信じながら懸命に生きてきた姉弟の、1945年7月16日から8月6日までの20日間の物語。	2006年 TBS バップ
ドラマ	さとうきび畑の唄	DVD 154分	日本で唯一一般住民が巻き込まれた地上戦が行われた沖縄。多くの一般市民が犠牲となったその土地に生きてその男は希望を捨てず、家族のため明るく生き抜こうとした。	2003年 TBS ビクターエンター テイメント
ドラマ	鬼太郎が見た玉砕 ～水木しげるの戦争～	DVD 89分	1943年ニューギニアのラバウルで、「総員」が「玉砕」への道に向かわざるをえなかった理不尽な出来事。水木しげるが自らの戦争体験を漫画に描こうとする。	2008年 NHK エンタープ ライズ ポニーキャニオン
映画	父と暮らせば	DVD 99分	原爆が投下された3年後の広島。愛する人々を原爆で失い、自分が生き残ったことへの負い目を感じている美津江は恋心を抑えて生きていた。そこへ父の竹造が現れる。	2004年 バンダイビジュ アル
映画	母と暮らせば	DVD 130分	長崎で助産婦をして暮らす伸子の前に、3年前に原爆で亡くしたはずの息子 浩二がひょっこり現れる。そして二人の奇妙な生活が始まった。	2015年 松竹
映画	出口のない海	DVD 121分	1945年、1隻の潜水艦が、敵艦の攻撃を避けながら海中を進んでいた。最後の秘密兵器「回天」に乗り込み、敵艦に激突するのが彼らの任務だった。	2006年 松竹 ポニーキャニオン
映画	杉原千畝	DVD 139分	第二次世界大戦下、杉原千畝は外交官として赴任していたリトアニアで、ナチスの迫害から逃れてきたユダヤ難民に、日本通過ビザを発給し6000人もの命を救った。	2015年 ポニーキャニオン
映画	バンクーバーの朝日	DVD 133分	1900年代初頭、多くの日本人が新天地を夢見てカナダへと渡った。差別、過酷な肉体労働、貧困といった厳しい現実の中で日本人街に「バンクーバーの朝日」という野球チームが生まれ、一条の光となっていく。	2014年 フジテレビジョン 東宝
映画	黒い雨	DVD 123分	一瞬の閃光、暗雲から垂れる大粒の黒い雨…。あの日から5年。あの日、黒い雨を浴びた矢須子の人生は、黒い雨に弄ばれるかのように狂わされていく。ついに矢須子の身にも原爆症の兆しが表れて…。	1989年 東北新社
映画	あゝひめゆりの塔	DVD 125分	太平洋戦争末期の沖縄で、軍に協力を余儀なくされた学徒たち。ひめゆり部隊として散って逝った乙女たち、戦争の悲惨さを描く。	1968年 日活
映画	ひろしま	DVD 104分	白血病で倒れたある高校の女子生徒みち子が、原爆が投下された1945年8月6日の朝からこれまでのことを思い出す。	1953年 紀伊國屋書店
ドキュメン タリー	ヒロシマ ナガサキ	DVD 86分	14人の被曝者と4人の原爆投下に関与したアメリカ人の証言を軸に、25年の歳月をかけて完成させたヒロシマ・ナガサキの真実。	2007年 マクザム

ドキュメンタリー	NHK スペシャル ドキュメント太平洋戦争	DVD6 枚 315 分	ターニングポイントとなった戦局や出来事から日本の敗因を徹底検証して歴史の教訓を探る。	1992～1993 年 NHK エンタープライズ
ドキュメンタリー	NHK スペシャル 映像の世紀	DVD11 枚 812 分	激動の 20 世紀，世界中に保存されている映像記録を発掘，収集，最構成したドキュメンタリーシリーズ。	2015 年 NHK エンタープライズ
ドキュメンタリー	人間をかえせ	DVD 20 分	10 フィート映画運動によってアメリカから入手し，子供たちの世界に被爆の記録を贈る会映画制作委員会が製作したドキュメンタリー映画。	1982 年 平和博物館を創る会
ドキュメンタリー	予言	DVD 43 分	10 フィート映画運動によってアメリカから入手し，被爆者の惨状を世界の人々に知らせるために作られたドキュメンタリー映画。	1982 年 平和博物館を創る会
ドキュメンタリー	歴史 核狂乱の時代	DVD 116 分	原爆の製造と実戦使用が人類にもたらすものは？ 10 フィート運動映画第 3 作	平和博物館を創る会
ドキュメンタリー	戦争(子どもたちの遺言)	DVD 40 分	10 フィート運動映画第 4 作	平和博物館を創る会
資料	ピース アーカイヴス 平和ミュージアム	DVD 35 分	ピースマシンの旅編 猫のポーポキが案内する 資料映像	立命館大学国際平和ミュージアム監修/岩波書店
資料	ピース アーカイヴス ヒロシマ・ナガサキ	DVD 30 分	ピースマシンの旅 ヒロシマ・ナガサキ編 猫のポーポキが案内する原爆被害と核をめぐる状況 資料映像 原爆災害/ヒロシマ・ナガサキ	立命館大学国際平和ミュージアム監修/岩波書店
資料	ピース アーカイヴス オキナワ	DVD 30 分	ピースマシンの旅 オキナワ編 猫のポーポキが案内するオキナワの過去と現在 資料映像 沖縄戦・GAMA・米軍演習(辺野古)	立命館大学国際平和ミュージアム監修/岩波書店
資料	ピース アーカイヴス 東京・ゲルニカ・重慶	DVD 30 分	ピースマシンの旅 東京・ゲルニカ・重慶 猫のポーポキが案内する空襲の歴史 資料映像 空襲/空襲体験	立命館大学国際平和ミュージアム監修/岩波書店
映画	アンネの日記	DVD 180 分	ナチスが徹底的にユダヤ人を迫害する中で，せまい屋根裏部屋にひっそり隠れ住みながら，なお人間の良心を信じ，15 歳で短い人生を閉じたアンネ・フランク。	1959 年 20 世紀フォックス
映画	少年義勇兵	DVD 123 分	第二次世界大戦中，タイ南部に日本軍が上陸。これに応戦したのが 14～17 歳の少年兵たち。知られざる歴史と少年たちの青春の日々を描く。	2000 年 パイオニア CD 株式会社
映画	縞模様のパジャマの少年	DVD 94 分	第二次大戦下のドイツで，ナチス将校の父の昇進により一家で引っ越してきた 8 歳のブルーノ。森の奥へと探検に出て，フェンスの向こう側に住むシュムールと出会う。やがて…。	2008 年 ウォルトディズニー・スタジオジャパン
映画	シンドラーのリスト	DVD 195 分	1939 年，野心家でナチス党員のオスカー・シンドラーは軍需工場で成功を収めるが，ユダヤ人が強制収容所で残虐行為の犠牲となっていくのを目の当たりにして，ユダヤ人を助けようと，リスト作りを始める。	1993 年 ユニバーサルピクチャージャパン
ドラマ	バンド・オブ・ブラザーズ	DVD 全 10 話	第二次世界大戦中，ヨーロッパ戦線で米陸軍・第 101 空挺師団 506 連隊第 2 大隊の若者たちが体験した過酷な戦争の 3 年間を描いた実話に基づく物語。	2001 年 ワーナーホームビデオ
ドラマ	ザ・パシフィック	DVD 全 10 話	第二次世界大戦の太平洋戦線を舞台に，1942 年のガダルカナルの戦闘から 1945 年の沖縄線に至	2010 年 ワーナーホーム

			るまでの戦いを米軍海兵隊の視点から描く。「戦争」が人間から何を奪うかを真に問う。	ムビデオ
ドキュメンタリー	NHK スペシャル アニメドキュメント あの日、僕らは戦場で	DVD 72分	沖縄北部のジャングルで米軍と戦った当時 14 歳から 17 歳の少年兵たちが、戦争に利用されていた歴史をアニメ+ドキュメントで伝える。	2015 年 NHK エンタープライズ

※毎年8月6日、9日およびその前後に、戦争や原爆に関連するTV番組が放映されるので見るようにしましょう。

○「平和教材としての楽曲」

(1) 直接的平和教材

	曲名	作詞・作曲	解説
1	原爆を許すまじ	作詞：浅田石二 作曲：木下航二	1955年8月6日、第1回原水爆禁止世界大会で3万人の湧き上がる歌声で感動的に大会を盛り上げた。その後、地域や学校で、全国に歌い継がれた。この歌を歌いきる時、原爆を糾弾し、人類生存のために努力する強い心をもつことが出来る。
2	青い空は	作詞：小森香子 作曲：大西進	1971年、第17回原水爆禁止世界大会に向けた創作募集で第1位となった曲。詩にとっても自然にメロディーがつけられており、幼児を含む多くの子ども達に愛唱されてきている。
3	夾竹桃のうた	作詞：藤本洋 作曲：大西進	1969年、第15回原水禁世界大会で発表されて以来、沖縄返還運動でも歌われた歌で、曲は明るくのびのびとしている。
4	死んだ女の子	作詞：ジム・ヒクメット 訳詞：飯塚広 作曲：木下航二	1956年、第2回原水禁世界大会で歌われた。久保山愛吉さんの死を悼み、トルコの詩人ナジム・ヒクメットの詩が日本に届き、大会に向けて作曲された。
5	にのしま	作詞：源田えり 作曲：大西進	1974年、第20回原水禁世界大会で、「似島少年少女のつどい」が開催された。参加した源田えりさんの作文や詩が構成詩「にのしま」として作曲された。その中の一曲で1975年に発表された。
6	明日への伝言	作詞：山川啓介 作曲：いずみたく	1978年、「広島・長崎一原子爆弾の記録」という写真集にソノシートとして折り込まれ、発表された。その後、10フィート運動による映画「人間をかえせ」のテーマ音楽となり、多くの学校や職場に感動的に広まっていった。
7	とべよ鳩よ	作詞：マトゥフスキー 訳詞：日本のうたごえ代表団 作曲：ドナエフスキー	1957年、モスクワで「第6回世界青年・学生平和友好祭」が開かれ、ソ連（現ロシア）の青年・学生によって歌われた。その時、日本の代表団が持ち帰り、その後の原水禁大会で歌われ、各地の学校に広まっていった。
8	さくらよ	作詞：山本奈美 作曲：山本奈美	広島市役所に、他の桜より1週間早く咲く3本の桜の木がある。惨禍を見届け、自らの身を焼きながら生き続けている。その桜を歌った、市立保育園の保育士さんの優しさと強さに満ちた作品である。
9	ひびけ ひろがれ	作詞：丸山亜季 作曲：丸山亜季	1982年8月5日、高校生平和ゼミナールの「原爆犠牲ヒロシマの碑」が建立され、その除幕式が行われた。その式典の音楽を丸山亜季さんが全面的に作曲され、高校生によってこの曲が発表された。
10	折鶴のとぶ日	作詞：小森香子 作曲：浜名政昭	1983年、チェコ少年少女合唱団演奏会の中で、やまびこ少年少女合唱団の演奏、作曲者自身の指揮により初演された。佐々木禎子を歌った曲で、核兵器廃絶の願いに満ちた曲である。
11	川面に	作詞：藤本洋 作曲：いずみたく	1971年、中央合唱団により発表された。8月6日、広島の川に無数に流される灯ろうを通して、平和への願いを歌っている。

12	ひろしま平和の歌	作詞：重園賛雄 作曲：山本 秀	1947年8月、第1回広島平和記念式典（平和祭）が開かれた。この曲は式典に向け、広島平和協会が制定した曲である。以後、今日まで広島市民により歌い継がれてきている。
13	生命の木、空へ	作詞：林 光 作曲：林 光	作曲家林光の晩年の貴重な1作である。過去をふまえて、命の未来を歌う曲。①木は空を ②なぜ？ ③天の火 ④道の歌 ⑤敗戦の子ども ⑥あらゆるものなかに
14	折り鶴	作詞：梅原司平 作曲：梅原司平	1982年、被爆者団体の記念コンサートの際に創作された。職場でも学校でも、梅原司平の歌は、人々の心を次々と捉えていく。中でもこの歌は、集会でも授業でも保育園でも、よく歌われている。
15	ヒロシマのある国で	作詞：山本さとし 作曲：山本さとし	1983年、被爆者と話したことをモチーフに、「若者のエネルギーを燃焼させ、感性的にもびったりした歌を」と思って創作したと作者は語っている。
16	アオギリのうた	作詞：森光七彩 作曲：森光七彩 英語バージョン： 守本浩樹	2000年、広島市はミレニアム記念事業として「広島之歌」を公募。915点のうち広島市立千田小学校3年生森光七彩さんが受賞した、グランプリ受賞作品である。作者が、校庭にある「被爆アオギリ二世」について学んだ一環で平和公園を訪れたときの思いを表現している。
17	東京大空襲	作詞：山川啓介 門倉さとし 作曲：いずみたく	①炎の夜 ②母たちそして子どもたち ③焼跡の結婚式 ④無人の時計屋 ⑤涙のあと ⑥さきちゃん ⑦おしっこ の唄 ⑧焼けた防空頭巾 ⑨昔を語ったそのあと、で構成。
18	ヒロシマの少女の折鶴 (Paper Crane)	作詞 ヤ林ラン・イハ 作曲 ダリザフ・ダツニヤム	モンゴル人インヘさんが、日本人留学生から禎子の話を聞きこの曲が生まれた。1979年、モンゴルの平和祭でグランプリ受賞。名古屋音楽高校に留学した少女オユンナさん（当時18歳）が、世羅郡伊尾小学校や、NHK紅白歌合戦に出場し、日本にこの歌を紹介。学校現場でも歌われるようになった。広島平和教育研究所の「アジアふれあいブック」にとりあげている。
19	歌劇「沖縄」プロローグ (序奏と開幕の大合唱)	台本：歌劇沖縄台本 グループ 作曲：歌劇沖縄作曲 グループ	1955年3月11日朝、突然米軍上陸。伊江島の6割の土地を強制接収した。それから11年間にわたる伊江島の農民の土地闘争を描いた歌劇の序幕で歌われる大合唱。沖縄民謡が盛りこまれている。
20	合唱と朗読による「おこ りじぞう」	作詞：山口勇子 作曲：高田龍治	原爆投下により、幼い女の子の命が果てる様子を目撃した地蔵の怒りを通して核兵器の非人道性を訴える原作を一曲にまとめたもの。合唱、朗読、台詞が効果的に構成されている。
21	みんなの一步	作詞：江種宏治 作曲：高田龍治	1995年、「第44回作文教育全国大会」広島で開催。大会中、テーマ音楽として歌われ、参加者が各地に持ち帰った。子ども達が、黒い炭となつてころがっていたという本川小学校の先生だった作詞者が、その校庭の土の下で焼かれ、力強く芽吹き、被爆樹木として成長した「にわうるし」の木をとりあげている。

(2) 芸術的一般教材

	曲名	作詞・作曲	解説・内容
1	森は生きている	作詞：広渡常敏 作曲：林 光	この曲は、林光、1977年の作曲。しかし、この曲が生まれる源流をさぐると、1954年に初演されたマルシャーク原作、湯浅芳子訳、林光作曲の劇音楽「森は生きている」の初演にある。その後、マルシャークが書かなかった劇中歌を書き加えていく中で生まれた曲である。作詞は「広渡」となっている。
2	指輪の呪文の歌	作詞：マルシャーク 訳詞：湯浅芳子 作曲：林 光	戯曲「森は生きている」の原題は「十二の月」だったが、訳者湯浅芳子さんによって「森は生きている」と見事に移しかえられた。わがままな女王が、マツユキソウが今すぐ見たいと言いついたため、みなし子の娘が雪の森に入り、十二の月たちの呪文で雪が消え、マツユキソウが顔を出した。
3	一瞬の「今」を	作詞：林 光 作曲：林 光	劇音楽「森は生きている」の上演が成功していく中で、書き加えられた曲の一つ。月たちが呪文をとこなると、ものすごい早さで季節がめぐり、マツユキソウが顔を出した。その瞬間、娘は、マツユキソウをかごいっぱい。歌う子ども達の喜びに満ちた顔が浮かぶ。
4	十二月の歌	作詞：マルシャーク 訳詞：湯浅芳子 作曲：林 光	劇音楽「森は生きている」初演の時から曲で、作曲者自身、今日、初めて聞いた歌を歌いながら帰っていく小さな観客に励まされ、音楽を一生の仕事にしようという覚悟を決めたと言っておられる。十二月の精たちが、たき火を囲んで歌う劇中で最も重要な歌である。
5	魔法の鈴	作詞：シカネーダー 訳詞：伊藤武雄・林光 作曲：モーツァルト	モーツァルトの歌劇「魔笛」の中で歌われる歌。どこからともなく聞こえてくる不思議な音色に、怒りも憎しみも消え、誰でも楽しくなると鈴の音を讃える歌。
6	鳥さしパパゲーノ (おいらはちょっと)	作詞：シカネーダー 訳詞：林 光 作曲：モーツァルト	歌劇「魔笛」の中の歌。鳥刺し（鳥を捕まえることが生業）のパパゲーノが、自分の職業についてユーモラスに説明する歌。
7	ます	作詞：シューベルト 訳詞：林 光 作曲：シューベルト	魚を釣り上げようとする漁師の仕業に対する憎しみと、魚に対する同情の気持ちを表す旋律と伴奏は、曲の進むにつれて劇的な頂点を作っていく。ピアノ五重奏曲第4楽章の変奏曲主題となっている。
8	チポリーノの冒険	作詞：木村次郎 作曲：丸山亜季	玉ねぎ坊やの冒険物語「チポリーノの冒険」（ジャンニ・ロダー二作）を歌にしたもの。畑の仲間と自由を求めて広い世界に旅に出ようと元気はつらつとした歌。
9	たんぽぽひらいた	作詞：こばやしけいこ 作曲：丸山亜季	たんぽぽが咲いた様子を表す短い歌。春の訪れを感じさせる歌。手振りをつけて歌う。
10	春へのあこがれ	作詞：オフェルバック 訳詞：林 光 作曲：モーツァルト	歌詞は童話集「フリッツヒェンの歌」からの引用。子ども用の歌として作曲。早く花が咲き鳥が鳴いて欲しいと春の訪れを待ちわびる純真無垢な子どもの心情を歌う。
11	ミューズの子	作詞：ゲーテ 訳詞：青山爽 作曲：シューベルト	ギリシャ神話の女神、芸術を司るミューズが、お気に入りの子に翼をつけて、音楽の喜びを野山に満たしていくリズムカルな歌。
12	狩人の合唱	訳詞：林 光 作曲：ウェーバー	オペラ「魔弾の射手」の中の射撃大会の場面で歌われる合唱曲。狩りの楽しさを高らかに歌う。
13	農夫は早起き	作詞：ヴァン・スガート 訳詞：林 光 作曲：ハイドン	オラトリオ「四季」より。農夫が、早起きをして種をまき、作物を育てる様子を表した軽快な歌。
14	夏の樹	作詞：丸山亜季 作曲：林 光	たくましく成長する真夏の樹のように、我らも命を輝かせ育つようにという歌。
15	ブルッキーのひつじ	作詞：ゴフスタイン 訳詞：谷川俊太郎	同名の絵本を歌にしたもの。子羊に歌や本読みを教える少年と羊との心温まる交流の歌。

		作曲：林 光	
16	わが想い風になり	作詞：木村次郎 作曲：丸山亜季	沖縄を舞台とした木村次郎の再創造作品「わらしべ王子」の中にある 5 曲のうちの一つ。二人のわらしが、ふるさとの島をめざして海を渡る様子を表した歌。
17	木はふるえる	作詞：木島 始 作曲：工藤吉郎	ハンガリーの建築家で画家のジョールジュ・レホツキーの描いた絵本「木のうた」に詩と曲をつけた歌の一つ。
18	年輪	作詞：木島 始 作曲：工藤吉郎	同上。他に、「木の実、種、白一色、はだかの木、ぬくもり、ふしぎ、風が光る、島のこえ、夢、木に聞く」がある。
19	どこへ（いずこへ）	作詞：ミュラー 訳詞：林 光 作曲：シューベルト	歌曲集「美しき水車小屋の娘」の第 2 曲。メロディーも、水の流れを描く伴奏も、すがすがしい美しさに満ちている。小川に語りかけ、旅をする若者のわくわくする姿を歌い上げている曲である。
20	グローリア	作詞：久野静夫 作曲：モーツァルト 編曲：市川都志春	キリスト教ミサ典礼のための楽曲の中の一つ。神への栄光を讃える歌。中学校の音楽の教科書に掲載。
21	大地賛頌	作詞：大木惇夫 作曲：佐藤 真	「混声合唱とオーケストラのためのカンタータ『土の歌』」の終曲。原爆や戦争への怒りを表現した後に、この終曲で母なる平和な大地を讃える歌。
22	大きなけやきのき	作詞：谷川俊太郎 作曲：工藤吉郎	野原の真ん中にたくましく立つ一本のけやきに、親しみをこめた歌。
23	伝説の広場の歌	作詞：林 光 作曲：林 光	宮沢賢治作「ポラーノの広場」を歌にしたもの。かつては、人々の憩いの場であった広場に思いを寄せる歌。
24	道	作詞：斎藤喜博 作曲：丸山亜季	卒業式などでも歌われている歌。群馬県板倉南小学校の校歌となっている。
25	あれののばら（野バラ）	作詞：ゲーテ 訳詞：林 光 作曲：シューベルト	シューベルトは 18 歳の時、ゲーテの詩による劇的な「魔王」と、このやさしい「野バラ」を作曲した。古めかしい優雅な詩ではなく、子ども達の心情に沿い、詩の本質をついた訳詞者の新鮮な歌詞は、子ども達の深い共感をよんでいる。
26	てんとう虫	訳詞：林 光 作曲：シューマン	シューマン作「子どものための歌曲」第 13 曲。子どもがてんとう虫に語りかける童心あふれる無邪気で清らかな歌。
27	ホップステップジャンプくん	作詞：大井数雄 作曲：丸山亜季	元気よく駆けたり跳んだりする様子の歌。リズム運動用の歌として活用される。
28	はずむよはずむよ	作詞：大井数雄 作曲：丸山亜季	リズムカルに跳んだり駆けたりする様子の歌。リズム運動用の歌として活用される。
29	ふるさとのうた	作詞：木村次郎 作曲：丸山亜季	山、川、雲、風などふるさとのすばらしい自然を讃える歌。
30	たび（さすらい）	作詞：ミュラー 訳詞：林 光 作曲：シューベルト	粉ひきの若者が旅に出て、ある水車小屋に雇われ、その娘と恋をし、ついに捨てられるという、シューベルトの最初の歌曲集「美しき水車小屋の娘」の第 1 曲である。軽快に歌いながら旅立つというこの曲のリズムは、子ども達の心をとらえる。
31	春の歌	作詞：ゲーテ 編訳：林 光 作曲：ベートーベン	光に満ち喜びにあふれる世界を讃えるとともに、春を迎え新しい門出において、喜びも悩みも分け合って、人類は前に進もうと、理想を高らかに歌う歌。
32	ああ もみの木	ドイツ民謡 訳詞：林 光	この曲は、ドイツのクリスマス民謡である。訳詞者は、古めかしい言葉ではなく、今、子ども達の心に響くように、たくましく立つもみの木に対する愛情を日本語で見事に表現し、子ども達の大好きな歌の一つにしている。
33	君を迎える日	作詞：津川圭一 作曲：バッハ	バッハの「農民カンタータ」の中の一曲。バッハ特有の伸び伸びとしたメロディーに見事に詩がつけられている。

34	ていーち でいーる	沖縄わらべ歌 採譜：杉本信夫 編曲：林 光	沖縄方言の数え歌と考えられるが、歌の意味の詳細は不明。この歌詞は、「沖縄の民謡」(杉本信夫・新日本出版社)によるものである。
35	機関車のうた	作詞：保坂純子 作曲：丸山亜季	力強く走る蒸気機関車に「ぼく」を見立てて、自らの成長への意欲を歌う。
36	大きな石	作詞：斎藤喜博 作曲：丸山亜季	斎藤喜博の、群馬県島小学校校長時代の教育実践の中で生まれた歌。子どもたちがリズムに乗って進んでいく姿は、実にほほえましい。
37	わたしのすきなこなひきさん	マザーグースより 訳詞：谷川俊太郎 作曲：林 光	顔も衣服も粉まみれになって懸命に働く粉ひきに対する愛を歌う歌。
38	子どもの国歌	作詞：B・ブレヒト 訳詞：高橋悠治 作曲：H・アイスラー	劇作家ブレヒトが、戦後のドイツ再生の願いを子どもに託した詩に曲をつけたもの。手を取り合ってこの国をよくしていこうという希望に満ちた歌。
39	高きかかげよ	作詞：木村次郎 作曲：丸山亜季	合唱組曲「プロメテウスの火」の第8曲。プロメテウスが人類のために天界から盗んできた火を絶やさず燃やそうと高らかに歌う歌。
40	「モルダウ」より「河の歌」	作詞：林 光 作曲：スメタナ 編曲：林 光	交響詩「わが祖国」・第2曲「モルダウ」の曲に作詞。河の流れが次第に太く力強くなる様子を歌いながら、祖国チェコの独立を雄大な河の流れに例えている歌。
41	ポランの広場	作詞：宮沢賢治 作曲：丸山亜季	同名の物語「ポランの広場」の中で歌われる歌。ポランの広場で夏祭りが行われる様子を歌った歌。
42	告別	原詩：エドゥイン・カストロ 作詞：林 光 作曲：林 光	射殺されたニカラグア政治犯の詩「明日すべては変わるだろう息子よ」がもとになっている。

◎行ってみたい戦跡・記念碑・資料館 (P. 101~P. 102 のイラストマップ参照)

軍都廣嶋

1886年、広島鎮台が第五師団となり、1894年、日清戦争時には大本営①が広島城内に置られました。比治山の陸軍墓地②には明治以降の戦死者が葬られています。

軍港宇品③

日清戦争以後、ここから多くの兵士や物資を戦場に送り出しました。検査や消毒をする陸軍検疫所④が似島につくられ、歓迎の凱旋碑⑤もつくられました。軍用鉄道宇品線周辺には陸軍被服支廠⑥など軍需物資用倉庫が多くありました。

呉海軍鎮守府⑦

1889年海軍の基地として開庁し、海軍工廠では戦艦「大和」などが建造されました。海事歴史科学館（大和ミュージアム）⑧で当時の様子がわかります。海軍兵学校⑨、特攻兵器「蛟龍」の基地⑩も近くの島にありました。

砲台

明治以降、軍都廣嶋を守るため1899年芸予重砲兵隊がおかれ、瀬戸内海は要塞となりました。宮島⑪・大久野島⑫にその砲台跡が残っています。

大久野島

アジア太平洋戦争中、地図から消され、存在を隠されたこの島で多くの毒ガスがつけられました。毒ガス資料館⑬で当時の様子がわかります。貯蔵庫跡もあります。

地下壕

広島・呉周辺の宇品、海田、大浦、音戸、長郷⑭、広⑮、安浦などで、朝鮮から強制連行されたひとたちによって掘られました。

安野発電所⑯、王泊ダム⑰、高暮ダム⑱

中国人・朝鮮人の強制連行と強制労働によって中国山地にダムや発電所がつけられました。工事中の事故で多くの命が奪われました。

広島捕虜収容所第四分所（向島）

アメリカ、イギリスの捕虜216人が収容され、23人が亡くなりました。2002年、平和と友好を願って記念碑⑲がつけられました。

福山海軍航空隊⑳

航空隊員の養成訓練所でしたが、戦況が不利となると「神風特別攻撃隊・琴平水偵隊」が編成され、若者が大空に飛び立っていきました。

呉空襲㉑・福山空襲㉒

アメリカ軍による空襲は、日本全土で114か所にもものぼります。人権平和資料館㉓の福山空襲の資料からは、夜間無差別爆撃の恐ろしさが伝わってきます。空襲の回数が県内で最も多かった呉空襲では約2000人、福山空襲では355人の人が亡くなりました。

原爆投下

約14万人（推定）もの人々が亡くなりました。人類最初の原爆被害の実相（熱線・爆風・放射線）は原爆ドーム（旧産業奨励館）㉔、平和記念資料館㉕、本川小学校資料館㉖、袋町小学校資料館㉗、広島赤十字病院㉘や多くの被爆建造物・記念碑から学ぶことができます。「ノーモア ヒロシマ」「核廃絶」の願いが伝わってきます。

ホロコースト記念館㉙

ナチスドイツの民族抹殺計画のためポーランドの収容所では600万人ものユダヤ人が殺されました。殺された人々の遺品が語りかけてきます。

三良坂平和美術館㉚

毎年夏には、戦争と平和について考える特別展が開催されます。

身近な戦跡・記念碑

皆さんの住んでいる地域にも慰霊碑、忠魂碑、戦没者の墓石などがあります。その由来や地域との関わりなど調べてみましょう。

慰霊碑…戦争で亡くなった人の霊を慰めたり、二度とこのようなことが無いよう戒めたりするために建立された記念碑。鎮魂碑ともいう。

忠魂碑…明治維新以降、戦争に出征し戦死した兵士の天皇への忠義を称えるために建立された記念碑。国家主義や軍国主義的な意図がある。



慰霊碑



忠魂碑

○行ってみたい戦跡・記念碑・資料館の所在地 (P. 97, P. 101~102 のイラストマップの数字と一致)

①	大本営跡	中区基町21	
①	第五師団司令本部跡	中区基町21	
①	陸軍歩兵第十一連隊石碑	中区基町21	
①	陸軍幼年学校門柱	中区基町21	
②	比治山 陸軍墓地	南区比治山公園	
⑤	陸軍検疫所跡・弾薬庫跡	広島市南区似島	
④	凱旋記念碑(平和記念碑)	南区宇品海岸3丁目11 海員会館前公園	
⑥	陸軍被服支廠(被爆建造物)	南区出汐2丁目-4-60	
⑨	旧海軍兵学校	江田島市江田島町	
⑩	特殊潜航艇 甲標的基地跡	呉市音戸町大浦崎	
	呉海軍工廠亀ヶ首発射場	呉市倉橋町	
⑭	長郷地下工場跡	呉市警固屋長	
	入船山記念館	呉市幸町4-6	0823-21-1037
⑦	旧呉鎮守府(現 海上自衛隊呉総監部)	呉市幸町8-1	
⑧	呉市海事歴史科学館	呉市宝町5-20	0823-25-3017
	海軍基地	呉市長迫町	
⑪	鷹ノ巣砲台跡	廿日市市宮島町	
⑬	大久野島毒ガス資料館	竹原市忠海町大久野島	0846-26-3036
⑮	第十一海軍航空廠の地下壕跡	呉市広町	
⑱	高暮ダム	庄原市高野町大字高暮	
⑰	安野発電所	山県郡安芸太田町坪野	
⑰	王泊ダム・慰霊塔・慰霊碑	(左岸)山県郡安芸太田町榎平山 (右岸)山県郡北広島町細見	
⑲	平和と友好の記念碑(時の翼)	尾道市向島町	
⑳	福山市海軍航空隊跡	福山市大門町津之下	
㉑	殉国の塔	呉市幸町入船山	
㉑	殉職者招魂碑	呉市二河町二河公園	
㉑	呉市戦災遭難者供養塔	呉市本町寺西児童公園	
㉒	戦災死没者慰霊の像(母子三人像)	福山市霞町1丁目-10-1(福山市中央公園)	
㉓	福山市人権平和資料館	福山市丸之内1丁目1-1	084-924-6789
㉔	原爆ドーム(旧産業奨励館)	中区大手町1丁目-10	

㉔	広島赤十字病院(被爆建造物 壁のみ)	中区千田町1丁目9-6	
㉕	広島平和記念資料館	中区中島町1-2	082-241-4004
㉖	袋町小学校平和資料館	中区袋町6-36	082-541-5345
㉗	本川小学校平和資料館	中区本川町1丁目-5-39	082-232-3431
㉘	ホロコースト記念館	福山市御幸町中津原815	084-955-8001
㉙	三良坂平和美術館	三次市三良坂町三良坂2825	0824-44-2749

ゆってみまろヒロ



17 王治のム・威遠塔と慰霊碑
(安芸太田町)北広島町

広島

26 本川小学校
平和資料

25 広島平和館
(082) 2

27 袋町小学校 平和資料館
(082) 541-5345

5 陸軍検疫所跡
(伊予島)

(現 海上自衛隊呉統監部)
7 旧呉鎮守府

8 呉市海事歴史科学館 江田島

9 旧海軍兵学校

15 第11海軍航空廠の
地下壕跡 (広島町)

21 『呉空襲』
・殉職者招魂碑
・呉市戦災遭難者供養塔
・殉国の塔

10 特殊潜航艇 甲標的の
基地跡 (大浦崎)

14 長郷地下工場跡 (呉市警固屋町)

倉橋島

呉海軍工廠砲台発射場

『甲標的丁型 蚊龍』

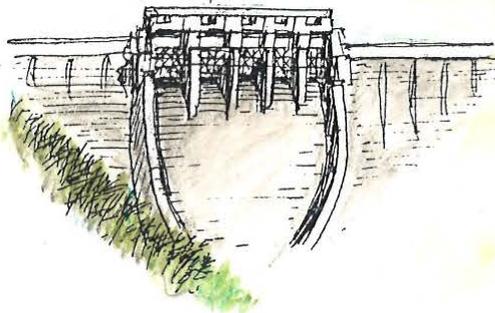
『原爆投下』

海軍墓地
入船山記念館

福山

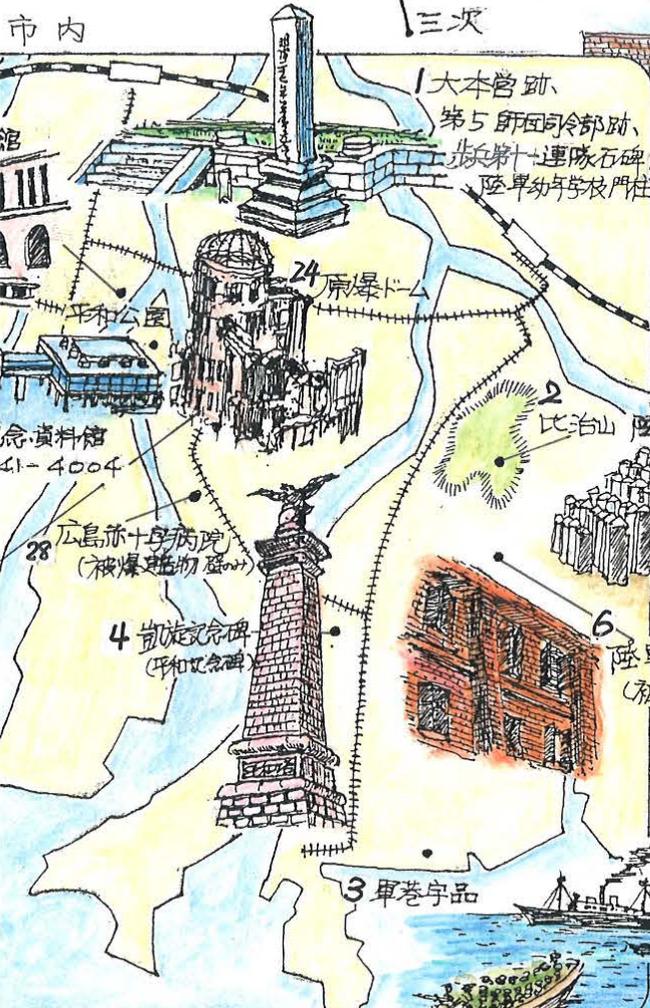


18 高橋ダム
(庄原市高野町)



市内

三次



1 大本營跡、
第5師団司令部跡、
歩兵第十連隊石碑、
陸軍幼年学校門柱

30 三良坂平和美術館
(082444) 2749

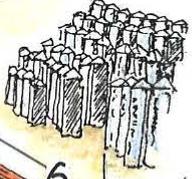
24 原爆ドーム

記念資料館
41-4004

28 広島赤十字病院
(被爆建築物)

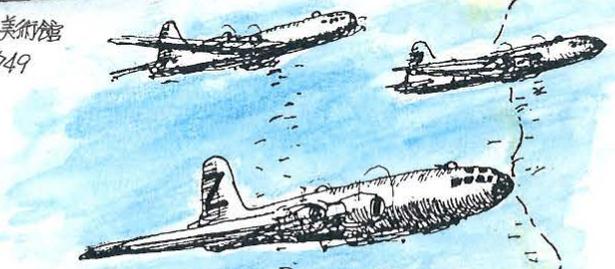
4 前線記念碑
(平和記念碑)

2 比治山 陸軍基地



6 陸軍被服支隊
(被爆建築物)

3 軍港宇品



『福山大空襲』



29 ホロコースト記念館
(0849) 55-8001

『日清戦争』



23 福山市人権平和資料館
(0849) 24-6789

20 福山海軍航空隊跡

忠海

尾道

向島

12 大久野島

13 毒ガス資料館
(08462) 6-3036



19 平和と友好の
記念碑「時の翼」



22 戦災死没者
慰霊の像
(母子三人像)

◎おわりに

本書は、これから平和学習を始めてみようと考えている教職員にとって、取り組みやすいテーマや資料を紹介しています。

一度に全てを実践することはむずかしいでしょう。朝の会や授業の初めに数分でもいいので、戦争や平和に関するニュースを紹介するのもいいでしょう。本書を活用して平和学習を実践する場合、1～2時間扱いの指導案の内容をきっちりやる必要ありません。学習内容や資料の一部だけでもいいのでやってみる事です。まず自分が関心があるテーマを選んで始めてみましょう。

本書は、戦争や原爆をはじめ、現代的課題である原発や核問題など幅広く教材や資料を収録しましたので、何か一つは関心もてるテーマや内容があると思います。自分ができそうなテーマから始めてみましょう。

平和学習を進めていくためには、戦争や原爆の認識を深めていくことが不可欠です。そのためには学習会やフィールドワークなどに積極的に参加していくことも大切です。学習することだけでなく、仲間と知り合うこともあるかもしれません。

多忙な中で、ゆとりの時間はあまりないかも知れませんが、時にはふらっと出かけて博物館や美術館に行ってみるのもいいかも知れません。何か発見したり、感動したりすることがあるでしょう。

これがきっかけとなって、「じゃあ平和学習をしてみようか」と思えるようになるかも知れません。とにかく何かをきっかけとして第一歩を踏み出すことが大切です。その時に、本書を開いてみて下さい。きっと役立つと思います。

2020年6月23日

広島平和教育研究所第1部門作成

今日から始める平和学習

編集・発行 広島平和教育研究所（第1部門）

〒732-0052 広島市東区光町2丁目8-32 エコード広島

TEL. 082-264-1751

FAX. 082-264-1757

E-mail hipe@iris.ocn.ne.jp

WEB. <http://www.hipe.jp/>

発行日 2020年6月23日

— 複製・転載を禁ず —

100ヶ所巡るヒロシマ



17 王宮公園・原爆資料館
(山県郡高野町)

18 高橋ダム
(比婆郡高野町)

広島市内

三次

26 本山川資料館
平和史料館

11 三原平和史料館
(082444) 2749

25 広島平和記念資料館
(082) 241-4004

23 福山人権平和資料館
(0849) 24-6789

11 舞楽の舞台跡(宮島町)

21 袋物小学校・平和資料館
(082) 541-5345

6 三原核施設
(被爆遺物)

5 聖戦体験施設
(似島)

4 平和塔
(平和公園)

11 旧呉鎮守府
(現 海上自衛隊呉基地)

29 ホロコノス記念館
(0849) 55-8001

9 旧寺野兵隊校舎
三田島

15 第11連隊跡(袋井町)
地下壕跡(立町)

21 原爆空襲
・「原爆資料館」
呉市海軍歴史資料館
呉市海軍歴史資料館
呉市海軍歴史資料館

10 野矢雄次跡(大津町)

14 長和地下壕跡(袋井町)

呉海軍工廠跡と自衛射場

含橋島

「水中中央兵隊跡」

12 大久野島
平和文化資料館
(084) 626-3036

9 平和文化資料館
記念碑跡
(084) 626-3036

22 戦後平和
資料館
(母子三(歳))

20 福山人権平和資料館
(0849) 24-6789